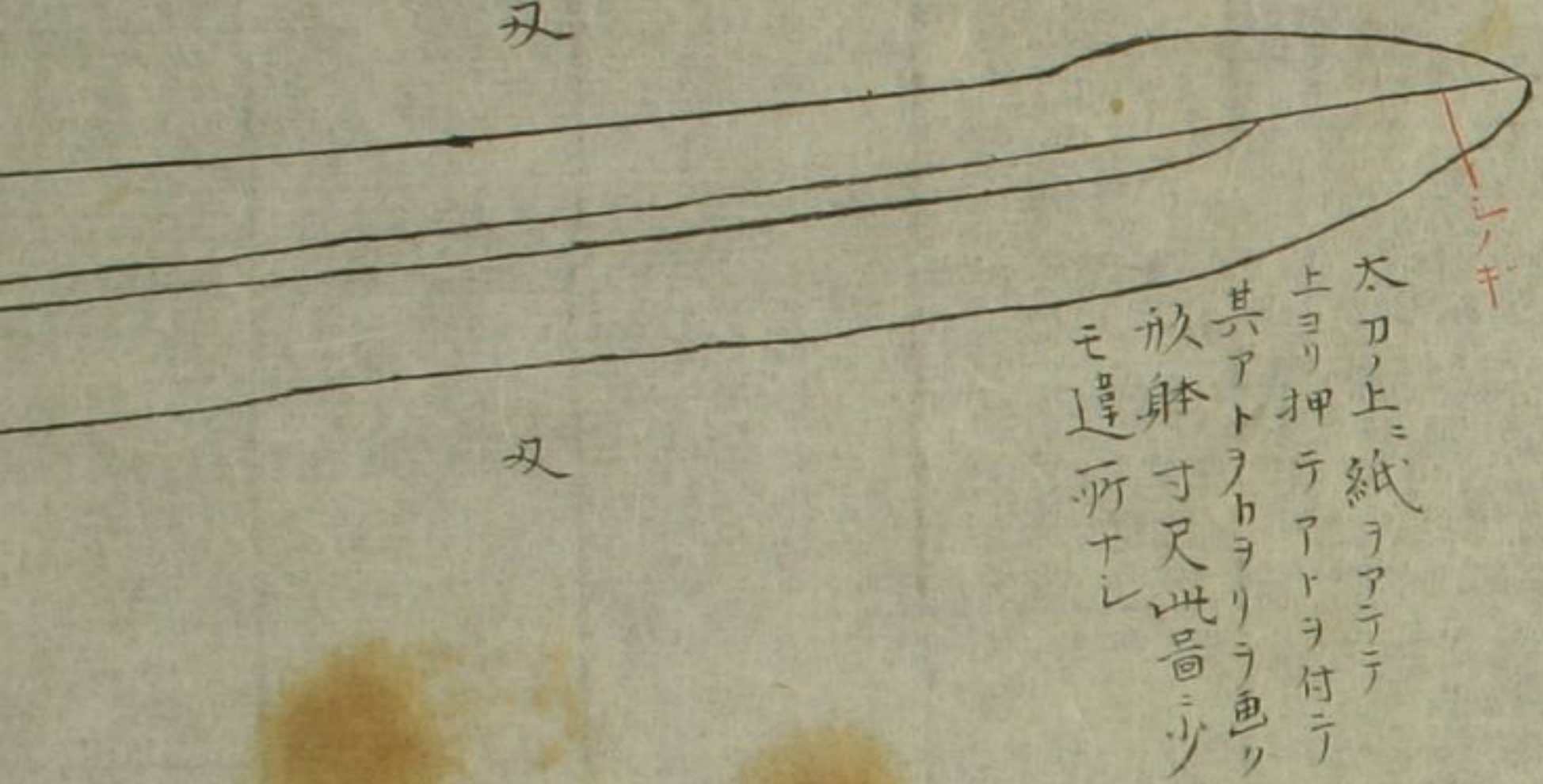


小鳥丸大刀圖序

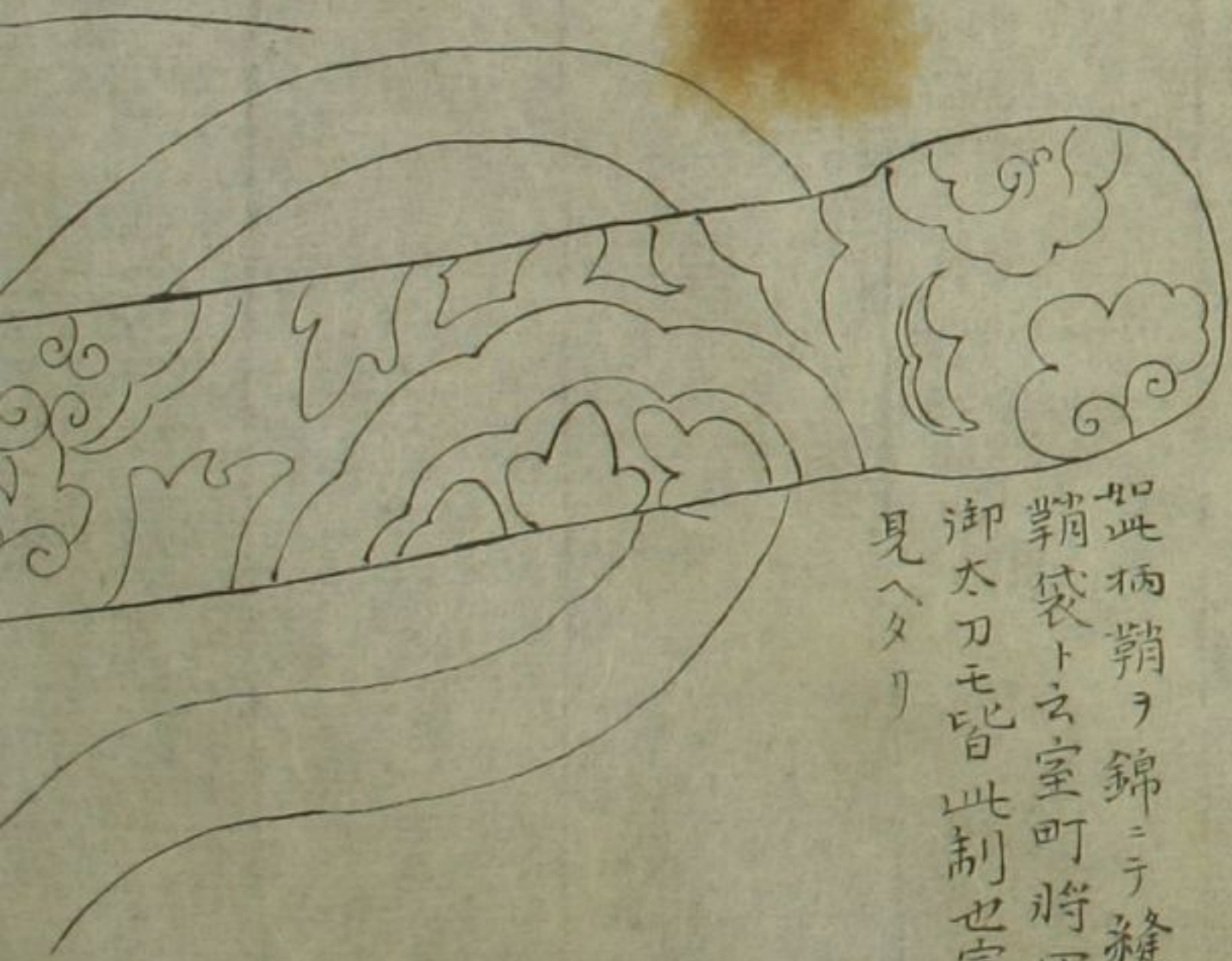
朱雀帝義平壬辰平將門叛天慶戊戌將門誅吉祖平國香
 明年庚子國香子貞盛射倒將門藤原香卿斬其首朝廷
 賞功授官爵貞盛一箭兼罰國賊與父仇因賞賜小鳥丸釵
 煥子皮鎧爾未嫡子相傳自貞盛至貞丈凡三十代自天慶
 庚子至明和戊子凡八百二十九年也唐皮鎧應仁兵火燒亡小鳥
 免災令尚存貞丈自画其象是其靈器之餘也

明和五年戊子秋八月朔旦伊勢平藏貞丈序

小鳥丸太刀之圖



太刀上ニ紙ヲアテテ
 上ヨリ押テアトヲ付テ
 其アトヲトヨリテ画ク
 放射寸尺此音ニ少
 モ違所ナレ



如此柄鞘ヲ錦ニテ縫包テ
 鞘袋ト云室町將軍ノ
 御太刀モ皆此制也宗五記
 見ヘタリ

鞘大サ幅如シ
 鞘緋地錦ヲキセテ堅ク縫包ム縫目
 ハ安キ方ニアリホコヒタル所ヨリ内
 ラ見レハ鞘モ金具モミナ黒ヌリナリ
 但錦ハ蜀紅錦地

小鳥丸太刀之圖

刀両面同

太刀ノ上ニ紙ヲアテテ
上ヨリ押テアトヨ付テ
其アトヲホヨリラ色ク
放射寸尺此音ニ少
モ違所ナレ

又

又

切先ヨリ
此一ツ又百

峰三角

樋

身不銷又直又白ク
曇テ服ト分明作
八天國造作之由伊勢
家ニ傳近來吟味有
之儀此天國作ニ可有
之由目利家ニ云

鞘大サ高如シ

鞘緋地錦ヲキセテ堅ク縫包ム縫目
ハ安キ方ニアリホコロヒタル所ヨリ内
ヲ見レハ鞘モ金具モ三十黒ヌリナリ
但錦ハ蜀紅錦地

如此柄鞘ヲ錦ニテ縫包テ
鞘袋ト云室町將軍ノ
御太刀モ皆此制也宗五記
見ヘタリ

帯取
白地緋紫糸ノ
啄木平組

柄鞘ニ切換又
文不詳トスナリ
ヤク見所所紙
捲ニテ付付有

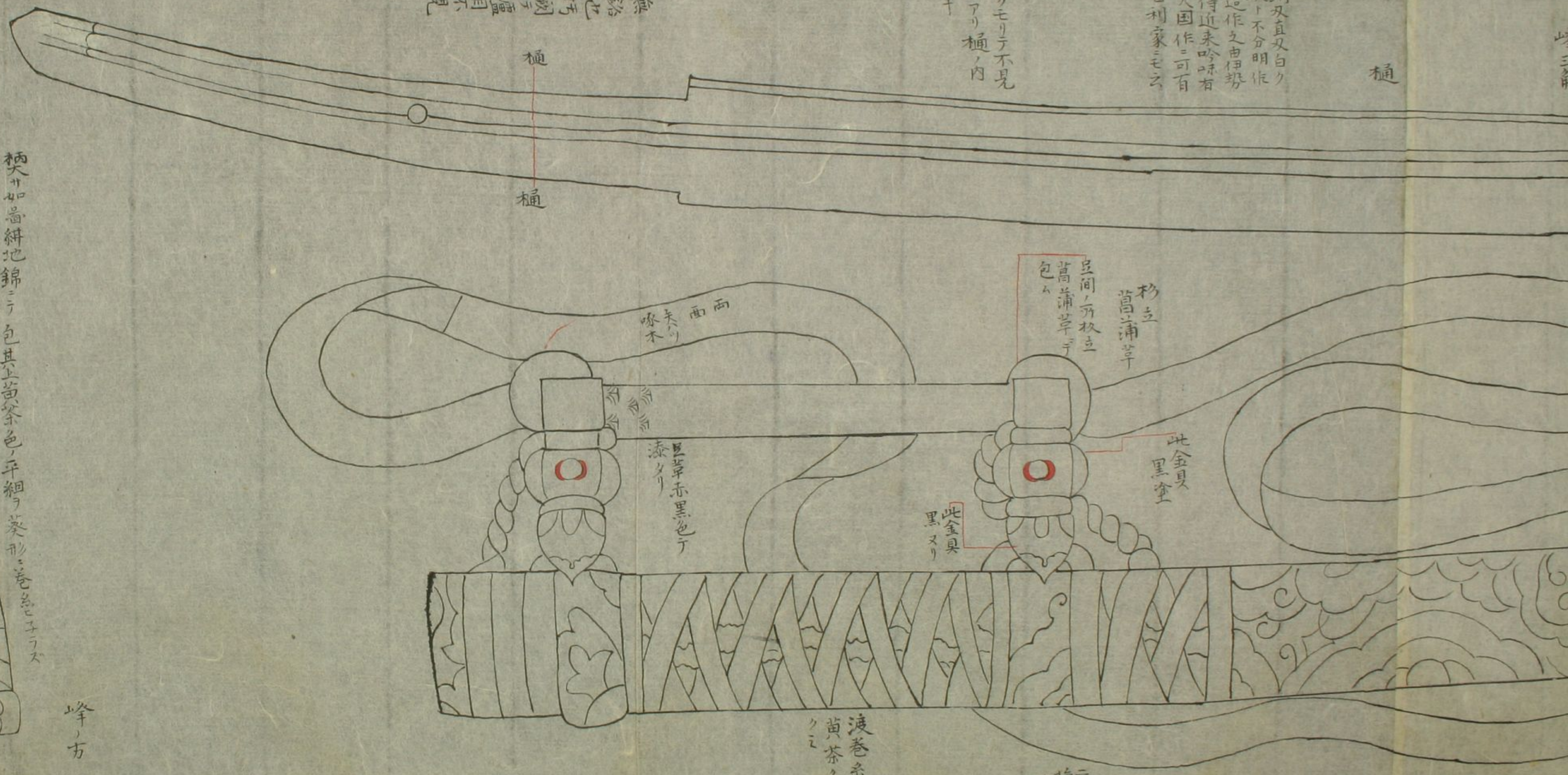
杉立
菅浦草

此金具
黒塗

身不銷及直及白ク
 雲テ眼ト不明作
 八天國造作之由伊勢
 家由傳近來吟味者
 之由天國作之可有
 之由目利家モ之

剛上ケモリテ不見
 スクヒアリ 樋ノ内
 ミカキ

無銘也巧國ノ鑑目不見



柄大ナ如番緋地錦ニテ包其上黄茶色ノ平細ラテ菱形ニ巻ヒテ子ラス



錦ノホコロヨリ見ハ目金クモリ也

日貫ハ目釘押シナリ

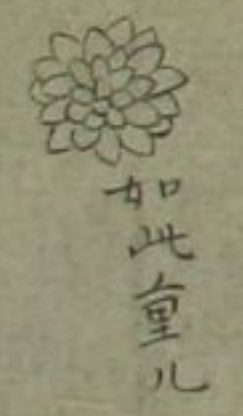
○目貫如圖



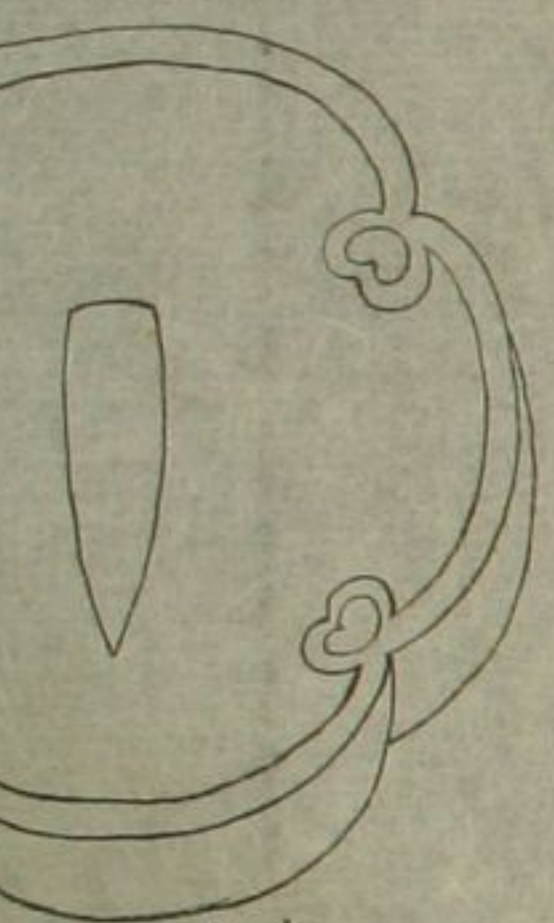
三釘ノ形ノ金



銀ニ草細ニ両方底
 二十ニ葉ノ八重ノ葉形
 ニ葉ハ金ニ



如此重ル



鍊鐺ト云

クワラレニ草鍔金伏リ
 草四枚重テ大ナ如圖

柄如畫緯地錦ニテ色其上苗紫色ノ平組ヲ菱形ニ巻キテ



錦ノホコヨリ見ハ目金クニナリ也 目貫ハ目釘押シナリ 又ノ方

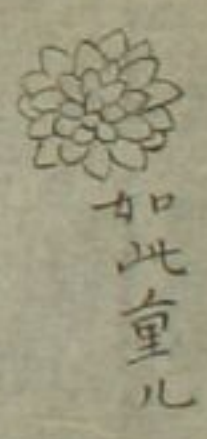
○ 目貫如圖



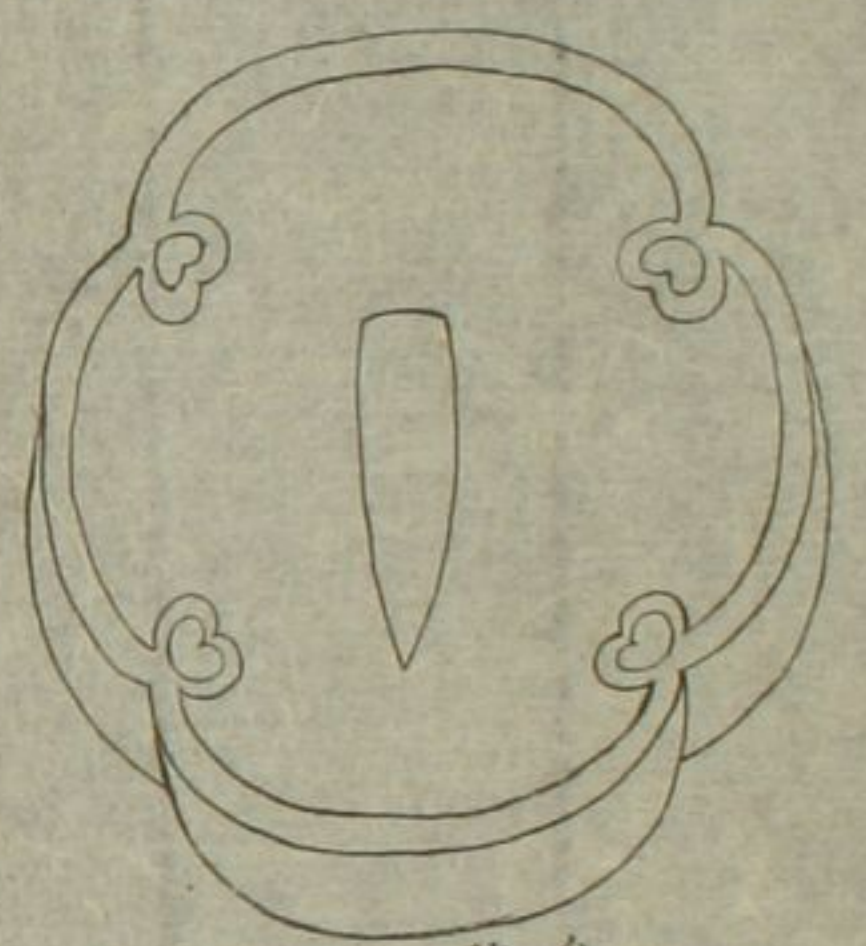
三鈷ノ形ニ全シ



銀ニ草組ニ両方ニニハ葉ノ八重ノ葉ノ形ニ兼ハ全シ



如此重ル

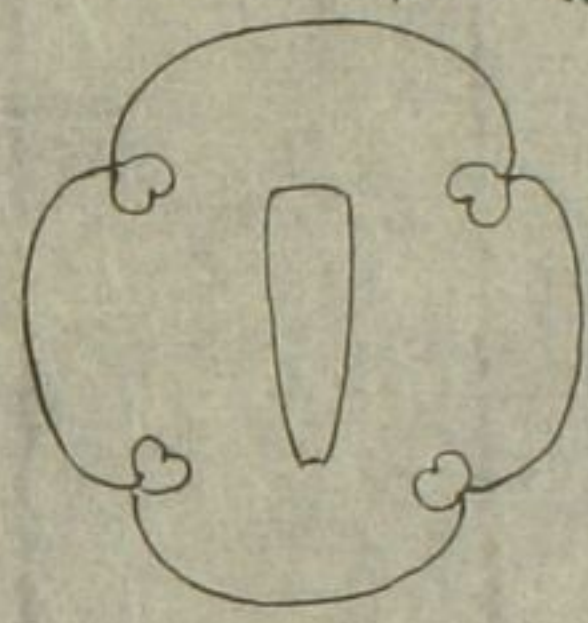


鍊鐔ト云

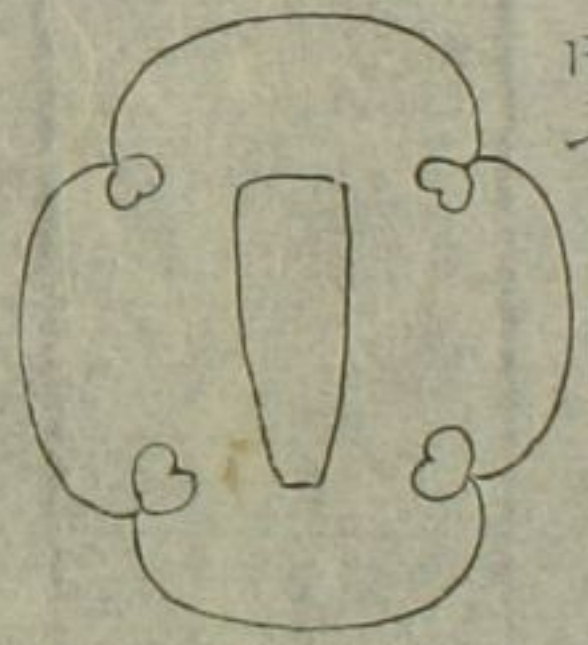
クワラルニ草組金伏リノ草四枚重子大ナ如圖

○ 大切羽二枚

厚サ コリンボト



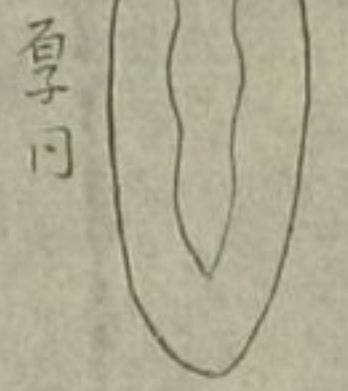
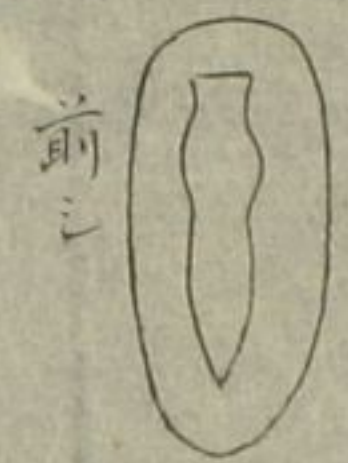
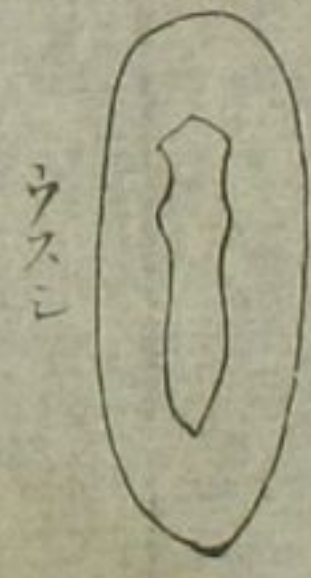
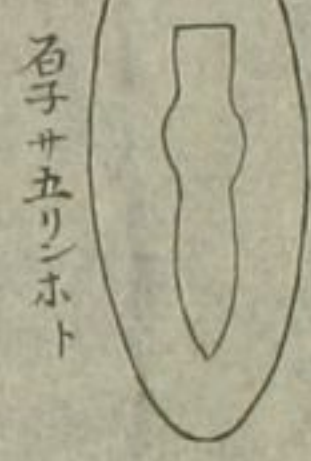
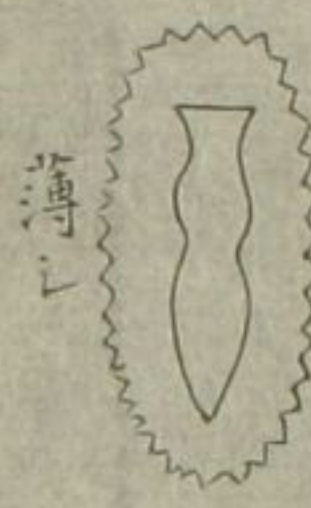
銅黒塗ニ大ナナ高ナリ



同上

○ 小切羽六枚之内銀一枚銅黒塗五枚

黒塗

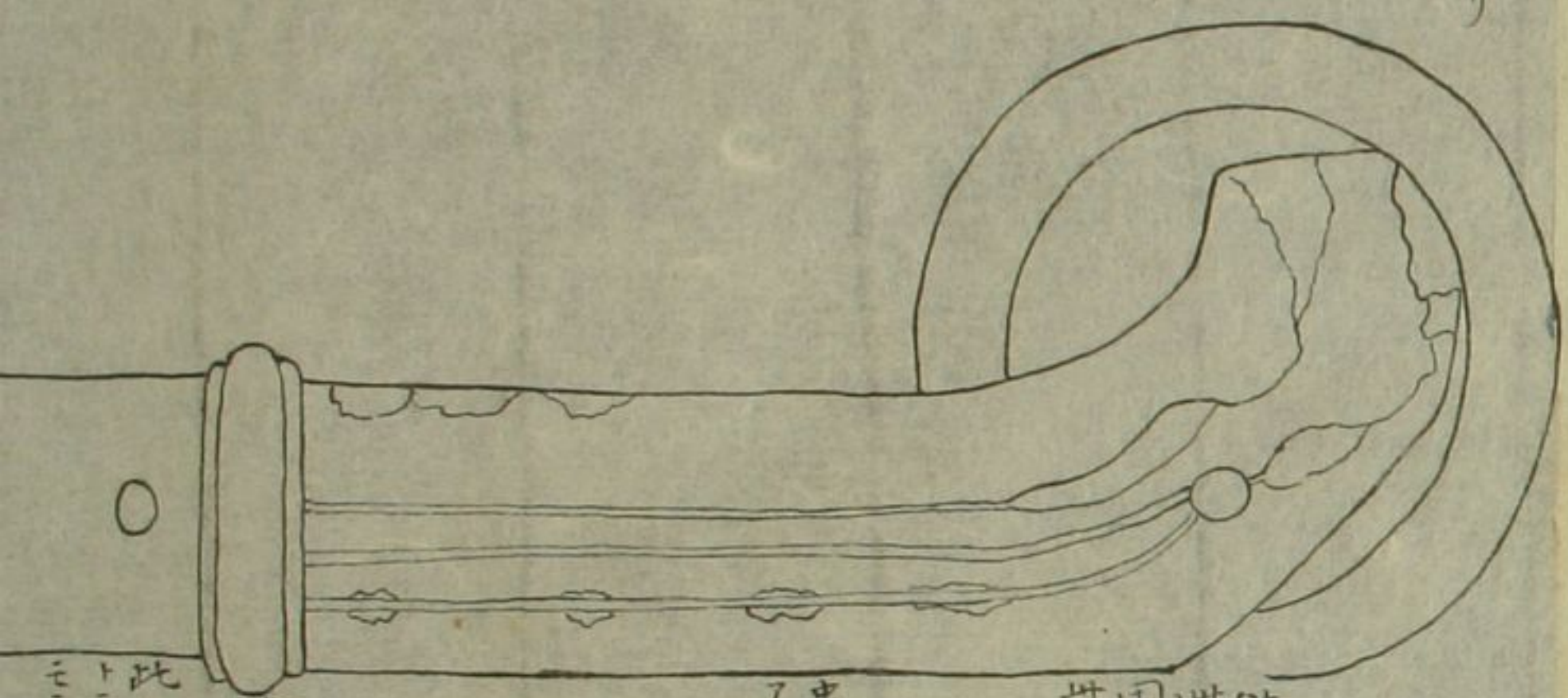


安永庚子九月十四日所見ノ朱書ニ北良野 貞彦 右之圖 神原長俊藏也 安永庚子秋写是

七郎官御宝物御佩刀御劔之圖

釵圖 凡大小長短皆圓ノ如故ニ尺寸ヲ注セズ

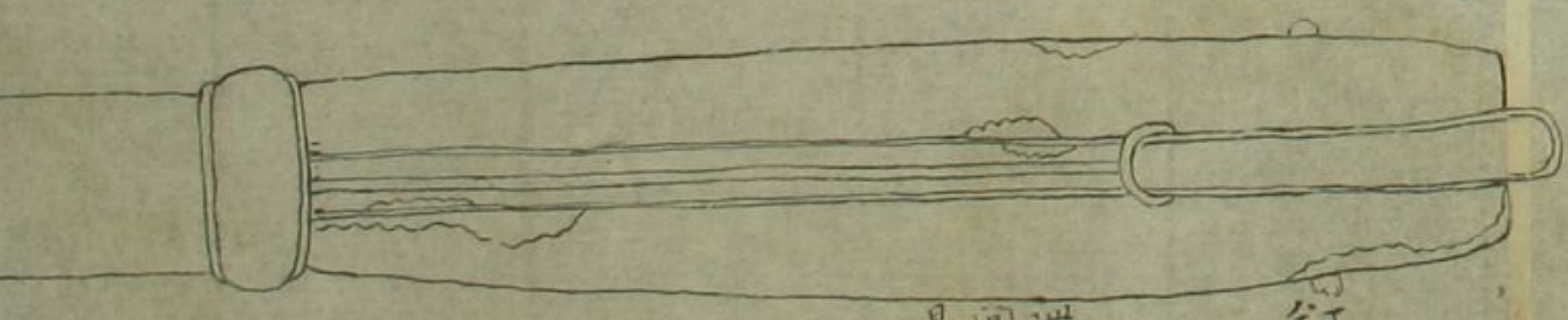
鉄環ケキノ圓八分ハカリ 六枚ニスヨシスニテ 造タルモノニテ方ヨリヨリ曲リ及ノ方ニ鉄ル未コト合ナル丁一分許柄木ノスキマヨリ見ユル



鉄釘 此ク柄木ノ圓ノハカリニ此辺ヨリ先ニ元年

虫ハミノ

此釘何ニテ造トモ和ス左右トミツホミ入ル



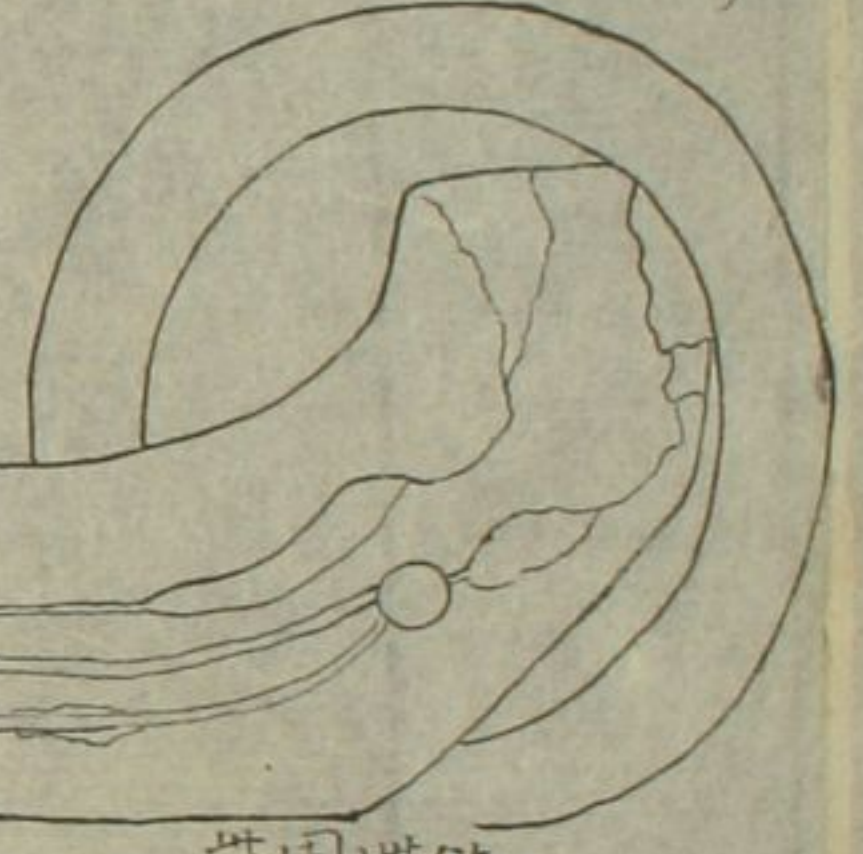
此處柄木ノ同ヨリヨリ見ユル

釘

七郎官御宝物御佩刀御劔之圖

釵圖 凡大小長短皆同ノ如故ニ寸ヲ注セズ

鉄環クキノ圓ハ八分ハカリ
六段ニスヨシスニテ
造タルモノミナリ方
ヨリ曲リ又ノ方ニ終ル
未コト合サレテ一分
許柄本ノスキマヨリ
見ユル



鉄釘
此ノ柄本ノ
圓ノハカリ
此辺ヨリ先
元々

虫ハミノ
アト

鉤ニテ造ル

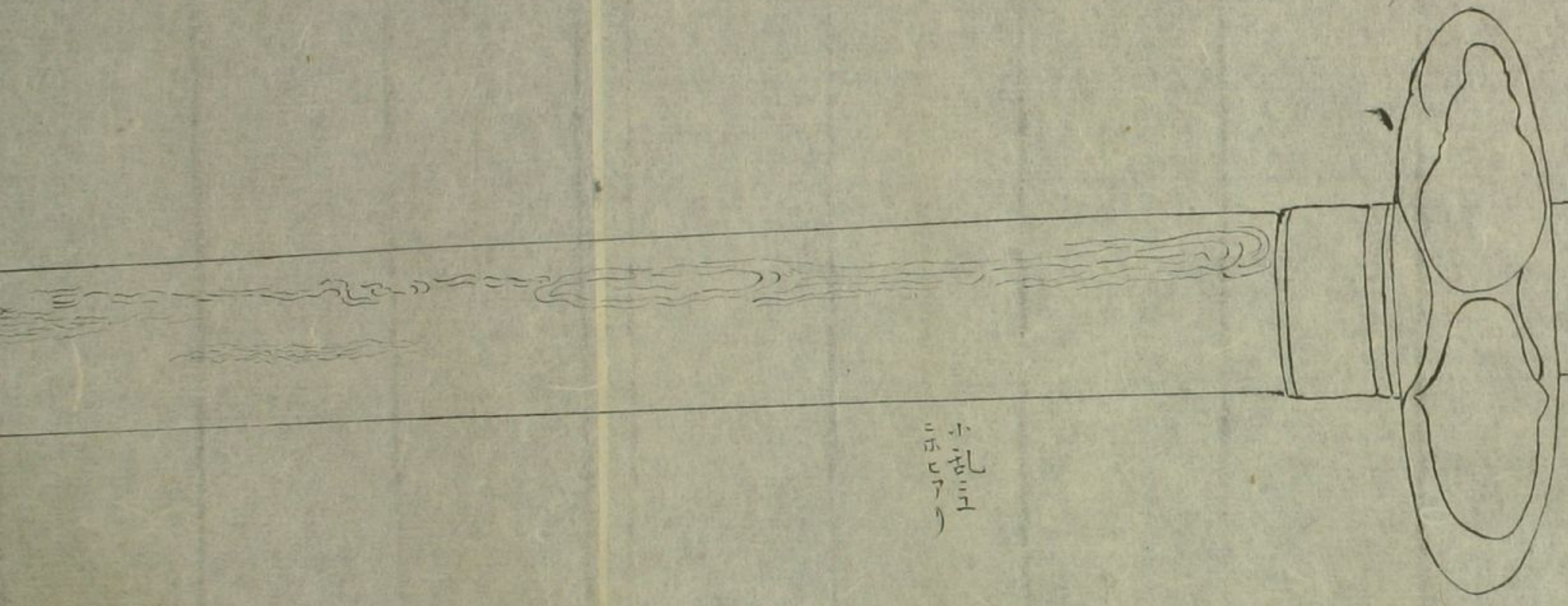
此釘何ニテ造
トモ知ス左右ト
ミクホミ入ル

此処九平ラ銅索
ニテ巻タテ見
ユル

銅索丸ニ
左十二歳條
又キタルヲ別
藏ム

鉤ニテ作ル

ツハツカト同物ニテ造ル
処ニ虫ハミアリツハミノ
方ヘリツロキアリテ
四分モ動クニ至此処ヨリ
コトノ様子見ユル

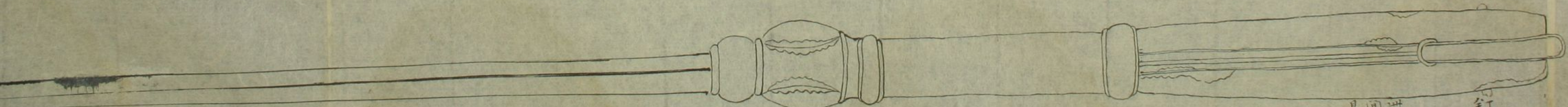


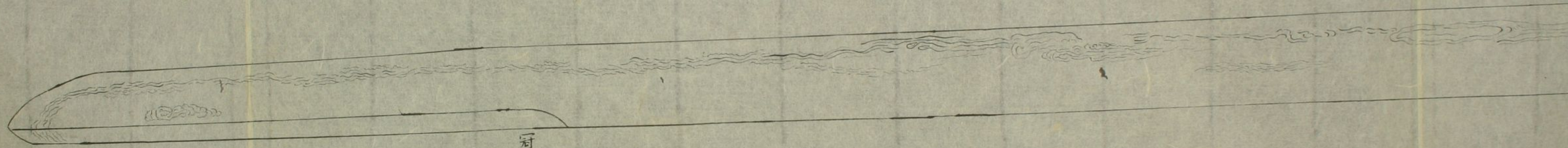
小乱ニ
ニホヒアリ

此処柄本ノ
同ヨリコト
見ユル

釘

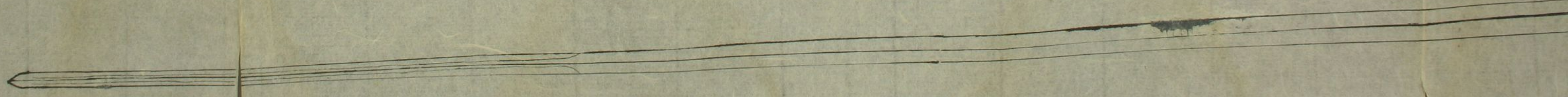
鐔





一冠
落レ

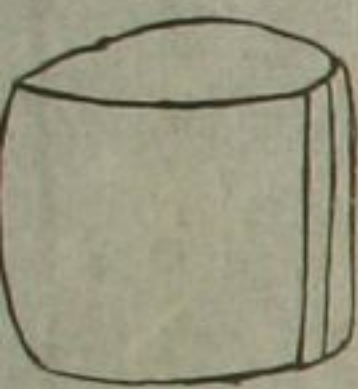
切先峰、方ヨリ
落ス、如是



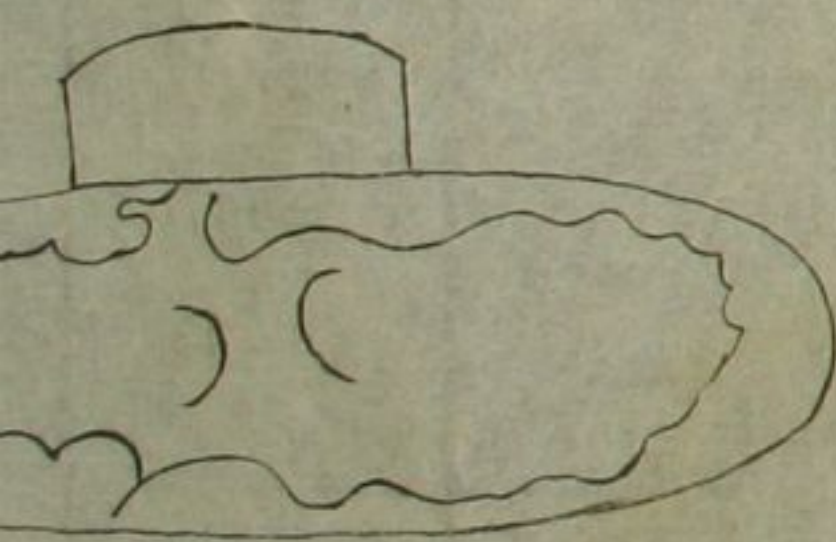
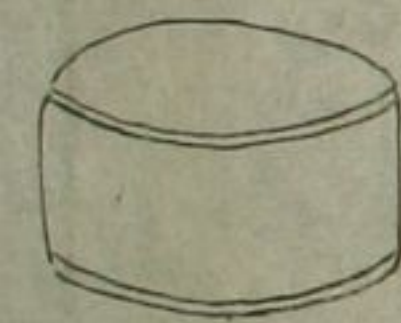
柄木ヲ去リコミ
見ルル器
意ヲ以テ圖ス

ハキ画

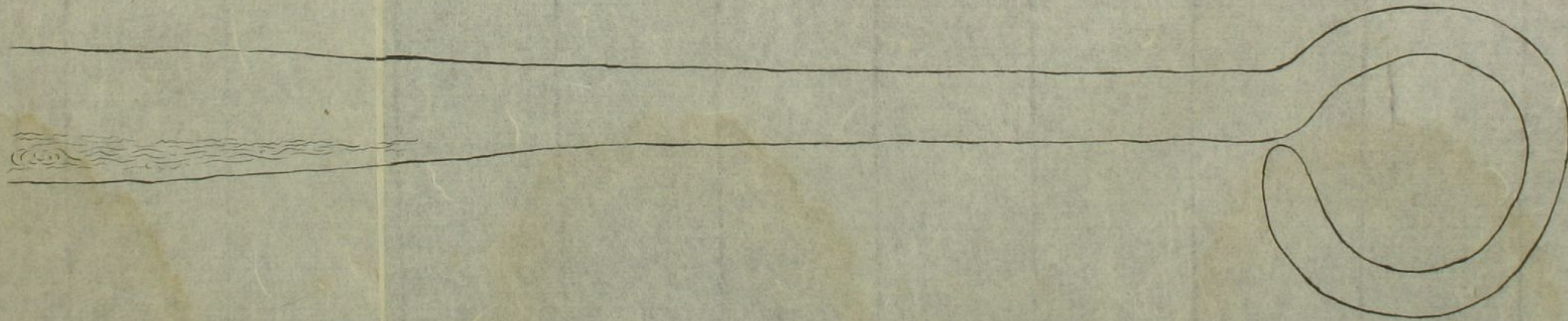
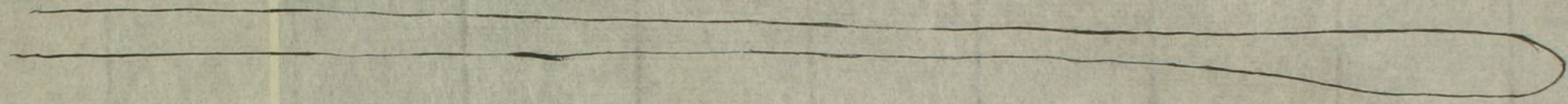
鑰ニテ作ルハナレ
タルヲ別ニ藏ル



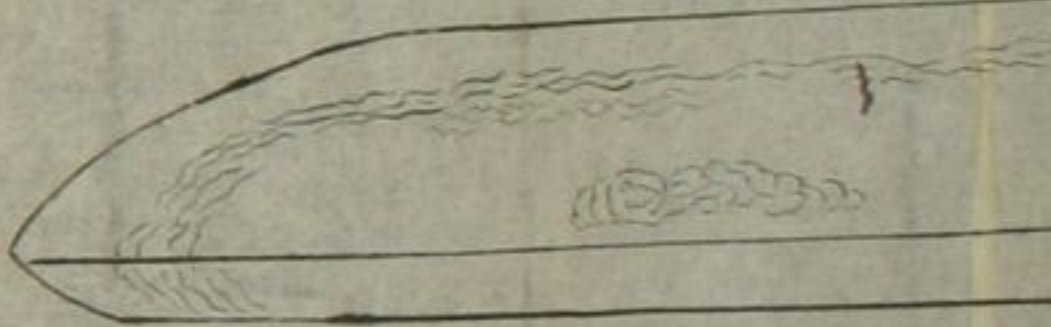
ホフ上ニハメ
ル鑰ノ圖



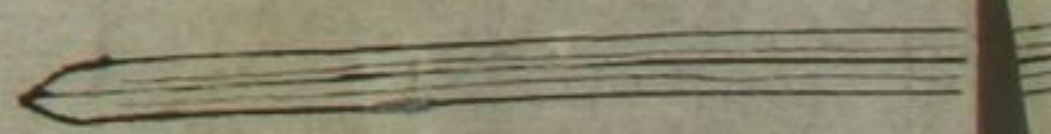
鑰ヲ横ヨリ見ル圖



柄木ヲ去リヨミ
ヲ見タル畧
意ヲ以テ圖ス



切先峰ノ方ヨリ
落スノ如是



サヤノ圖

サヤ竹ヲ合セ造
上ヲ黒草ニテ包ム
草処ニクナ損ス竹ハ
全ク損セズ

サヤコクナヨリ見タル器



外鉄
内竹

峯方

鐺表ヨリ見タル器



鐺裏ヨリ見タル器



ハキ畚

鍬ニテ作ルハヤレ
タルヲ別ニ藏ム

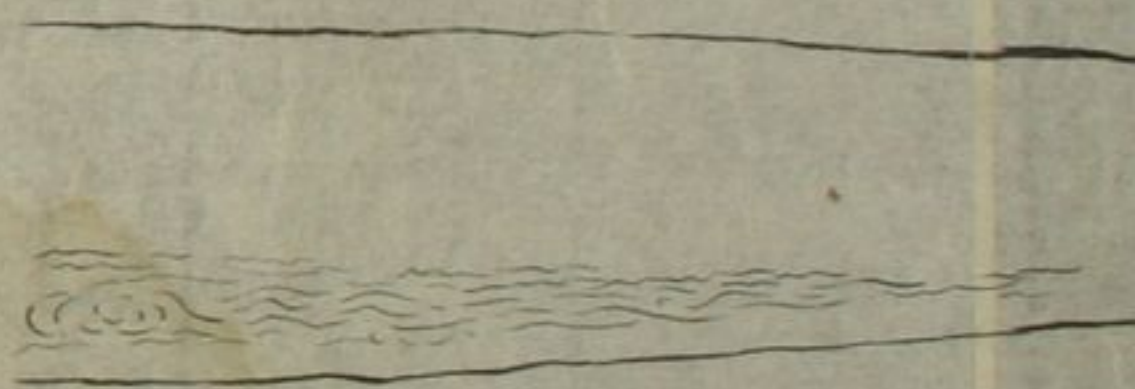
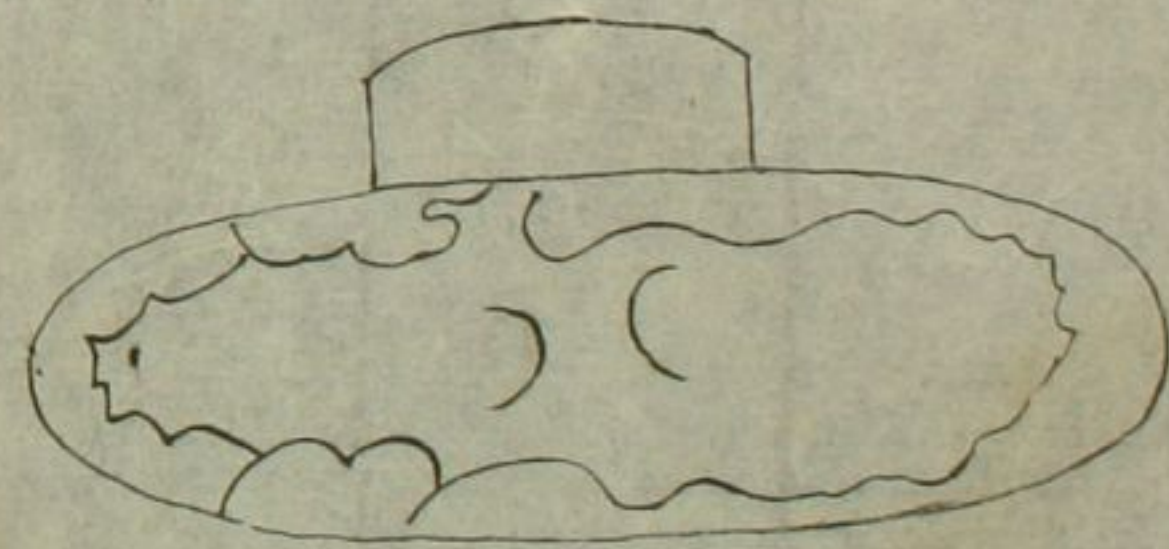


ホソ上ニハメ
丸鍬ノ圖



此ホソツハト
物ニテ造テ
クニエヲ鍬
ニテハリタリ

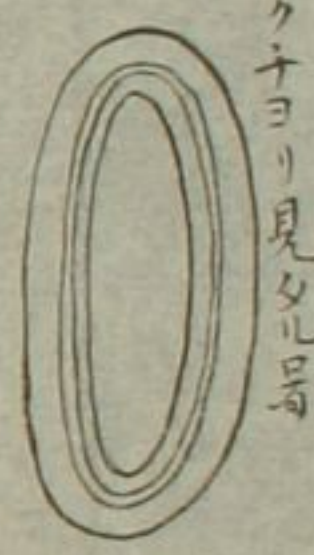
鐺ヲ横ヨリ見タル圖



サヤノ圖

サヤ竹ヲ合せ造
上ラ黒草ニテ包ム
草処ニクナ損ス竹ハ
全ク損セズ

サヤコナヨリ見タル景



外鉄
内竹

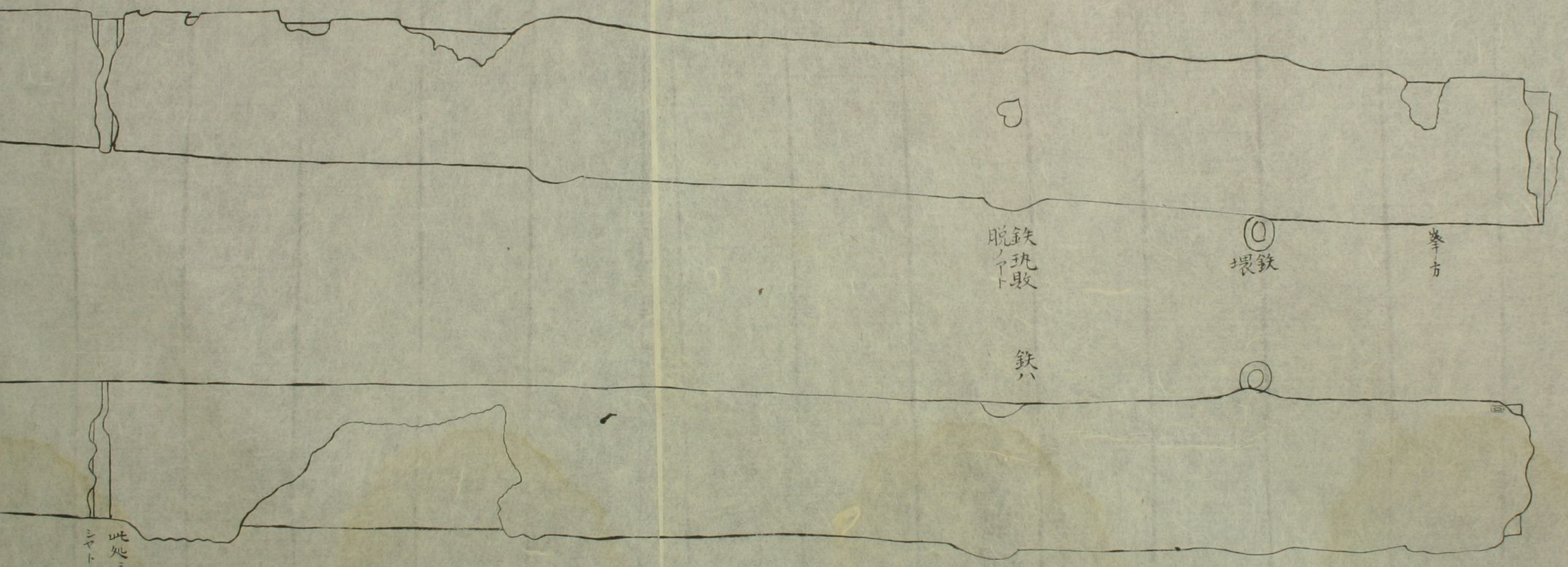
拳方

鐵環

鐵玦
脱ノヤト

鐵六

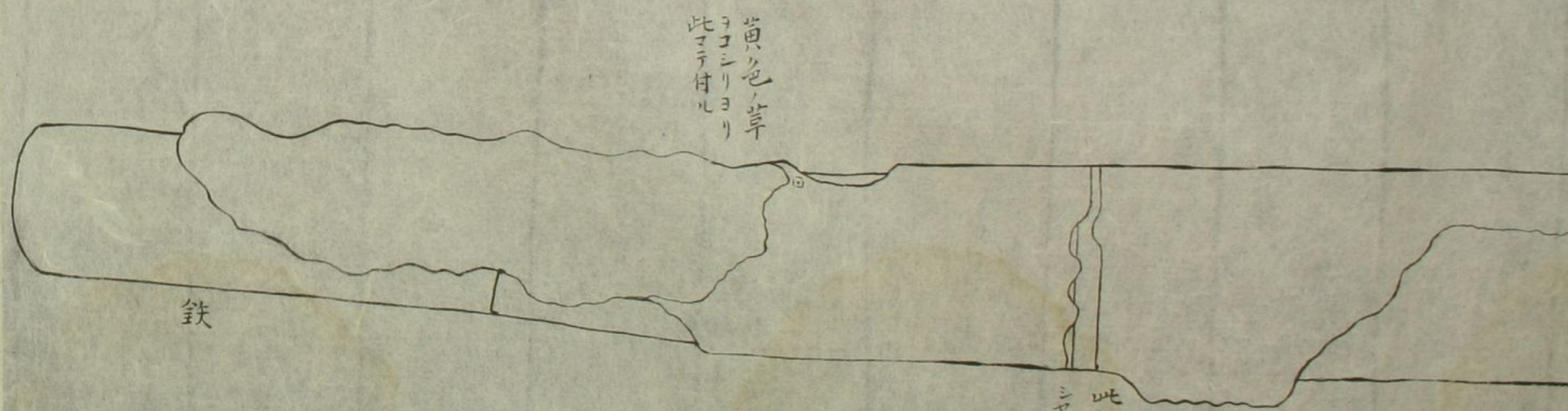
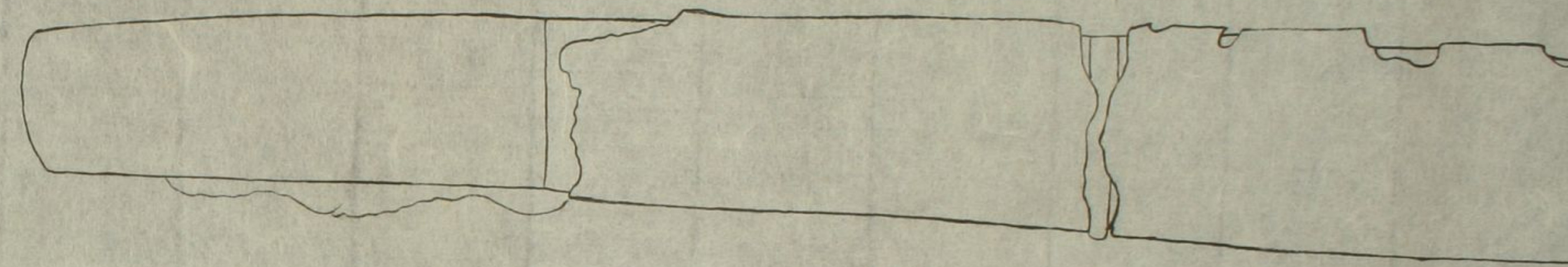
此処ニ鉄ワアリ
シヤト見ユ



小松内大臣殿奉納御大刀
 長三尺七寸五歩無銘鞘地黒
 金梨地惣金具金臧金

身長三尺七寸五分

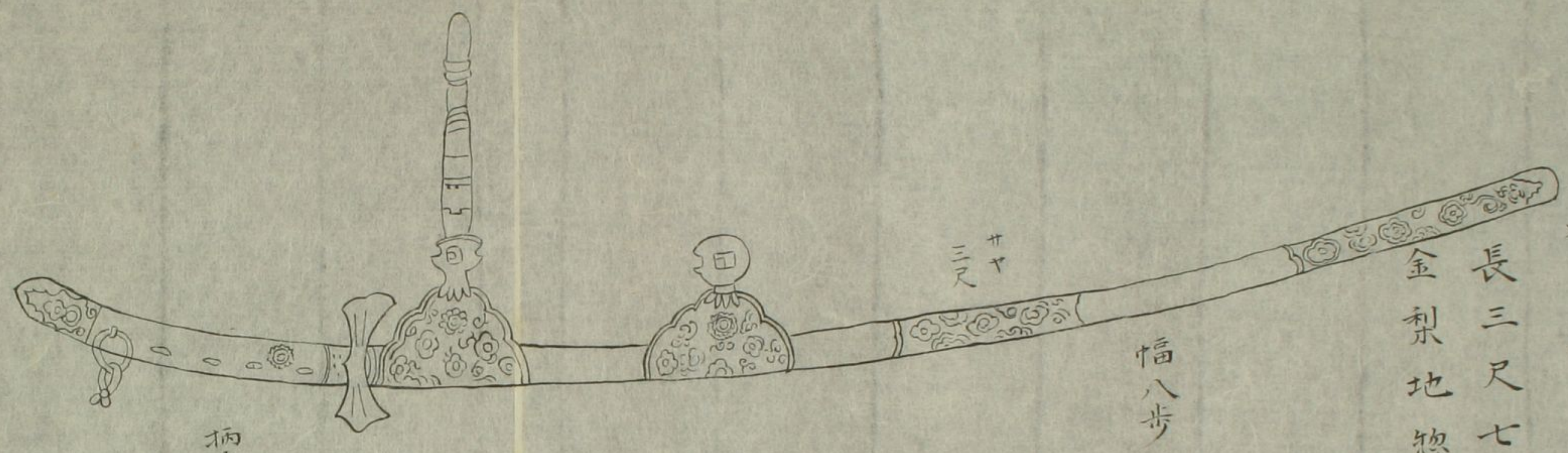
コシリノコケナ
 ヨリ見ル高
 鉄



黄ク色ノ草
 コシリヨリ
 此ヲ付ル

此処ニ鉄ワアリ
 シヤト見ユル

小松内大臣殿奉納御大刀
 長三尺七寸五歩無銘鞘地黒
 金梨地惣金具金臧金



幅八歩

ツハ厚サ六歩

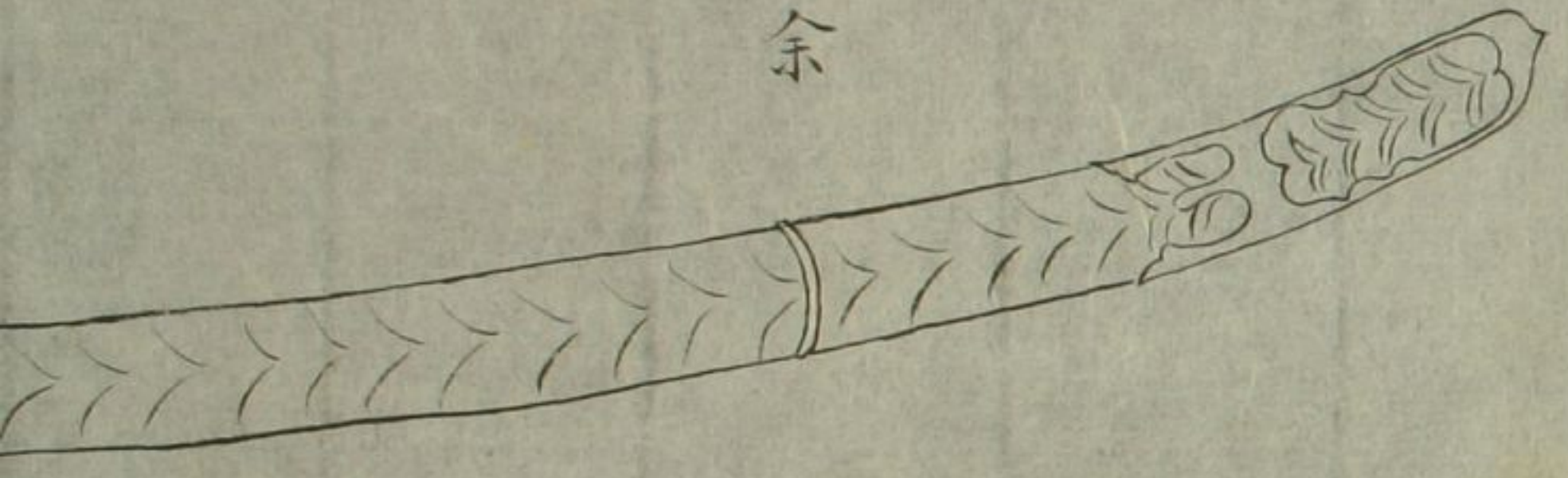
柄六寸八歩

身長二寸七分

幅六歩

中心柄へクサリ
 ツキ不知

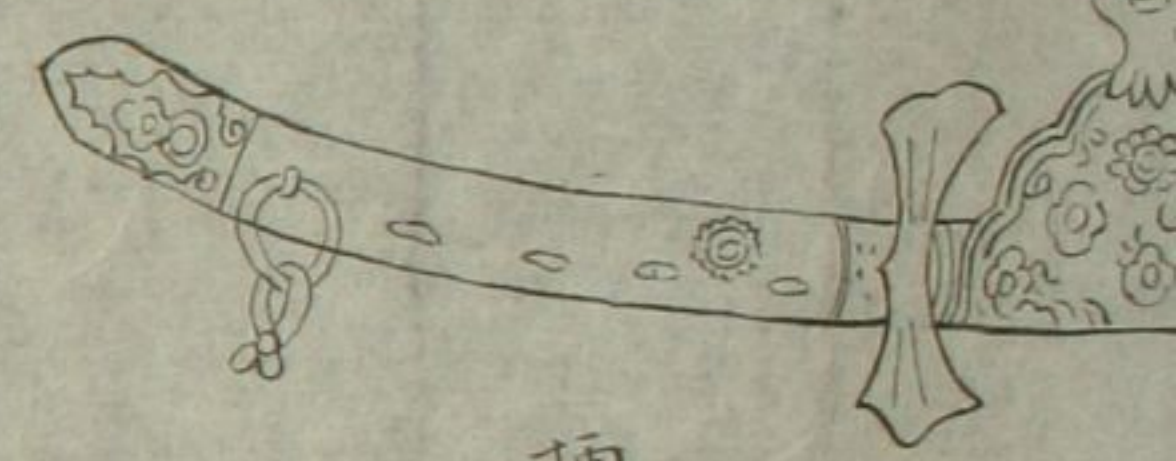
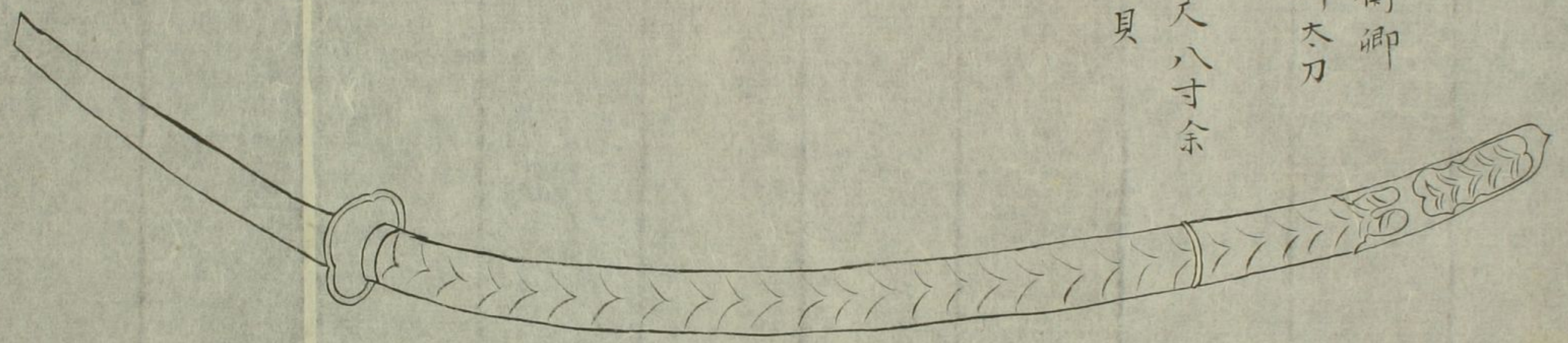
平重衛御
 奉納御太刀
 長五尺八寸余
 鞘青貝



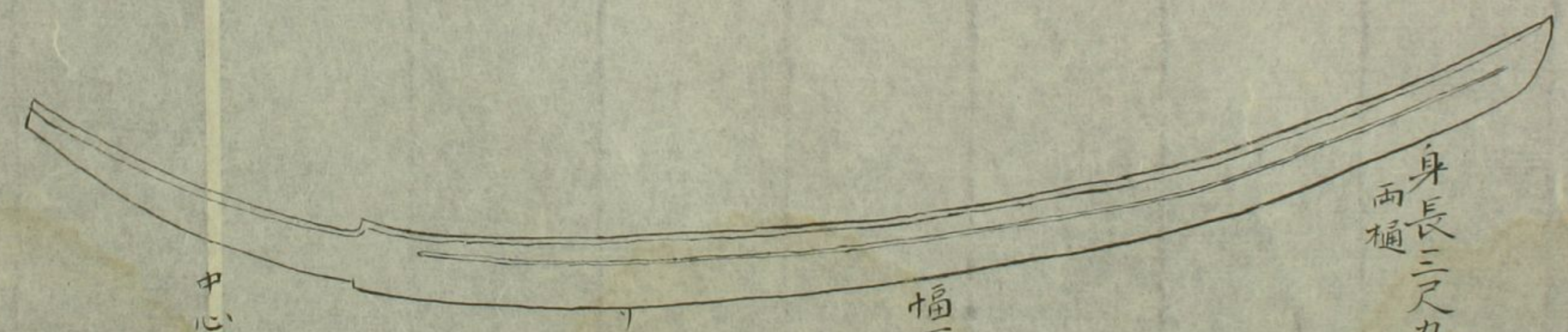
身長三尺九寸五歩
 両樋

幅一寸四分

平重衛卿
 奉納御太刀
 長五尺八寸余
 鞘青貝



ツハ厚サ六步
 柄六寸八步



中心二尺五寸

ツリニ寸二步

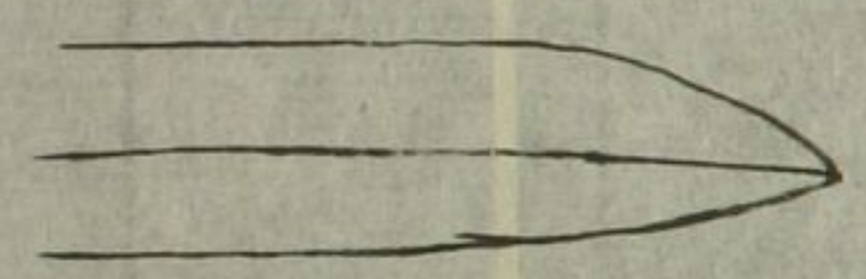
幅一寸四分

身長三尺九寸五步
 兩極

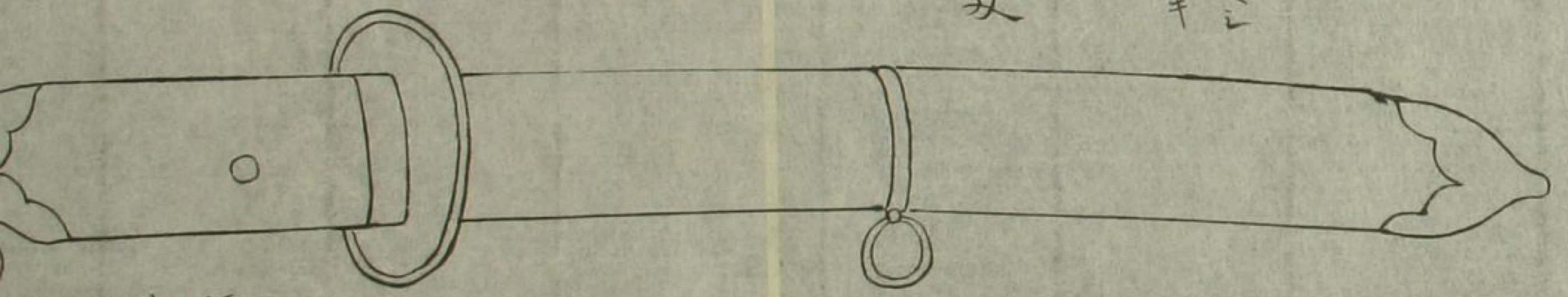
中心柄へクサリ
 ツキ不知

横瀬氏所藏
新田義貞朝臣懷劔圖

惣長廿九寸ハトモアルヘ
鐔ノ大サ此畧ヨリ少キ
方シ



兩刃



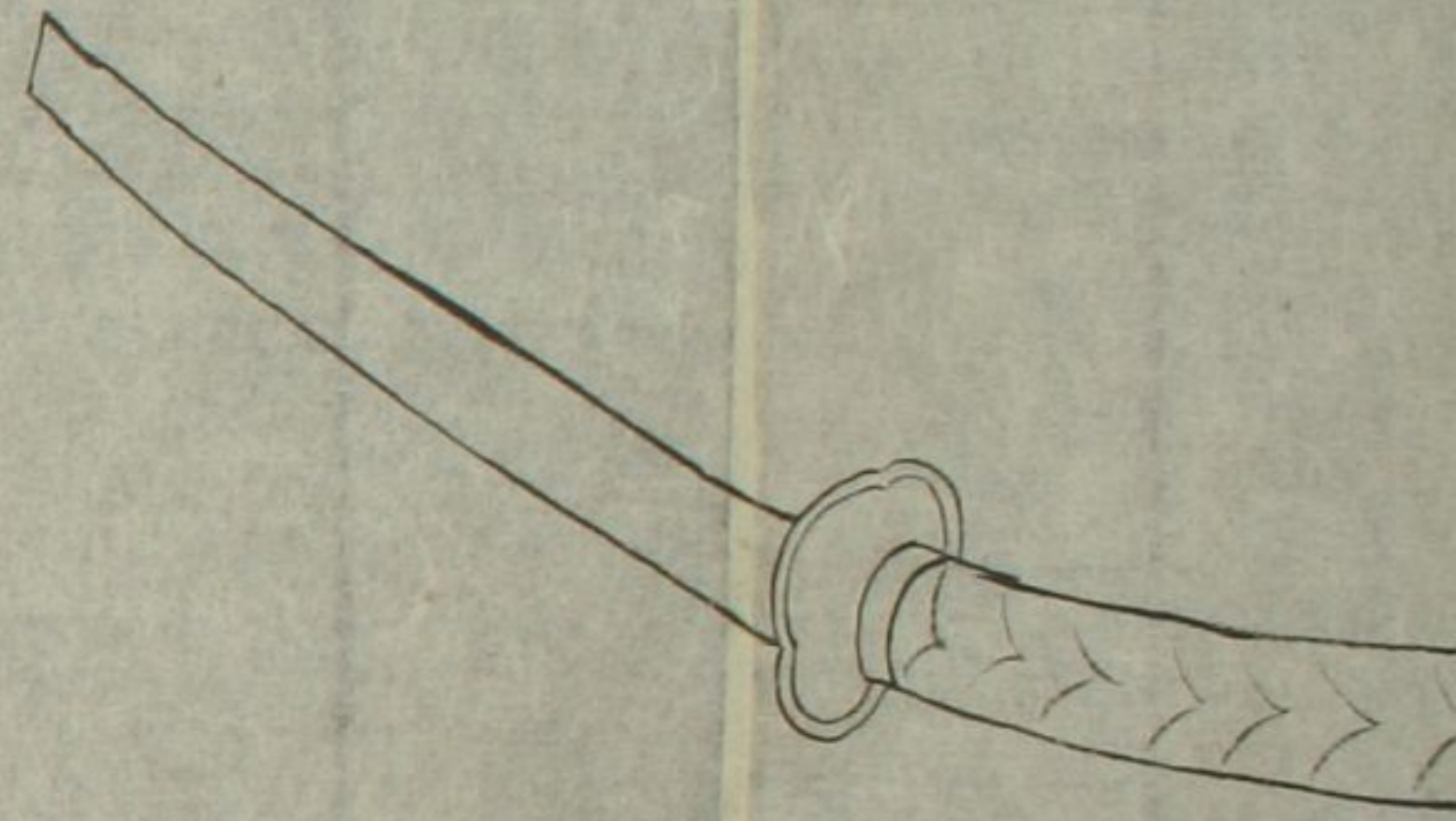
眞劔

眞劔環同

鉦金

鐔鉄
緑眞劔

柄ノ色ノ様成ニ草ニ包
唐艸キノコシノ模様

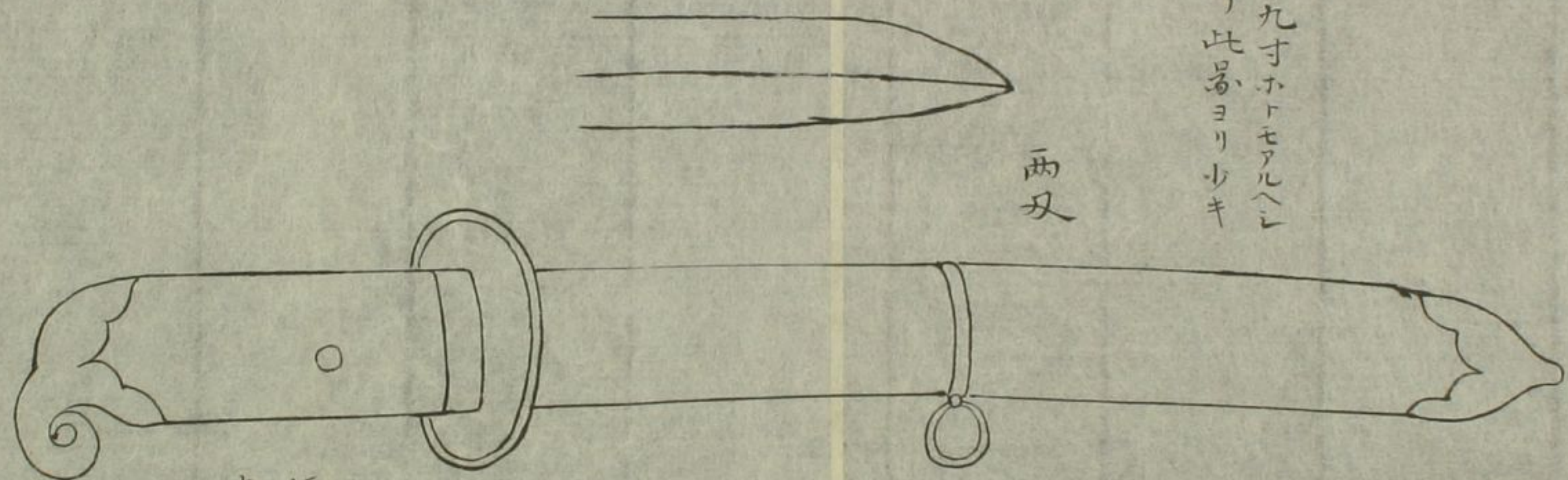


中心一尺五寸

横瀬氏所藏
新田義貞朝臣懷劔圖

惣長廿九寸ハトモアルヘシ
鐔ノ大サ此器ヨリ少キ
方

両刃



真鍮

真鍮環同

鍮金

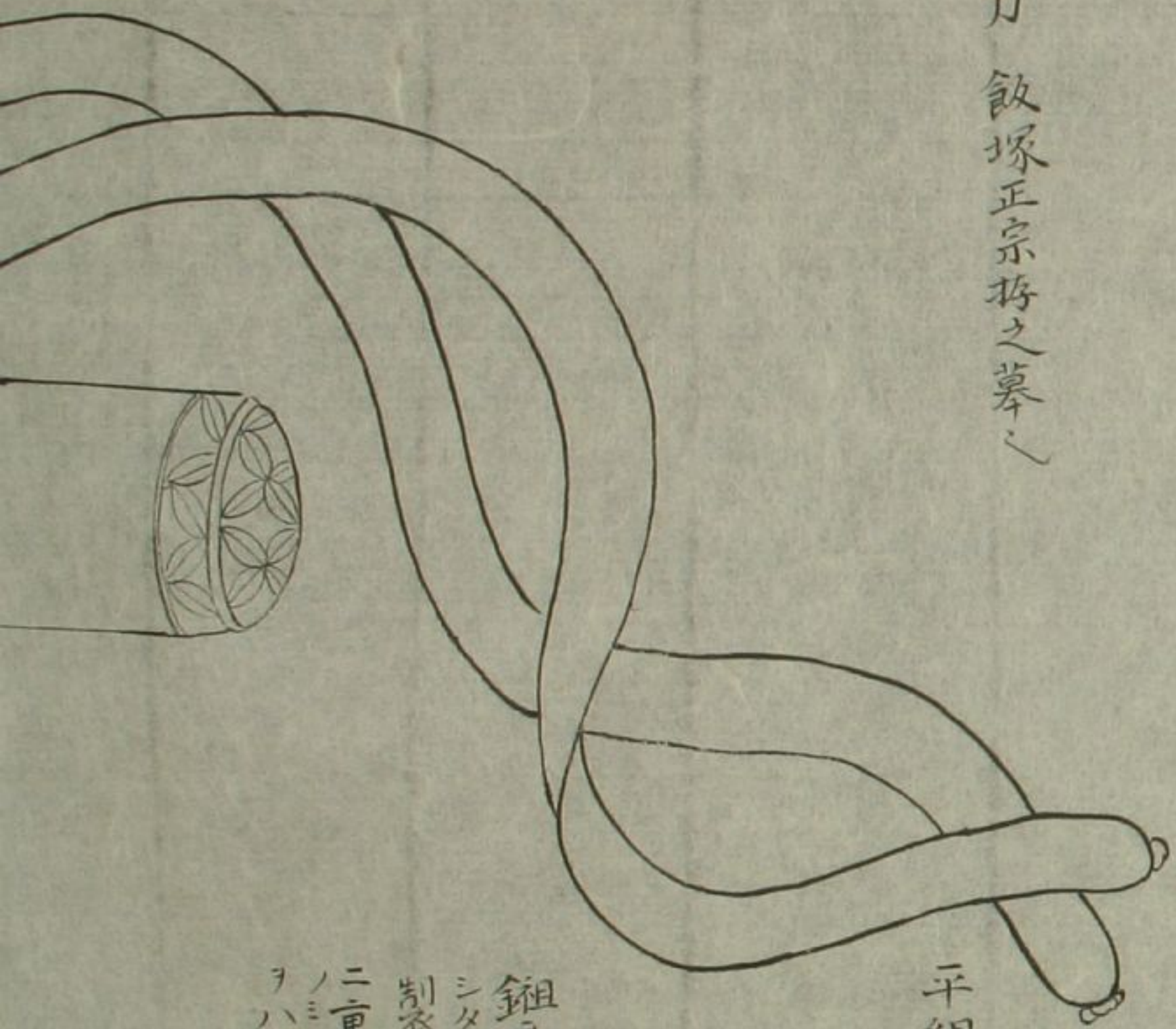
鍔鉄

緑真鍮

柄戈鳥色ノ様成ル草ニ包
唐艸キノコシノ模様

真鍮卷目穴アリ

腰刀 飯塚正宗持之幕



平組ノ下緒

一打刀ヲハ鍔カトモ云宗五記ニ見タリ
柄糸ニテモ草ニテモ卷鍔ヲ入ルナリ
即今世脇差 副テサス長キワリ

鍮ラ牌本金ニ作甘ニ
シタルハ異制表ナリ通
制表ニハアラス
二重ハキハ上ハキヲ
ノミイルト云テハキ
ヲハキト云



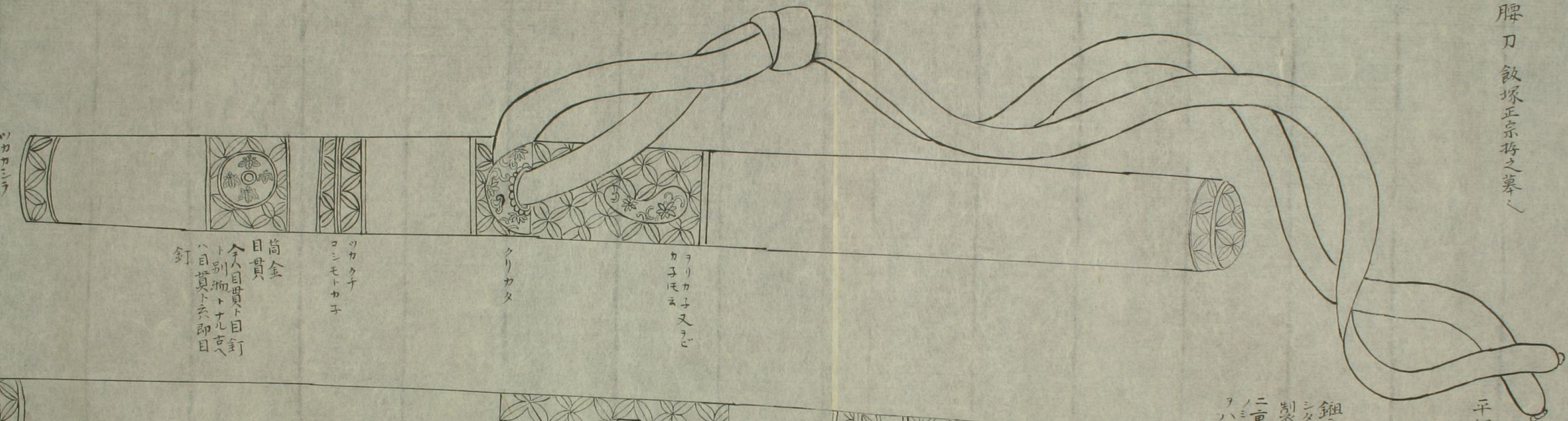
腰刀 飯塚正宗持之墓

平組ノ下箱

真鍮卷目穴アリ

一打刀ヲハ鑄カト云云宗五記見タリ
柄糸ニテモ草ニテモ卷鑄ヲ入ルナリ
即今世脇差 副テサス長キ刀ニ

鍬ラ腰本金作付ニ
シタル異製ナリ通
制家ニアラス
二重ハキハ上ハキヲ
ノミイレルト云ハキ
ヲハキト云



ツカカニラ

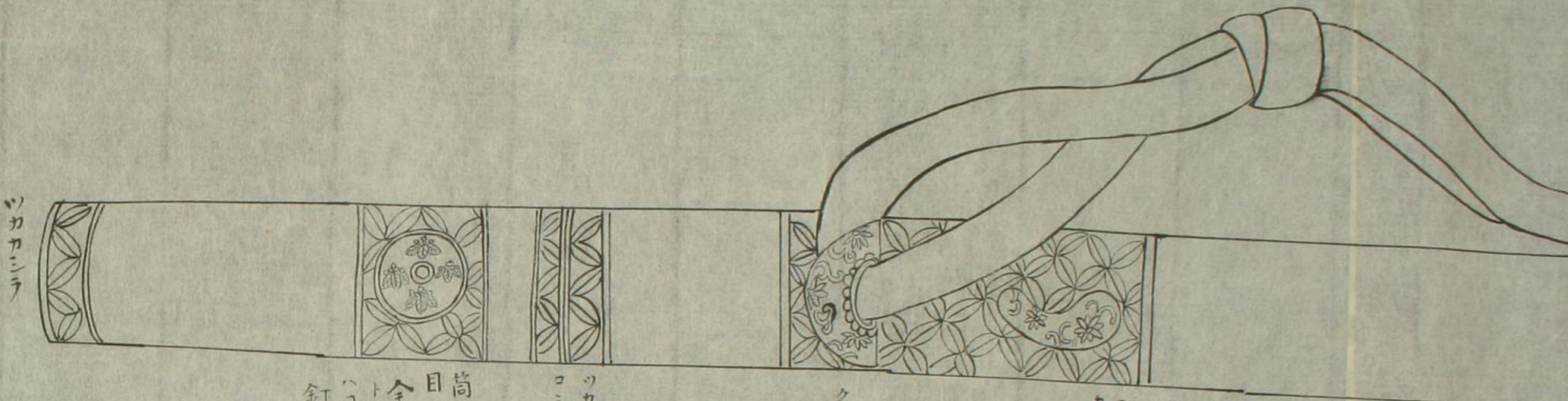
筒金
目貫
今八目貫ト目釘
ト別物トナル古
八目貫ト云即目
釘

ツカクチ
コシモトカチ

クリカタ

ヲリカ子又
カ子ト云

算サシ
此鞘サシウラミノツアリ
是必カウカイサシナリ
小刀サシハアラスカウカイヨサス
フ本アリ人ノ好ニテサシ表ニカ
ウカヒサシヲモ造ル兩品ニサス
一モ古ヘヨリアリシ一モ古代ツチノ
鳥帽子冠リニ時ハカウカヒ
ナクテハカククルアリサレハ
必カウカイヨサシ小刀ハサシス
トサラナシ



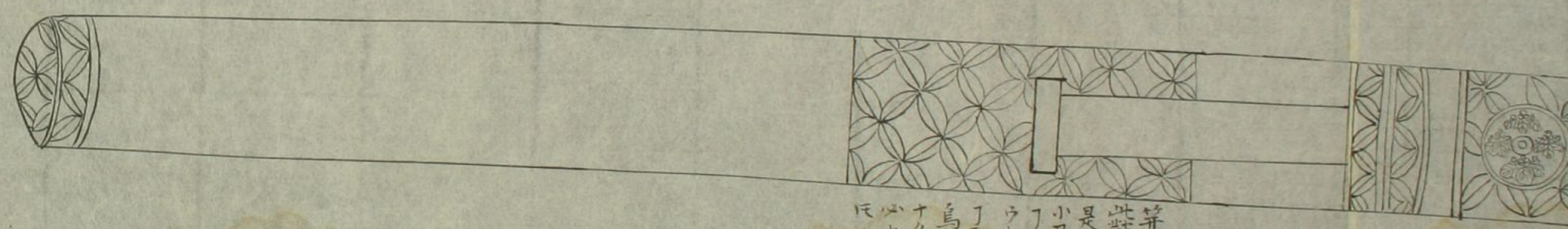
ヨリカ子又子
カ子云

クリカタ

ツカクチ
コシモトカ子

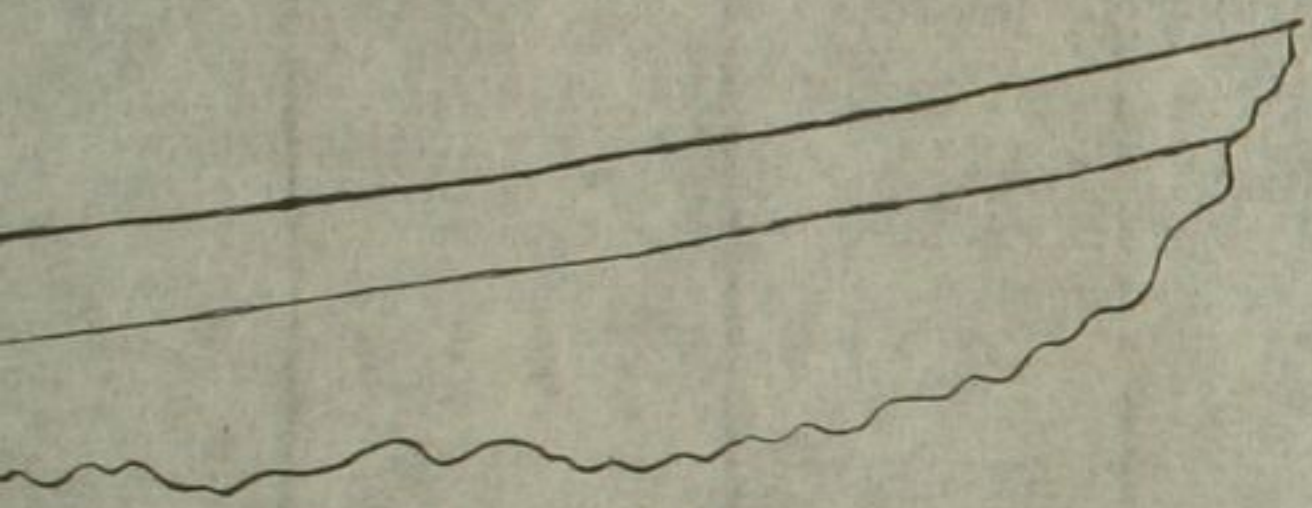
筒金
目貫
今人目貫上目釘
上別物上ル古
八目貫上六即目
釘

ツカカニラ

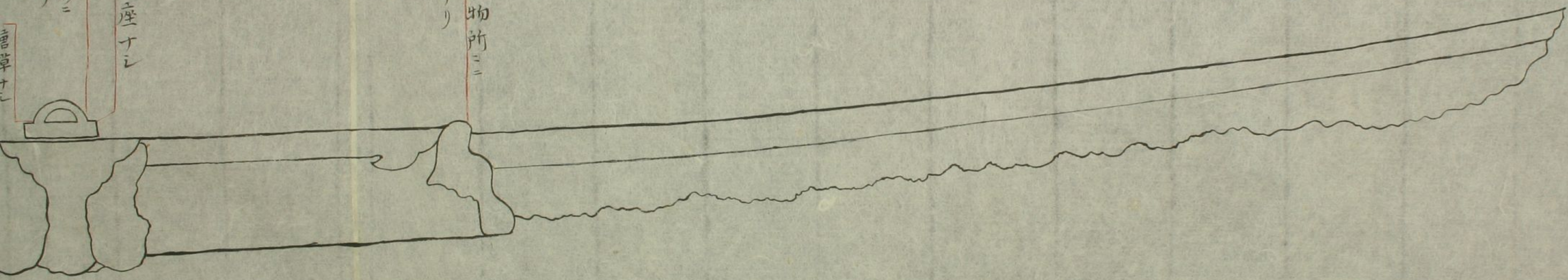


筭サシ
此鞘サシウラミノミツアリ
是必カウカイサシテリ
小刀サシハアラスカウカイヨサス
丁本アリ人ノ好ミテサシ表ニカ
ウカヒサシテモ遠ル両高サス
丁モ古ヨリアリシ丁ノ古代ツチノ
鳥帽子冠リシ時ハカウカヒ
ナクテハカクル丁アリサトハ
必カウカイヨサシ小刀ハサス
氏サラナニ

奥州南部郡本誓寺付物太刀圖
從厨川所出也



奥州南部郡本誓寺付物太刀圖
從厨川所出也



石ノ如ナル物所ニ
取付テアリ

二ノ足座ナシ

此金色サレ色ノヤウニ
見テ然レモ後ニツケ
タルモノトハ見エズ

唐草ナシ

此金色サヒ色ノヤウニ
見元然レモ後ニツケ
タルモノトハ見エズ

二ノ足座ナシ

唐草ナシ
佩裏モ

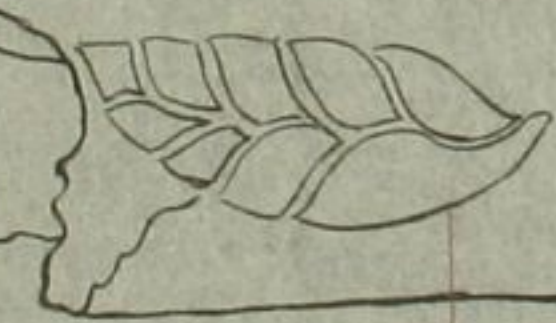
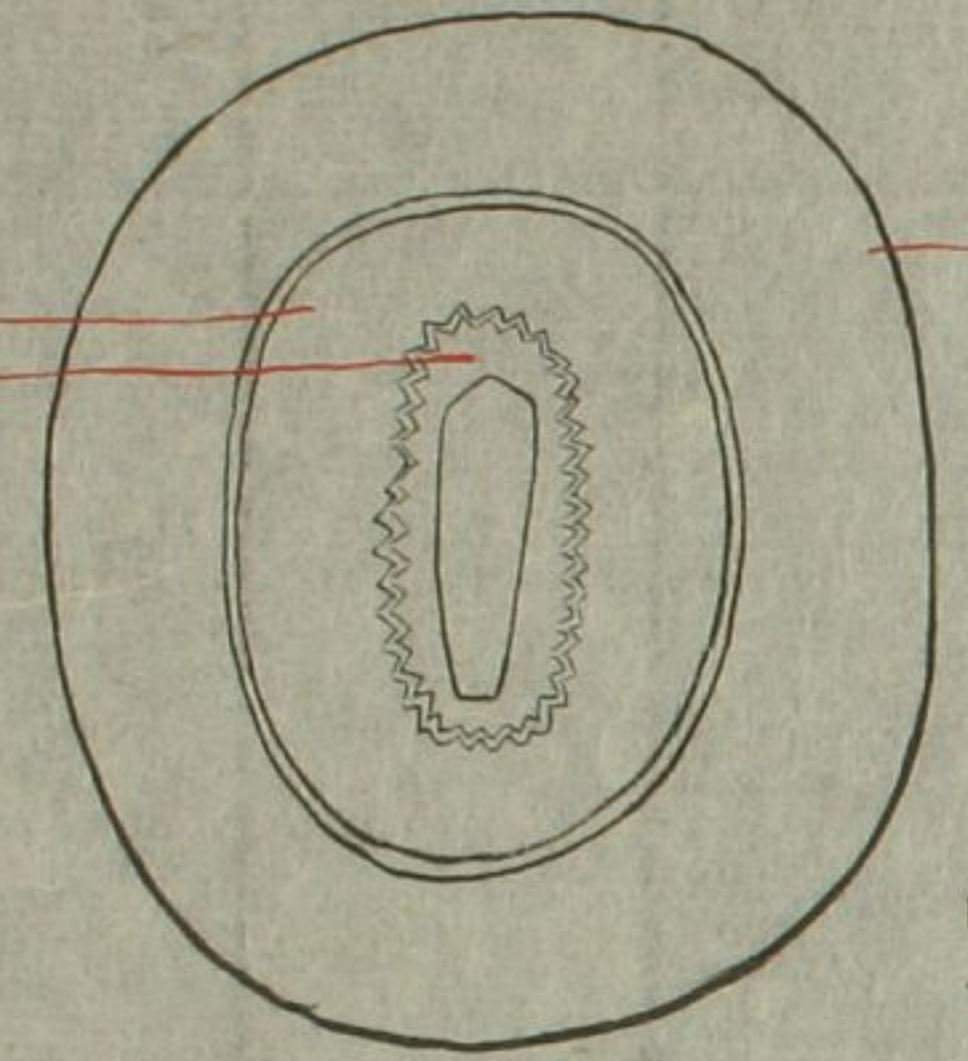
一ノ足座ニ重
上ノ座切廻

唐草彫
上少残り
見
佩裏モ

縁ノ赤銅朽テ薄ク
ナリタル如シ金色ツヤ
ヨク見ユル

鐔厚三歩許
横二寸六分許
竖二寸八歩許

小切羽菊座少残りテ見
大切羽切廻シ厚半分許
負丈日四レテ少長ニ米鐔ト云是



目貫長廿
一寸五分半

縁壹分程ツ、
スキ有金モ薄

安永九年六月六日

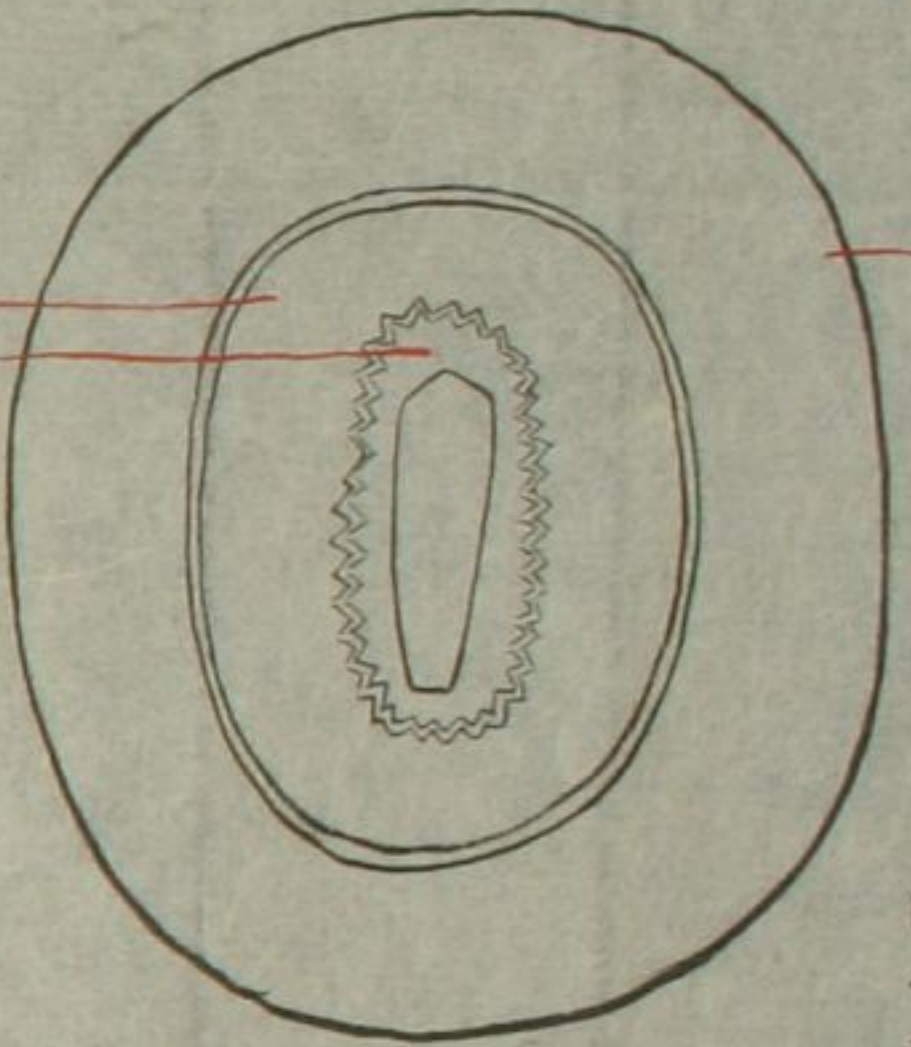
同年同月廿九日

同年八月廿三日

源勝義

伊勢平藏負丈寫

藤原忠寄寫



鑄厚三歩許
堅二寸八歩許

小切羽菊座少残リテ見
大切羽切廻シ厚半分許
負丈四寸少長ニ米鑄上云是

安永九年六月六日

同年同月廿九日

同年八月廿三日

源勝義

伊勢平藏貞丈寫

藤原忠寄寫

高力允近大夫
高長奉納大刀
長五尺五寸余鞘黒塗紋
金粉金具金減金

此刃近
金具三寸

金具渡三寸八歩

幅二寸五分

金文上下合九寸
具并



身長三丈七寸

幅二寸八歩

力廿五歩

高力允近大夫平朝臣高長奉納

藤州三邊大明神

御寶前

川生相口

中心一又五寸

同年八月廿三日

藤原忠寄寫

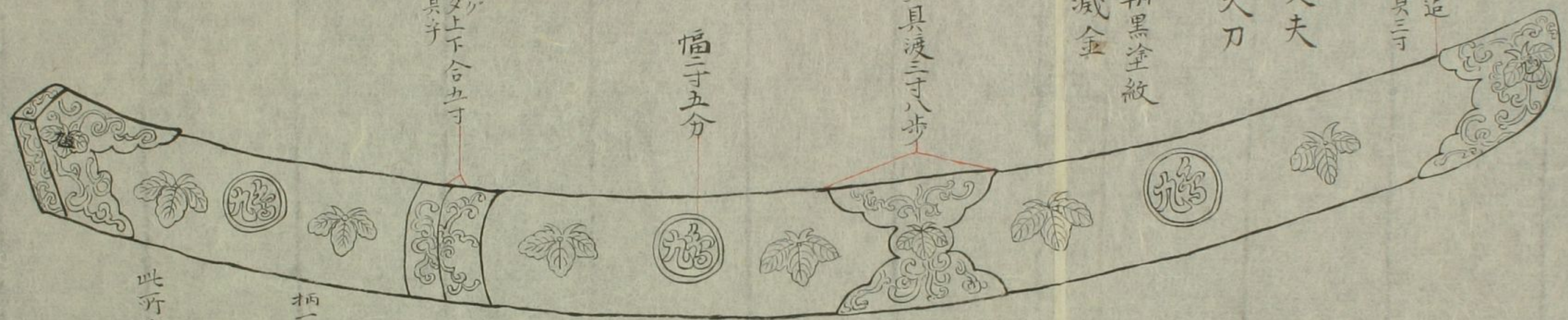
高力左近大夫
高長奉納大刀
長五尺五寸余鞘黑塗紋
金粉金具金減金

此所近
金具三寸

金具渡三寸八步

幅二寸五分

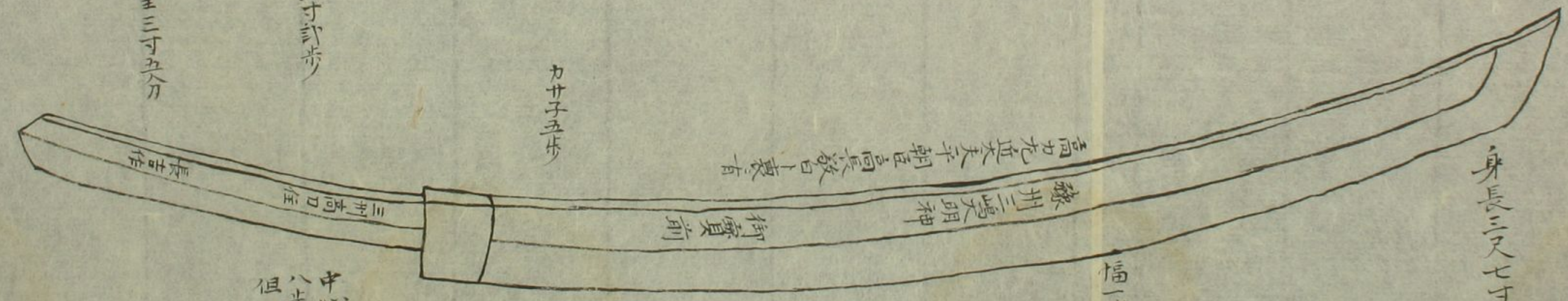
金具上下合五寸
具并



此所近金三寸五分

柄一尺五寸許步

力廿子五步



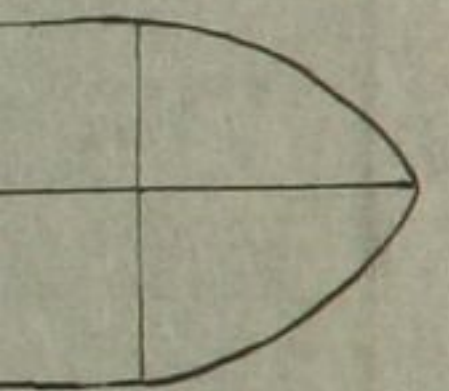
身長三尺七寸

幅二寸八步

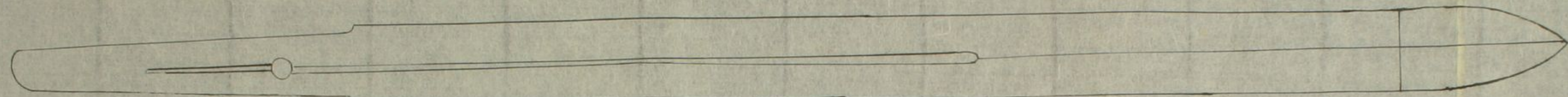
藤州三邊大明神
御寶前
高力左近大夫朝臣高長敬白一獻首

中心一尺五寸
八步
但一寸六步ハ
ハキ下テル

出雲大社神寶劔圖

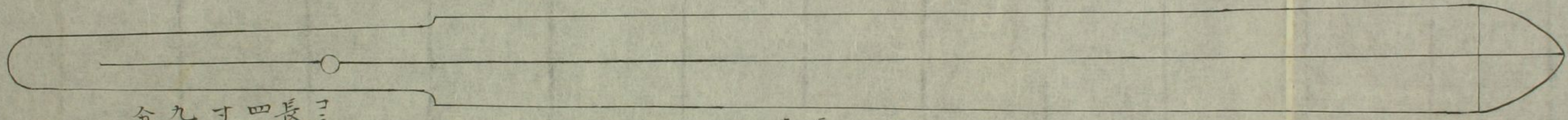


出雲大社神寶釵圖



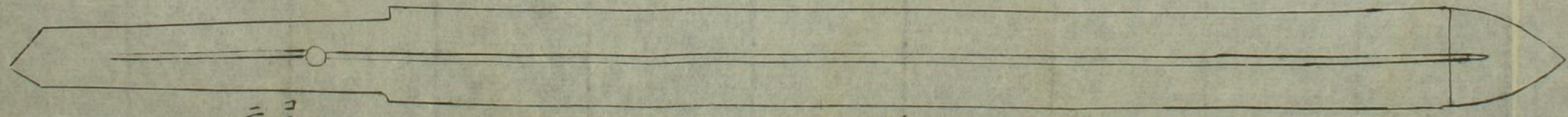
步二寸四忠

步七寸三尺壹



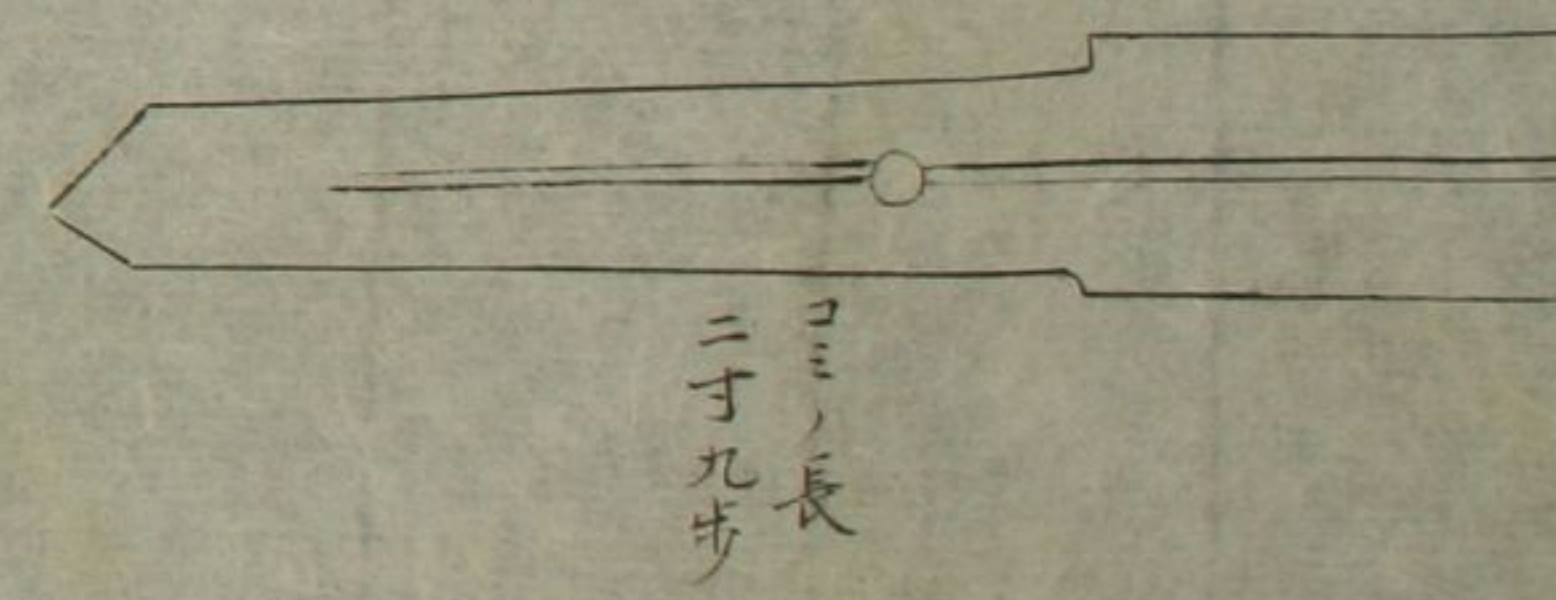
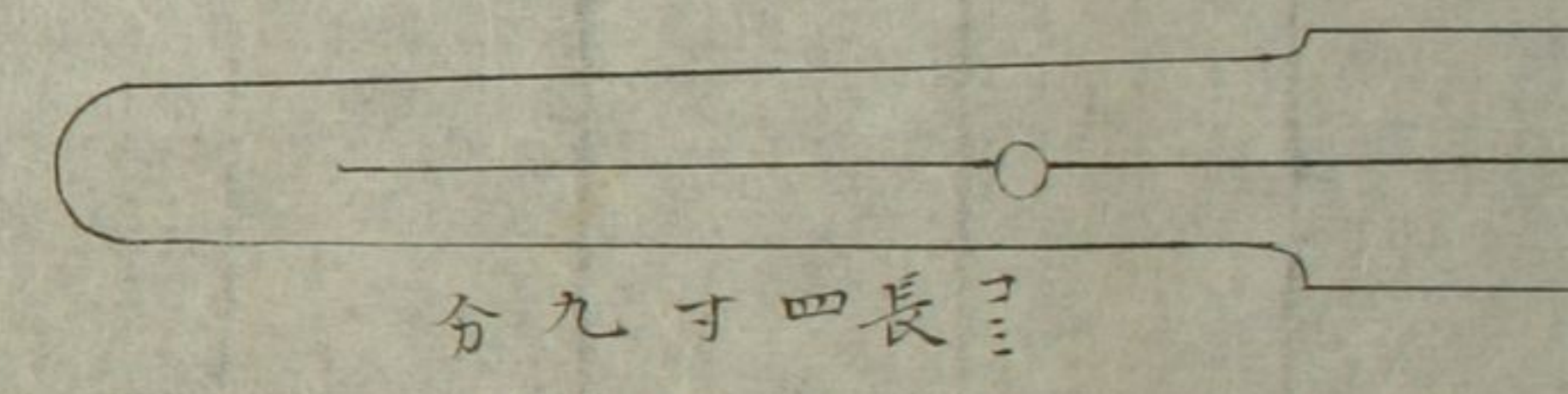
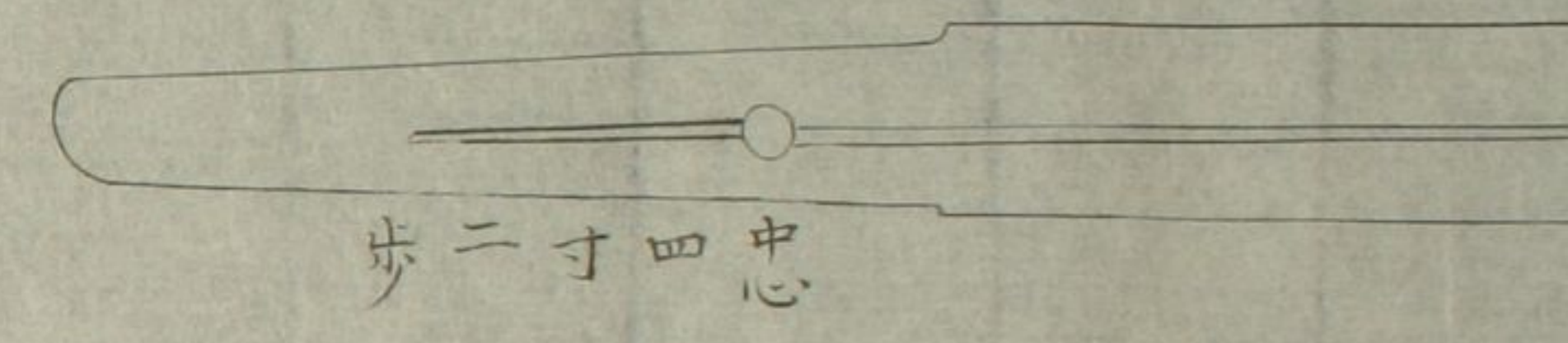
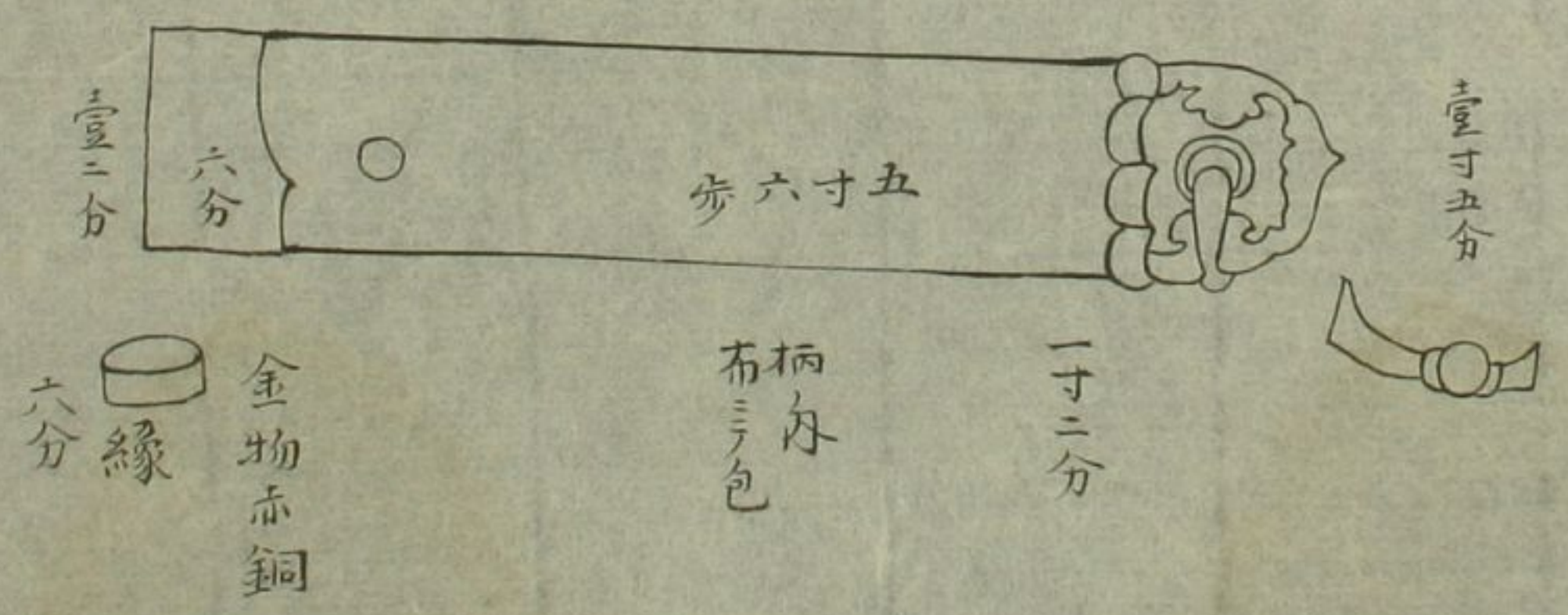
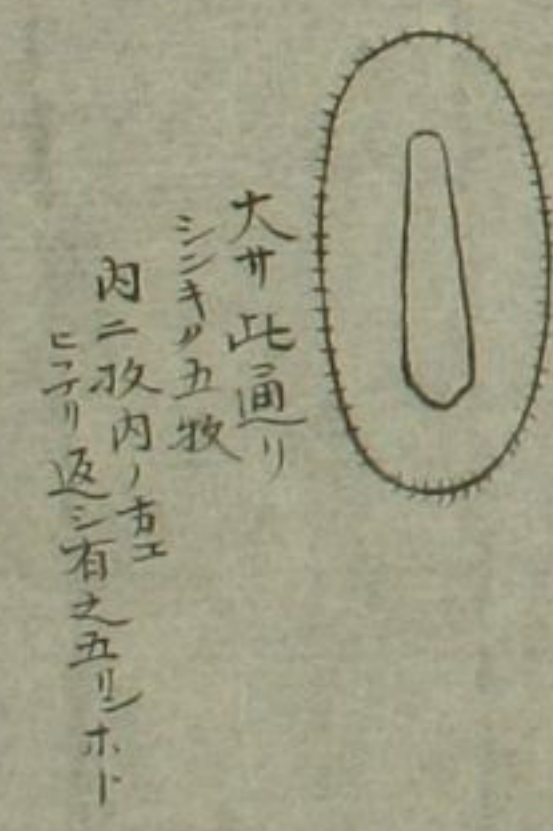
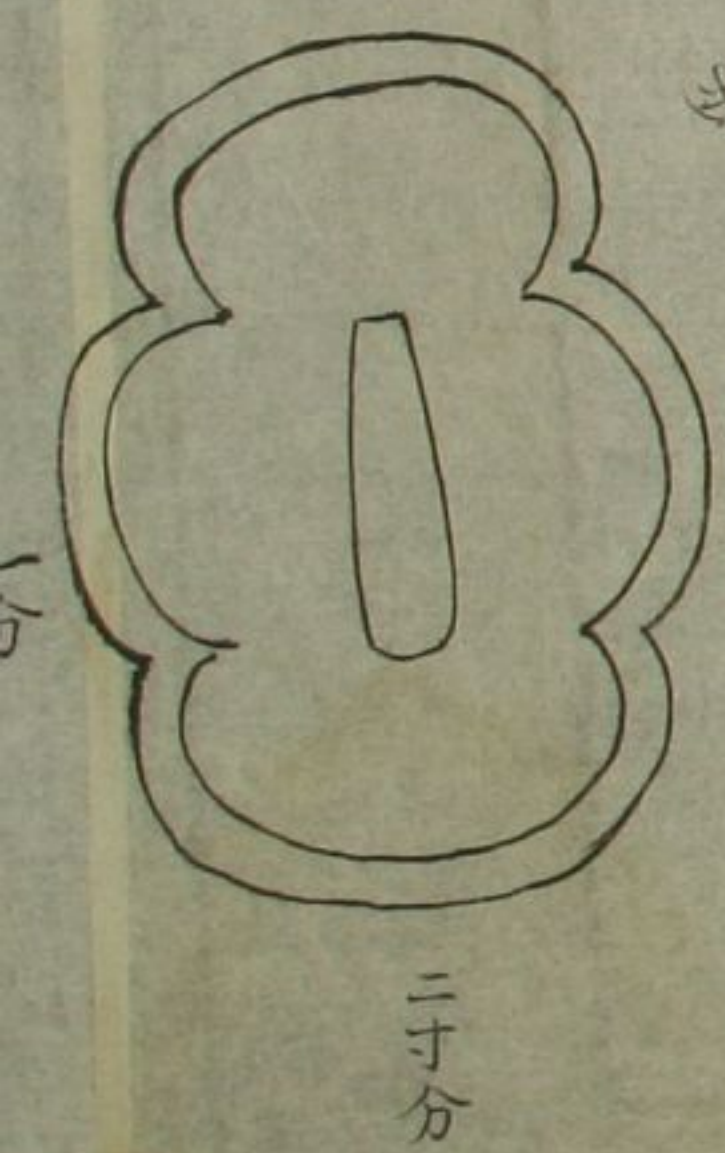
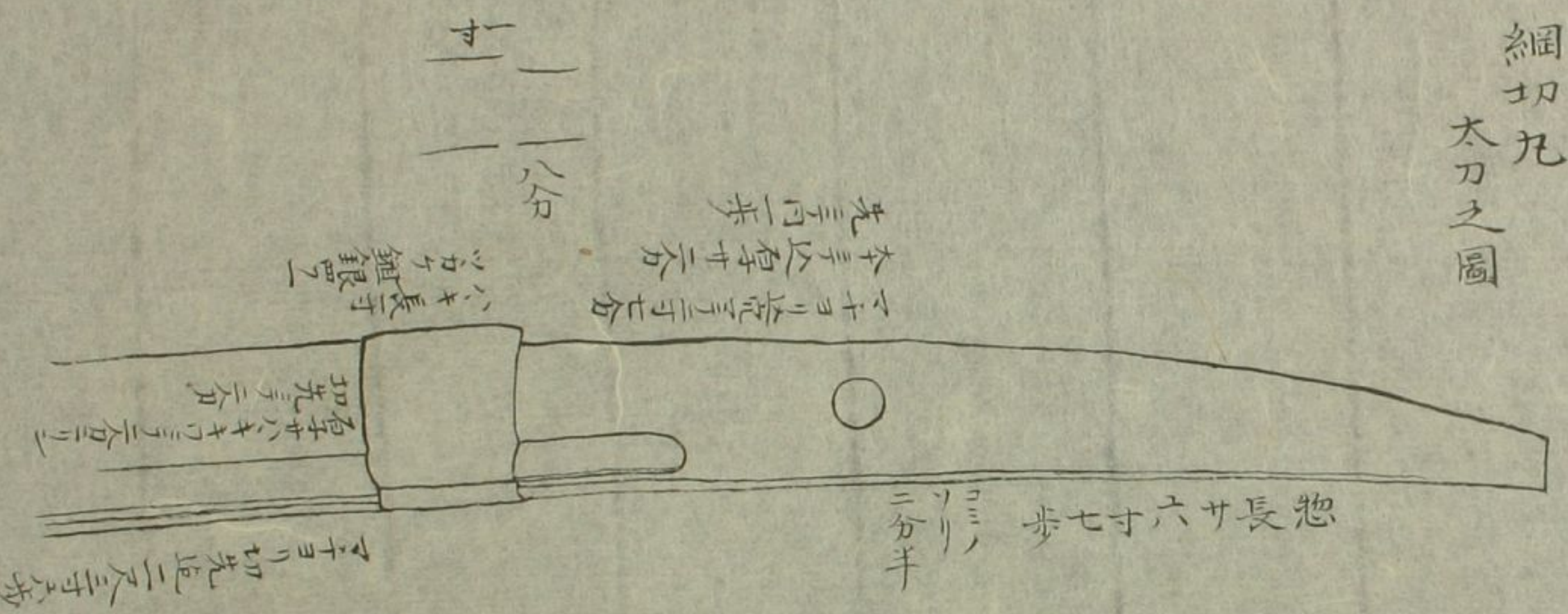
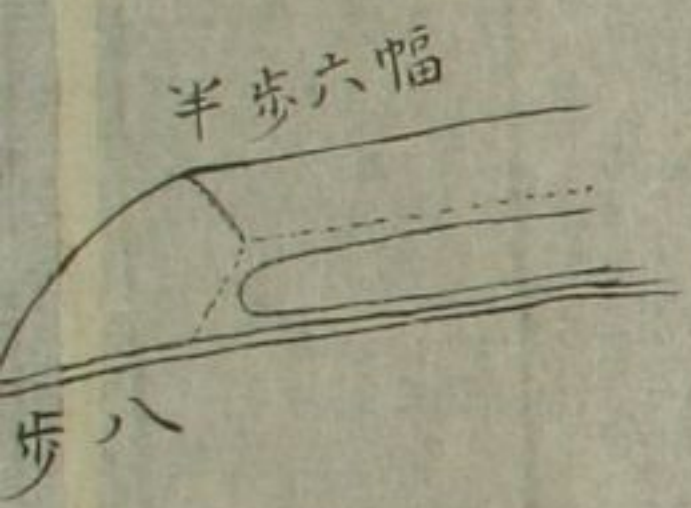
分九寸四長

步四寸八尺壹長



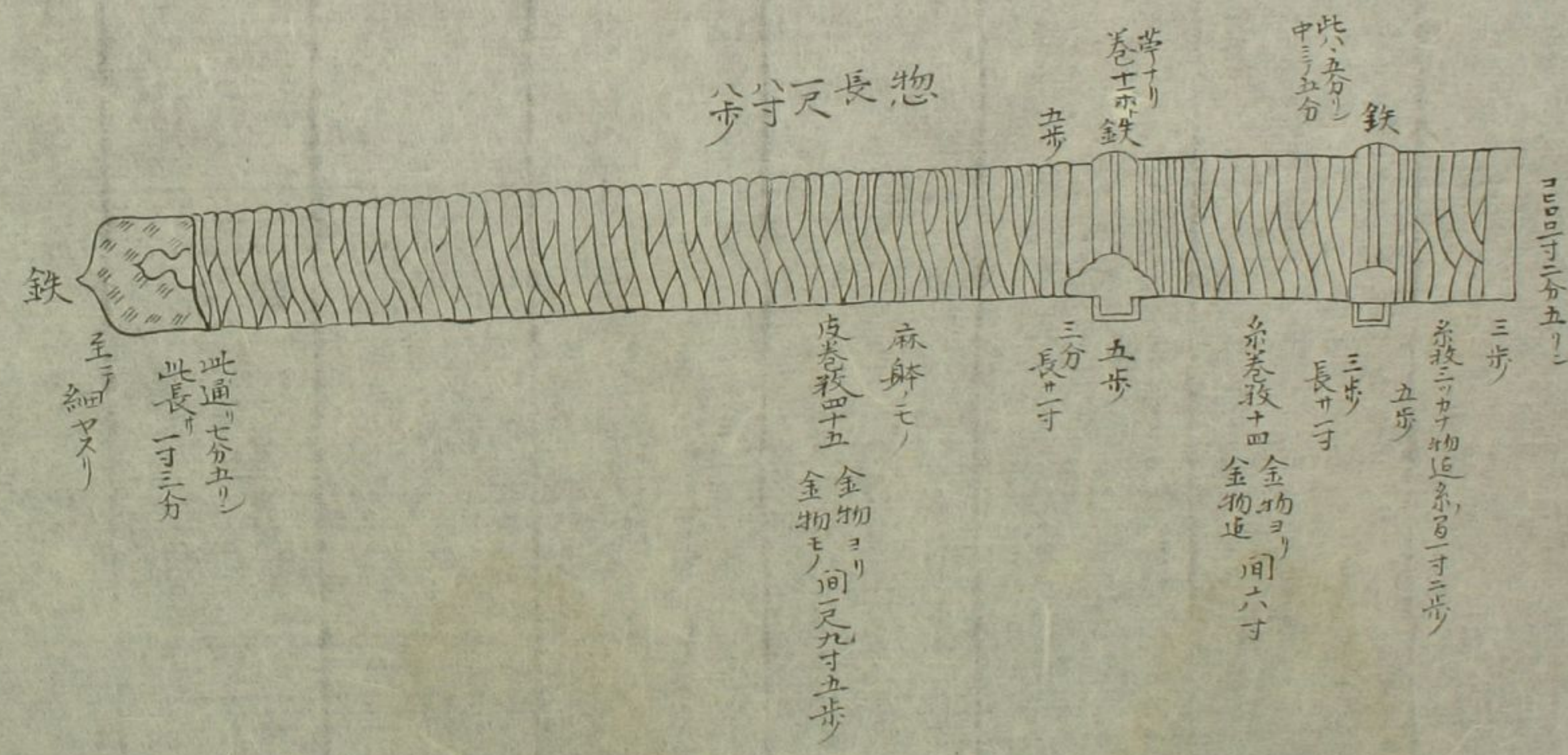
コ
三ノ長
二寸九步

步寸九長穩





厚サ三歩
皮十枚ハリ
上赤銅ニシム



相州鎌倉鶴岡八幡宮之神宝兵庫鎖之太刀

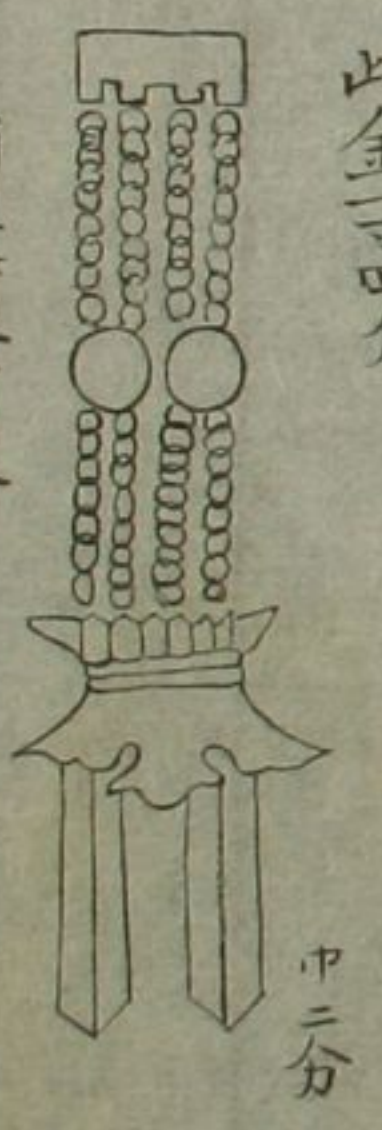
太刀之身長廿貳尺七寸
又棟ノ幅九歩
柄長廿六寸五分
鞘長廿二尺七寸八歩

ウテヌキ鎖長サ一寸四分
四筋ノ座ニ分出ル
露長サ八分ハク用ニテ
指渡ニ分動様ニツク

柄長廿六寸五分
幅一寸二分

目貫サレ渡七分銀也

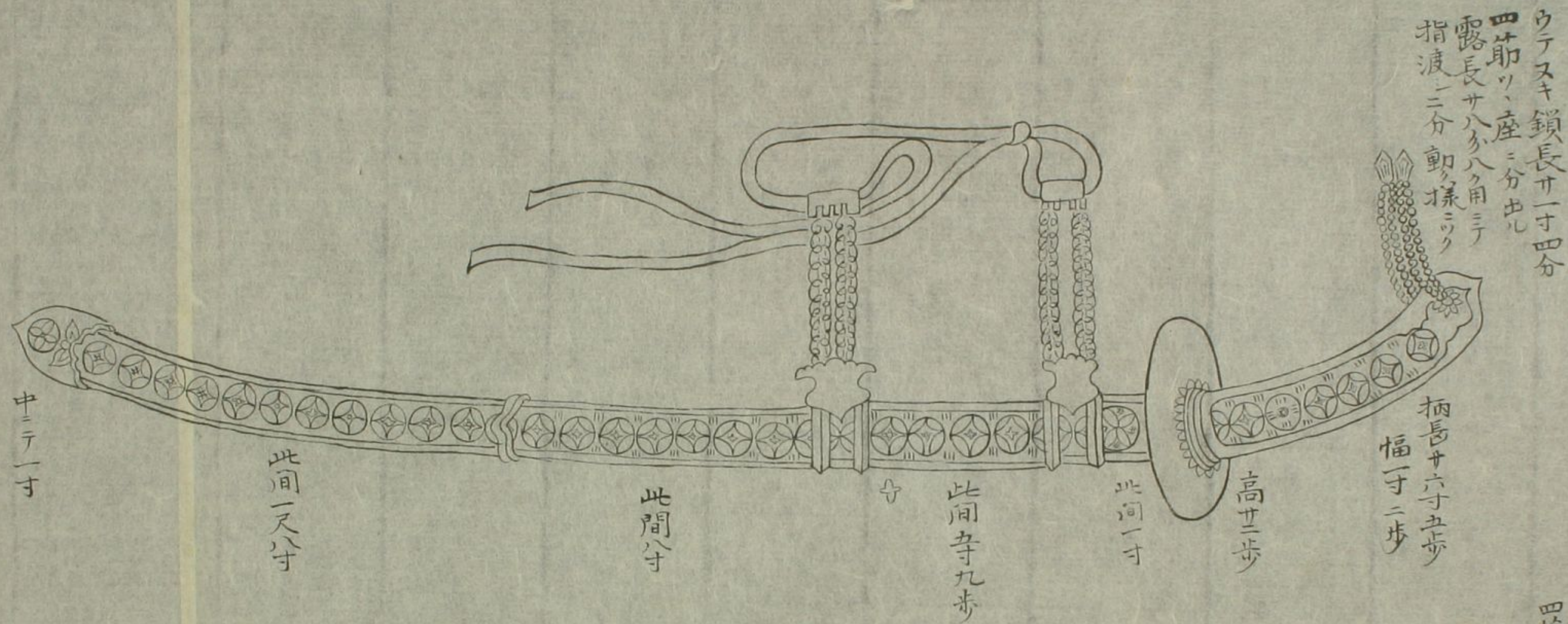
帶一取
此金一寸四分



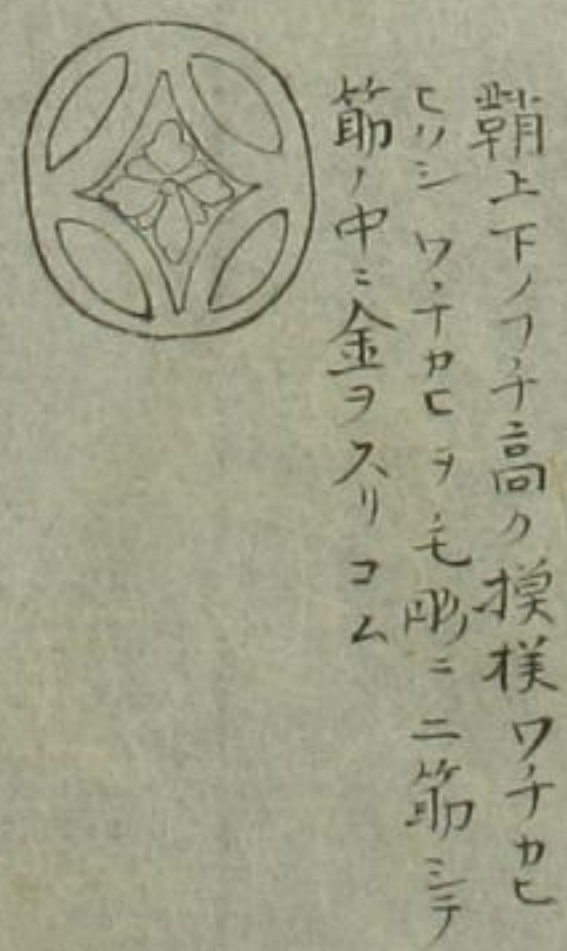
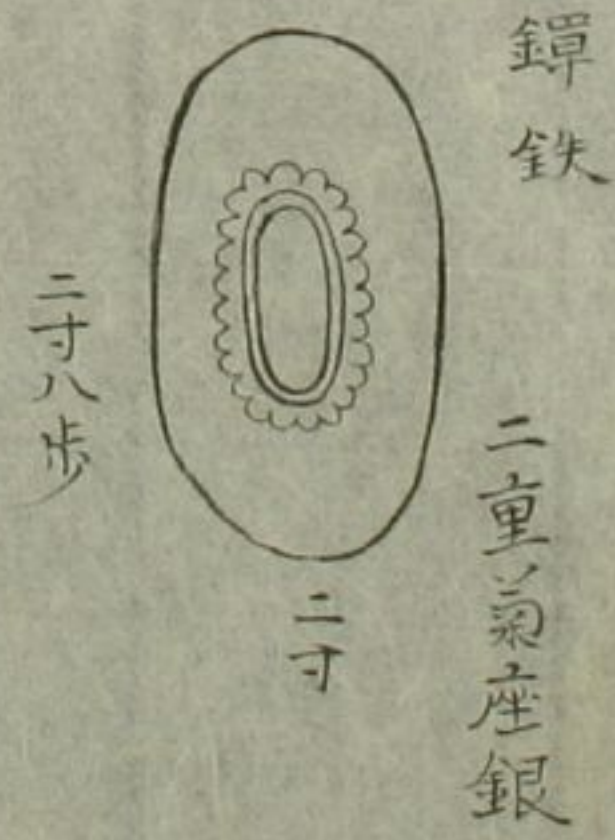
此金物鉄ニテサシ
金ノ摺込アリ

相州鎌倉鶴岡八幡宮之神宝兵庫鎖之太刀

太刀之身長廿貳尺七寸
 又棟ノ幅九步
 柄長廿六寸五分
 鞘長廿二尺七寸八步



帶一取
 此金一寸四分



柄鞘ニ地銀模様如圖金モノ並
 鎖氏ニ銀也

土屋弁幾所持之圖寫

採桑老舞曲所用

古下鞆圖

此圖摹本二様アリ一本云八幡宮宝藏所傳ニ
 永正三丑年月日摹スル所云
 貞幹所傳写
 一本元廿史廿倍

源備皮所摹

採桑老舞曲所用

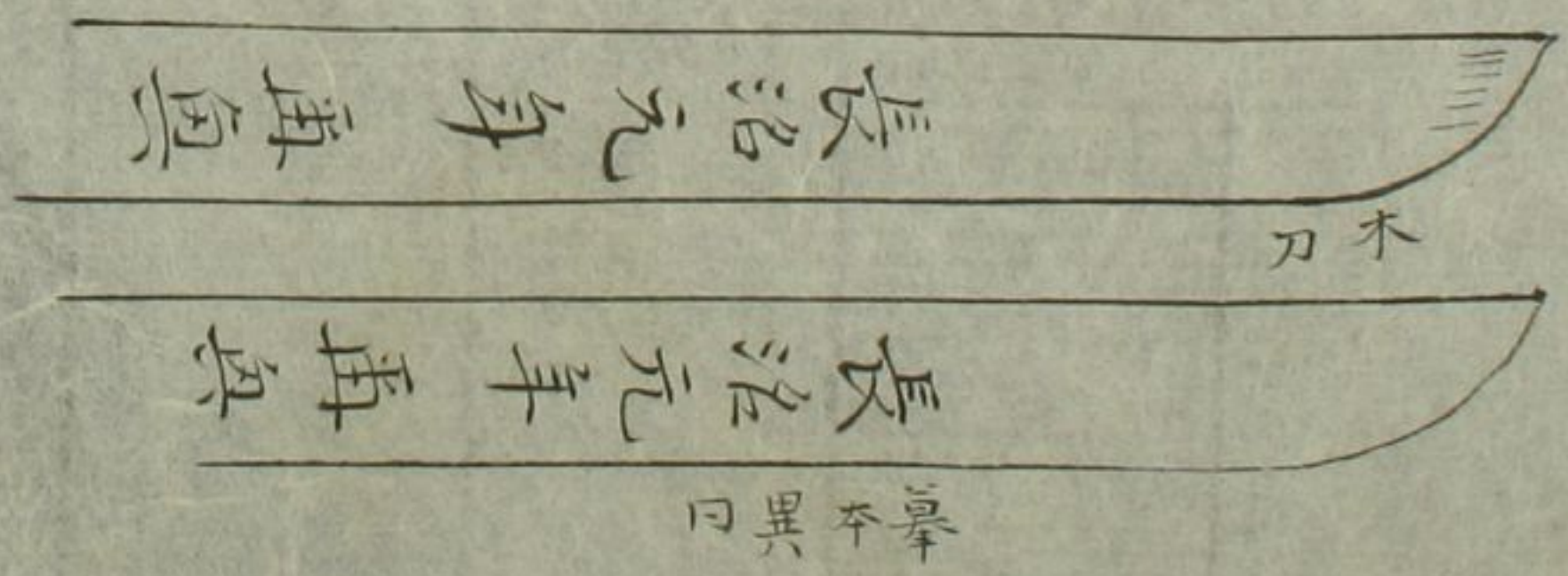
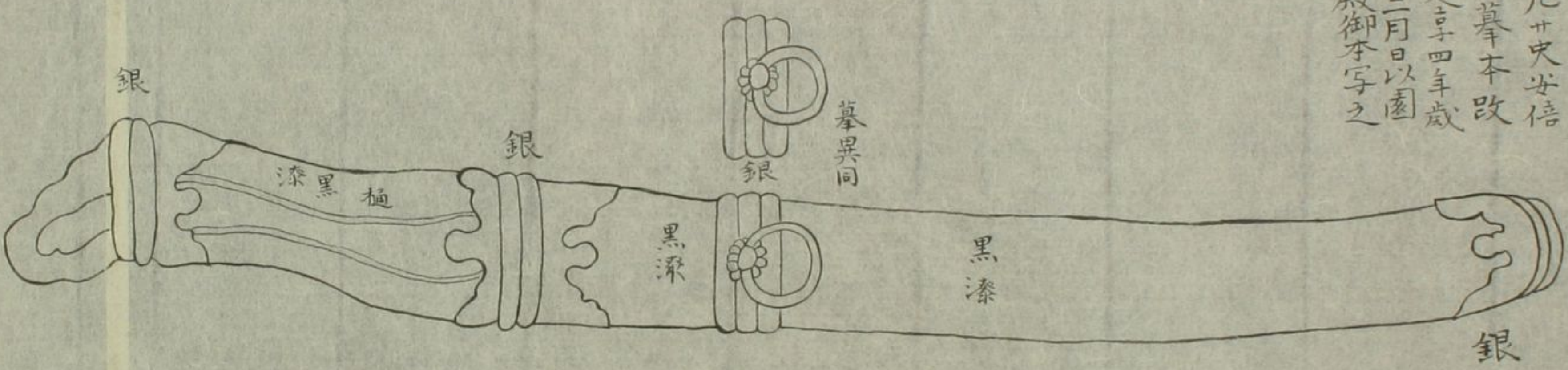
古下鞠圖

此圖摹本二樣アリ一本云八幡宮宝藏所傳
 永正三丑年月日摹スル所云
 貞幹所傳写
 一本元廿史女倍
 盛孝摹本改
 尾云延享四年歲
 次丁卯二月日以園
 城寺殿御本字之



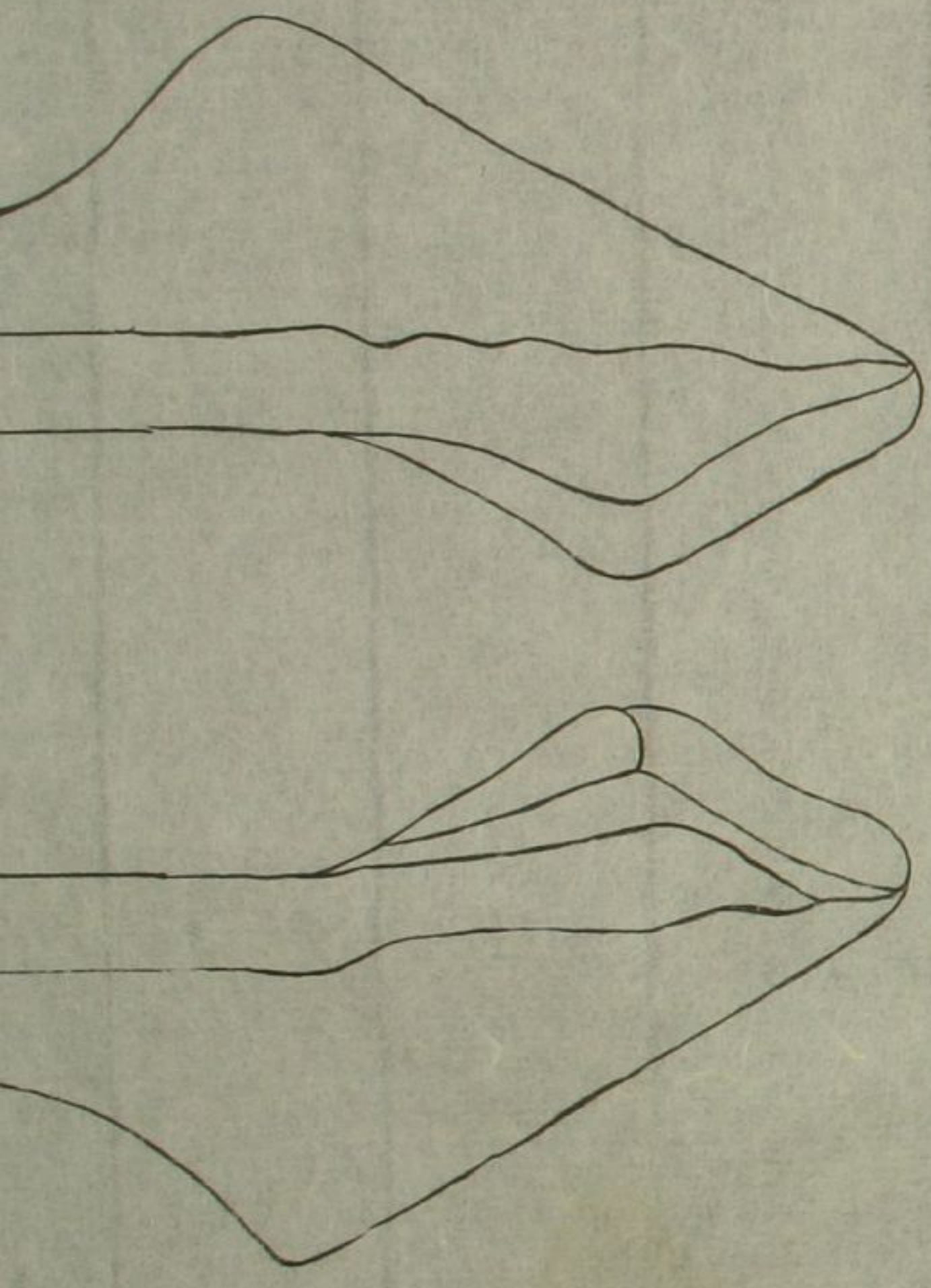
中一丁一寸

土屋弁幾所持之圖寫



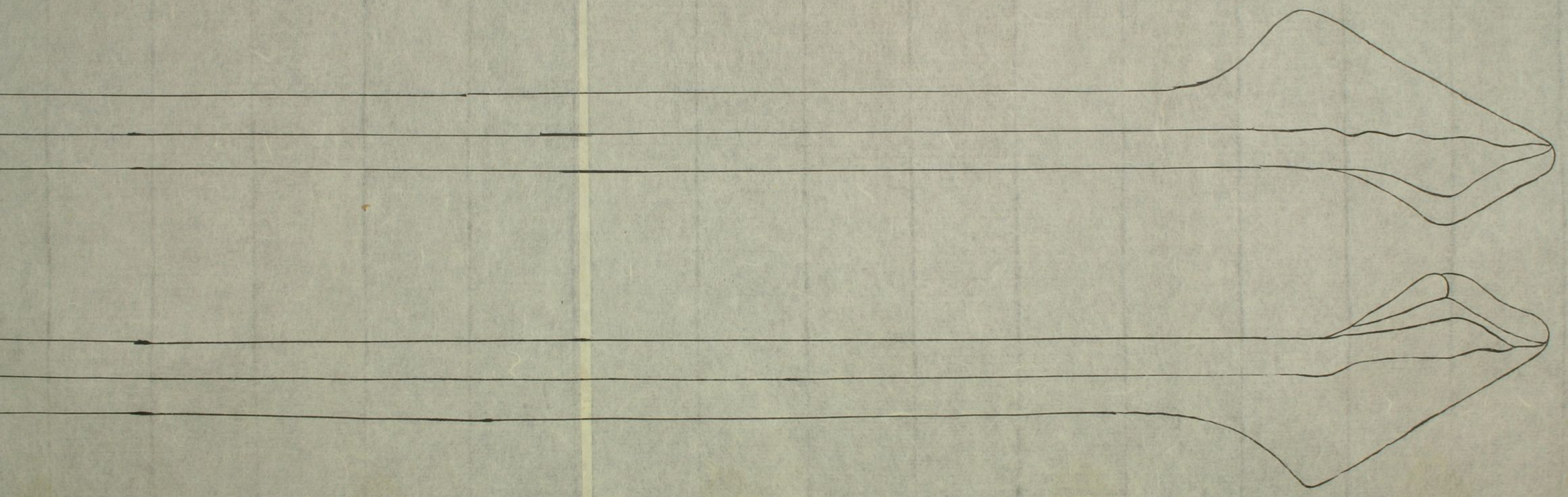
英彦山神宝

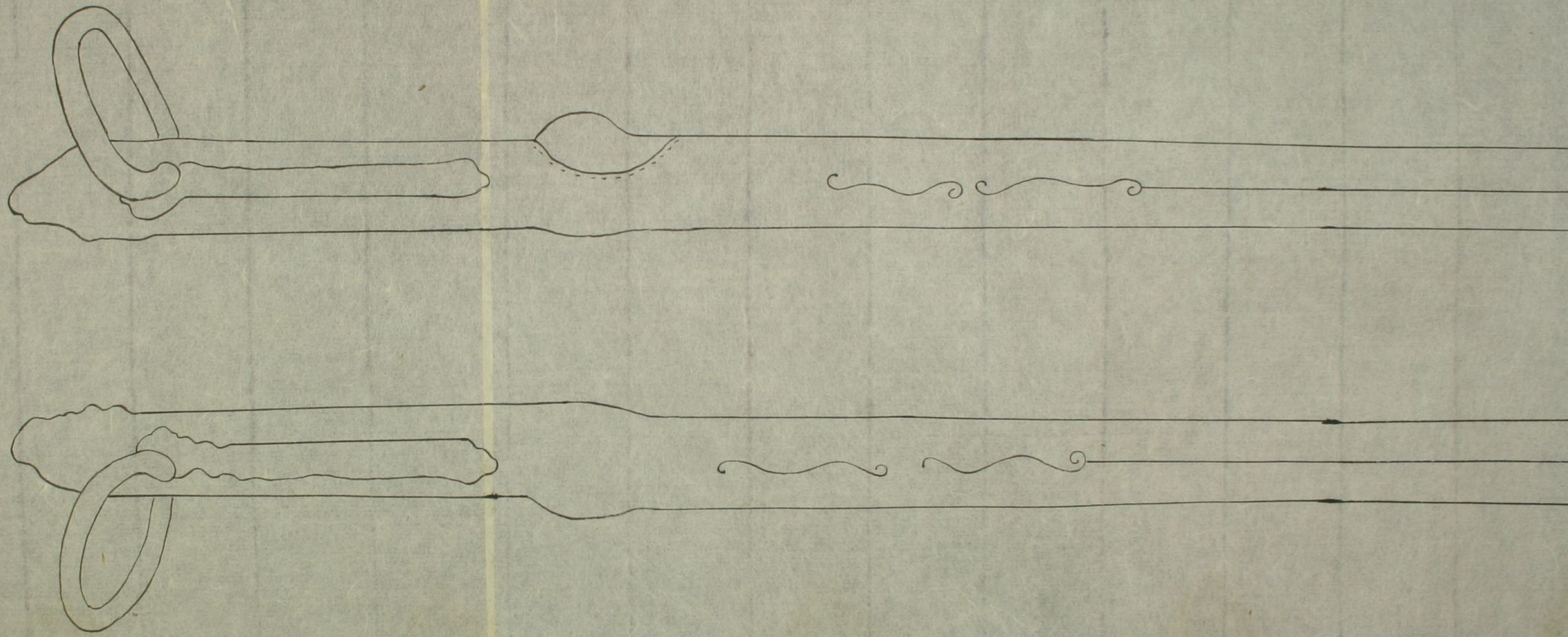
是所得於土中古劍之



英彦山神宝

是所得於中古劍之





右古劔圖請永高田應邦而模寫之

右宝劔圖者安永八亥正月田村郎藏ヨリ求寫之

右瓦求白丹氏所藏之器而模寫者也

右古劔圖請求高田應邦而模寫之

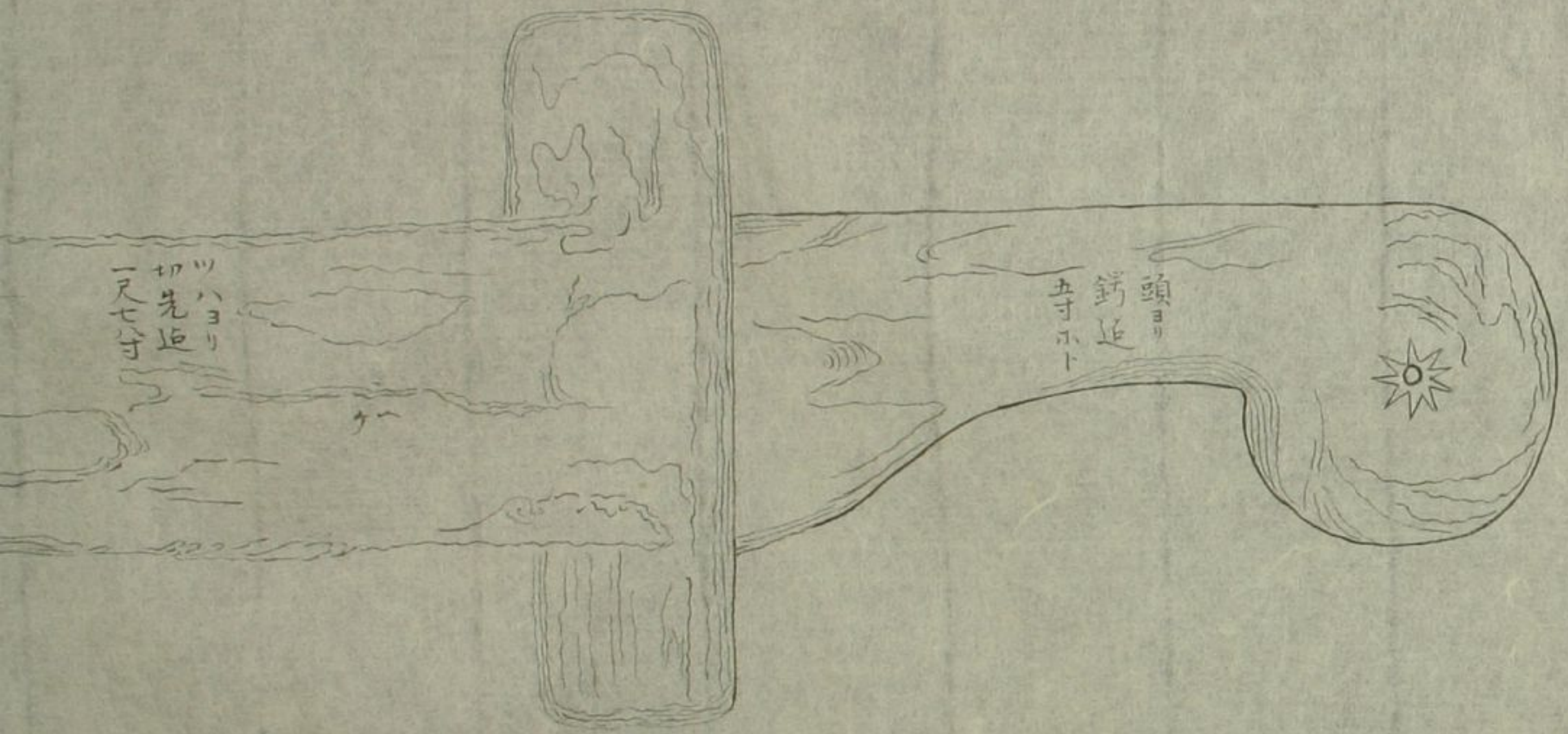
右宝劔圖者安永八女正月田村節藏ヨリ求寫之

右凡求白丹氏所藏之畫而模寫者也

干時 天明三年癸卯七月

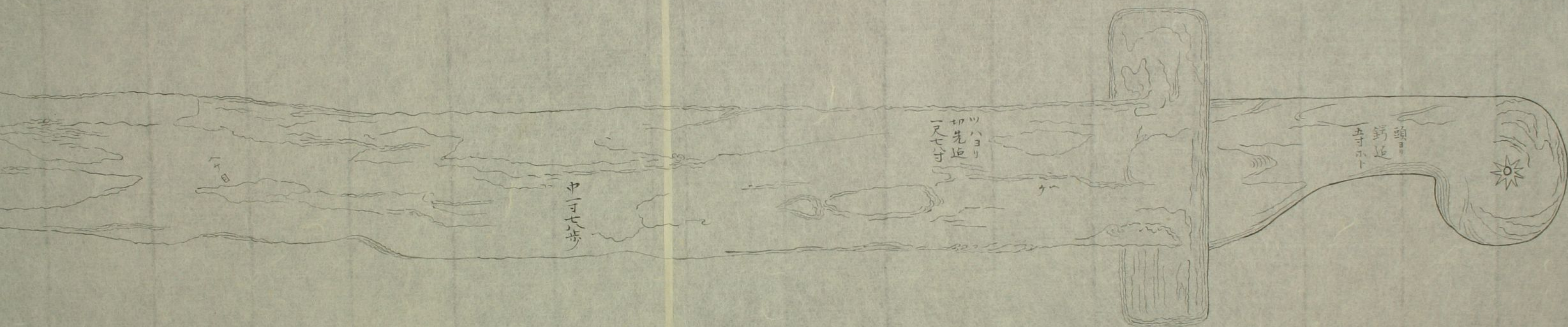
源勝賢謹誌

上州三浦と云々是邑と云ふ所は昔より名室ありしと明和の比細小長久
とく丸むらた城ありし海邊の地層より細小長久と云ふ所より
長二尺三寸五分の中一尺七寸五分の間に
のこりなりと云ふ所は板く柄の
注をきりて
のこりなりと云ふ所は板く柄の
注をきりて
のこりなりと云ふ所は板く柄の
注をきりて



頭ヨリ
銚延
五寸ホト

ツハヨリ
切先延
一尺七寸



カマヤ

ツハヨリ
切先
一尺七寸

頭長
五寸





此圖伊下氏惠之是大古所謂
頭槌劔者是乎

大明四年甲辰二月四日

伊勢平藏貞丈

同年五月

大久保忠寄寫

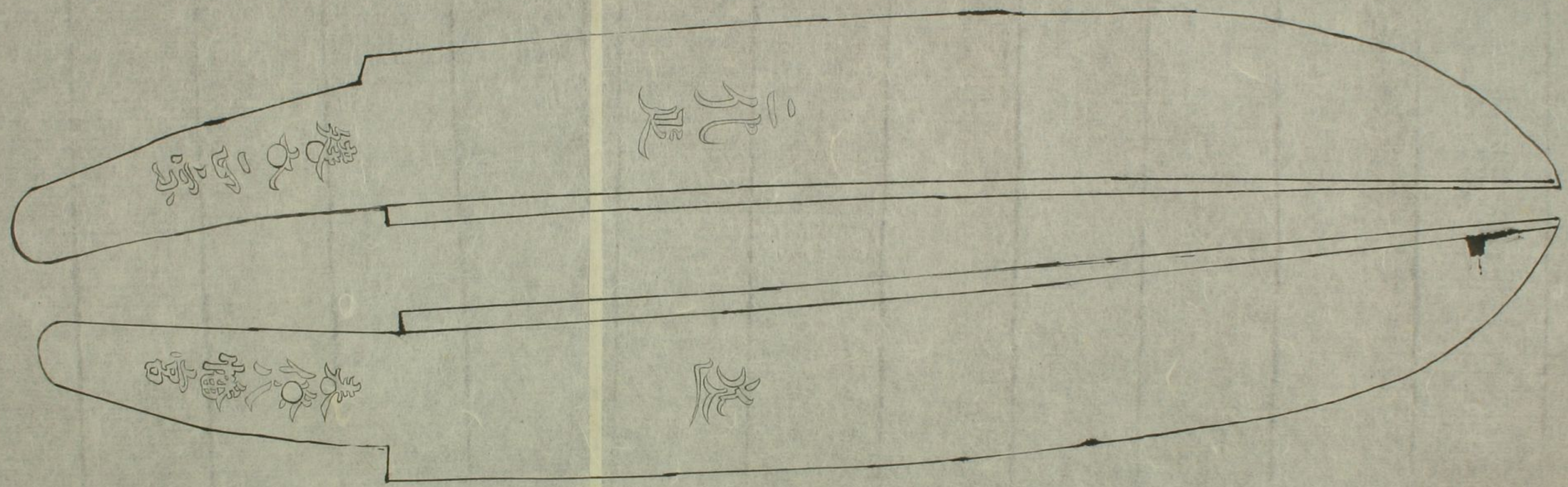
豊前國宇佐八幡宮奉納

建武正宗

宇佐大宮司正四位下公古ヨリ寫来

豊前國宇佐八幡宮奉納
建武正宗

宇佐大宮司正四位下公古司寫来

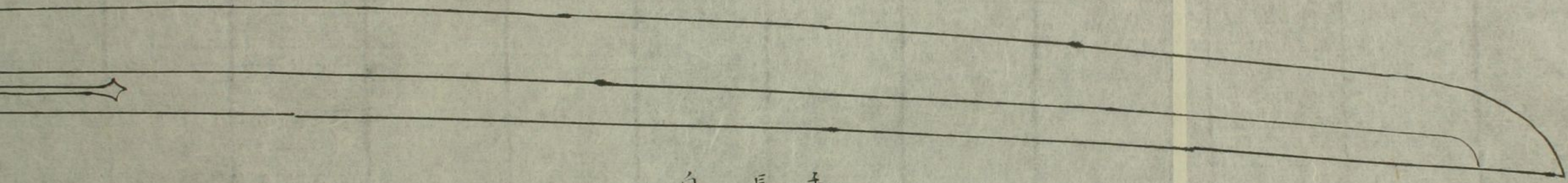


信州三井上信濃守所用之手鉾之圖

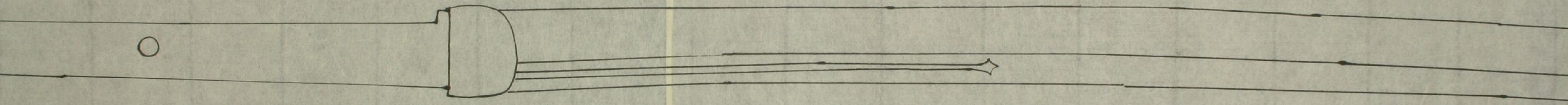
此鉾後流云鞘卷欵武門軍鎧抄卷四步頭要勤上之條加番八半寸一付

信州ニテ井上信濃守所用之手鋒之圖

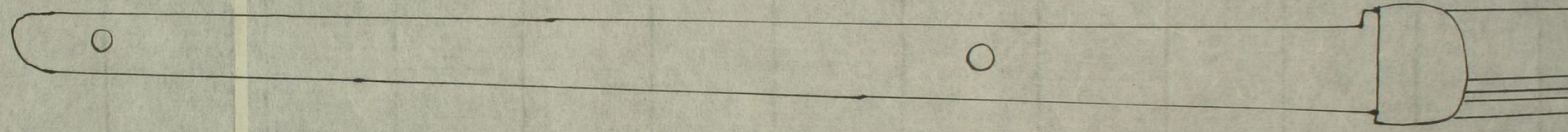
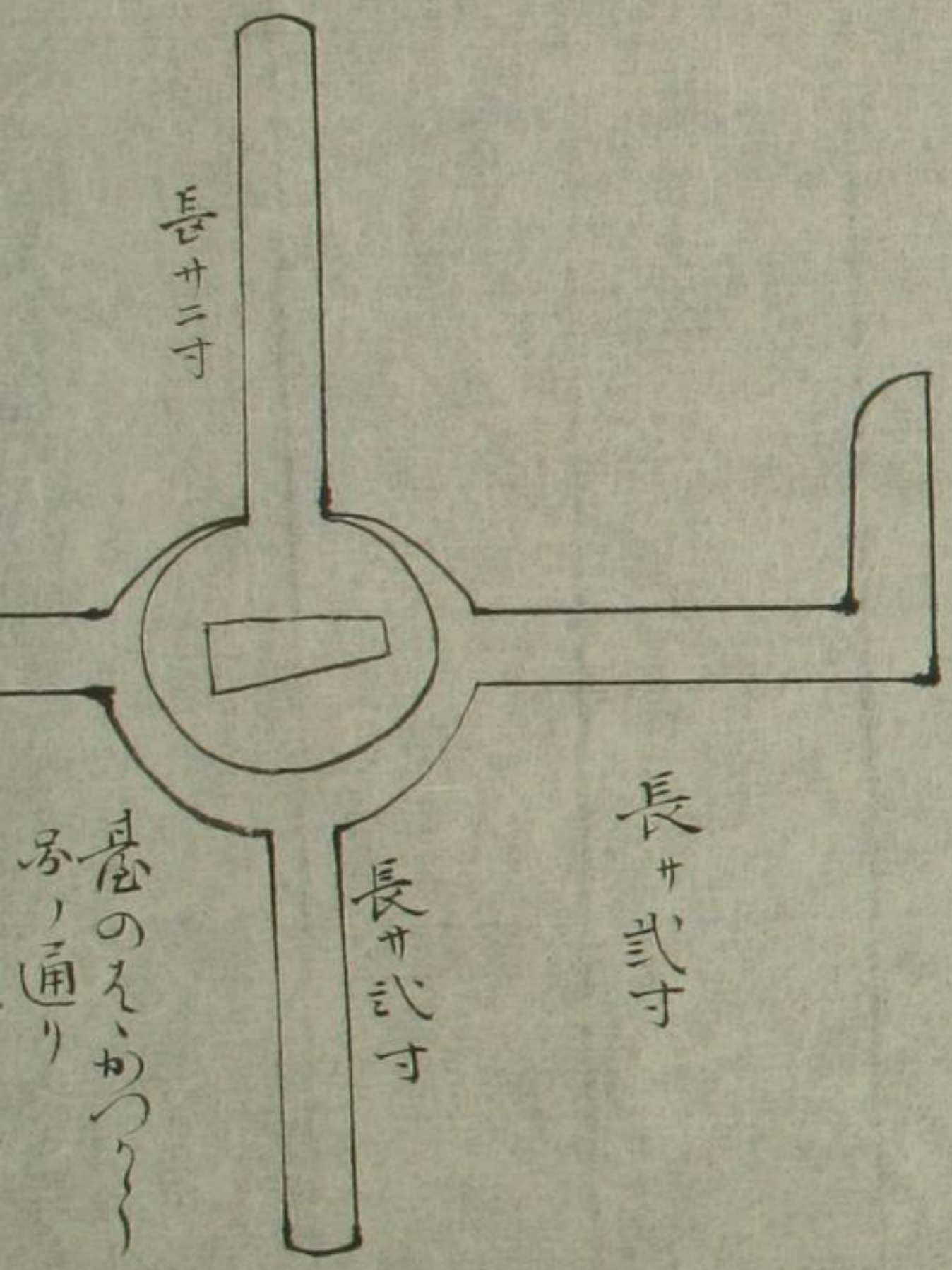
此誠後流云鞘卷欽武門軍鑑抄卷四步頭要勤ト云條扣番ハ半コト付
鞘卷ヤカシク交テ御座批ヤカセトナリ
師說鞘卷柄五尺又ハ雜刀ノヤナルモノト云ニ一説又長五尺柄モ五尺柄ハ真田系
ニテ卷ト云母又五尺柄モ五尺ニテハツリテ思クツカニクカルヘキモノナリ柄五尺
又ハ雜刀ノ如ナルモノト云論ヨロニキ刀其圖ニハアラヤルナリ



手鋒總先ヨリ石突マテ
長壹丈
身長壹尺六寸



手鋒總先ヨリ石突マテ
長壹丈
身長壹尺六寸



大森彦七奉納太刀

同奉十月朔日寫

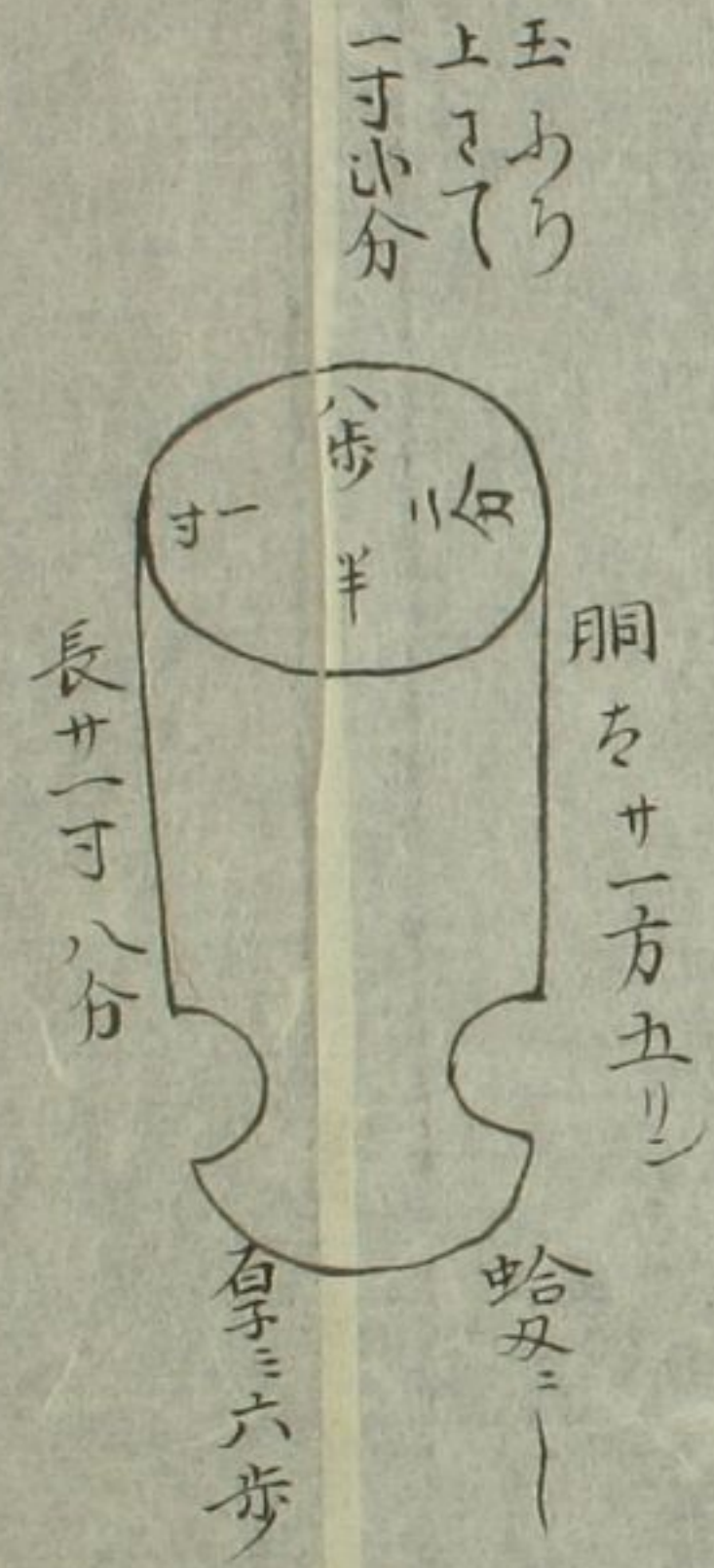
寛政七九月廿五日

忠寄

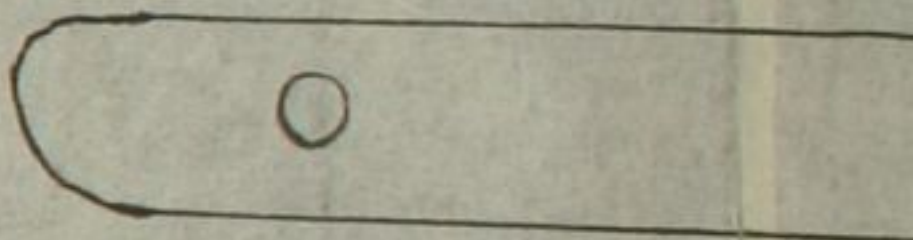
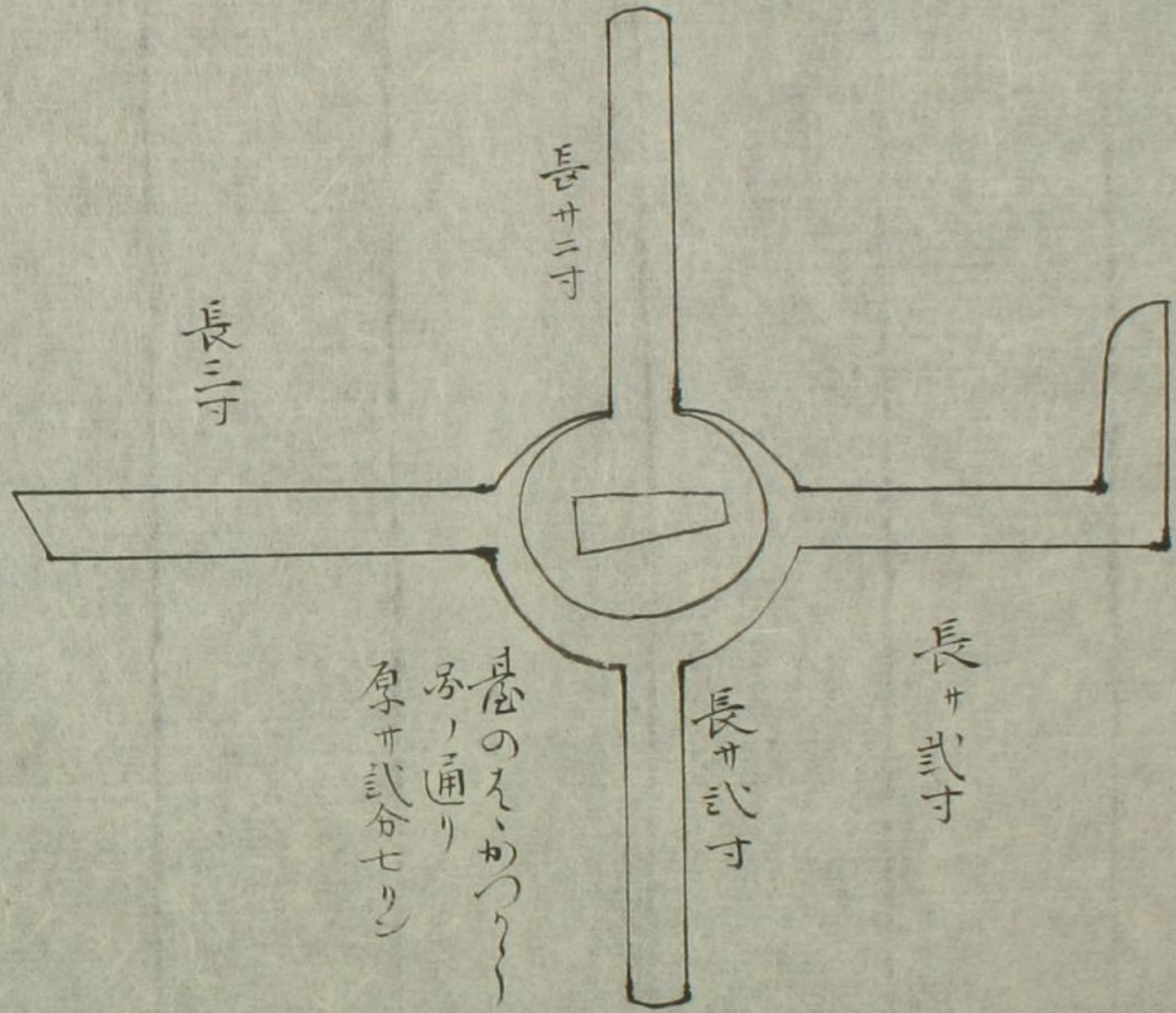
貞春

此所筆除

梅手鉾ト在ニ尺長刀ナルハニ一躰
古風ナル物也



惣鉢渡の太サ屋の
厚ミウ四角ミ



寛政七九月廿五日

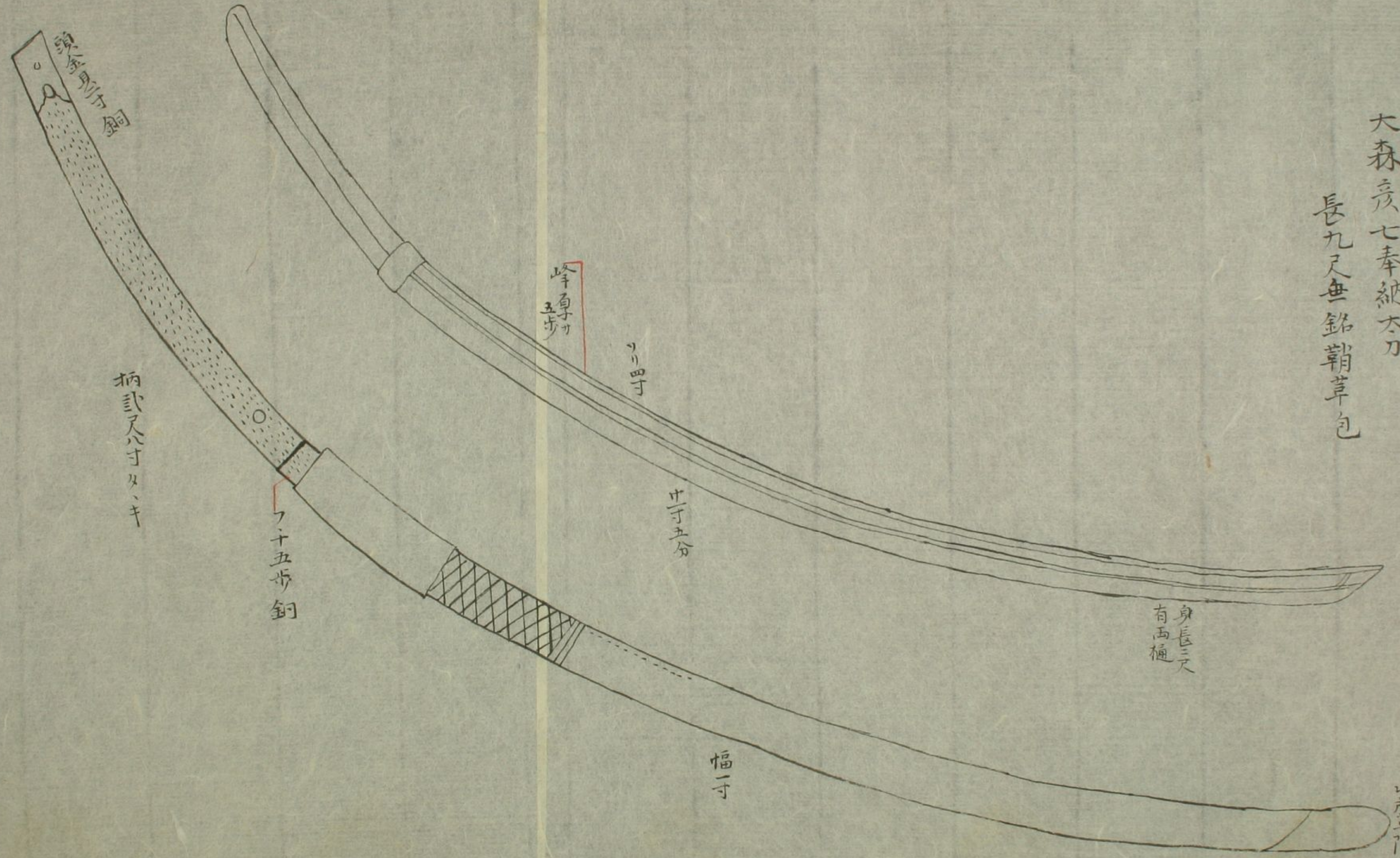
貞春

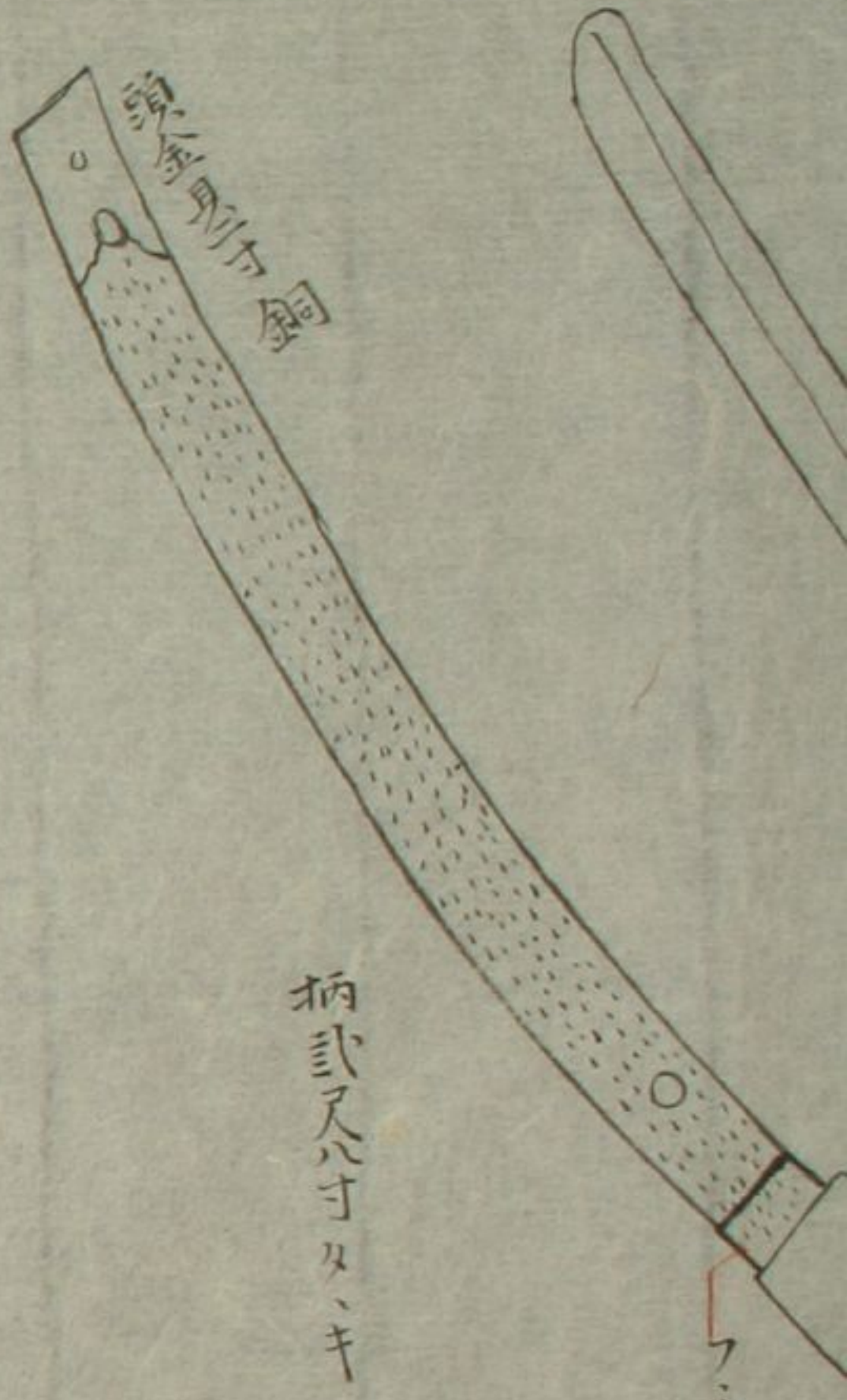
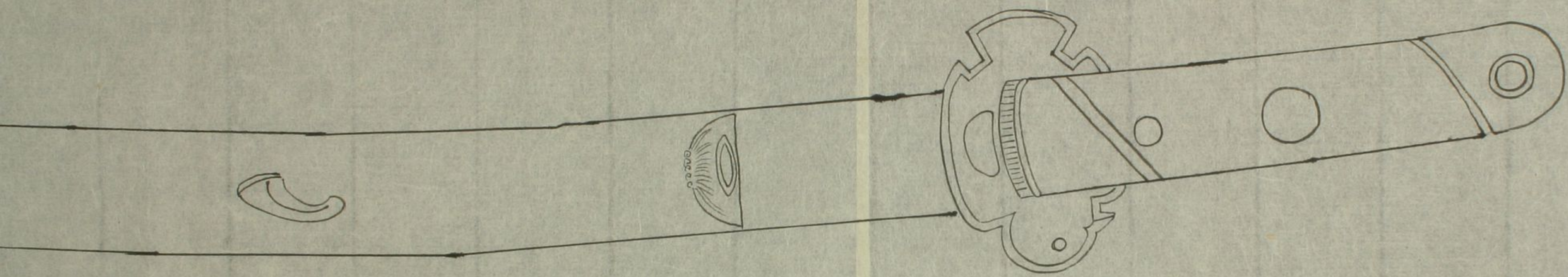
同年十月朔日寫

忠寄

大森彦七奉納太刀

長九尺無銘鞘草包

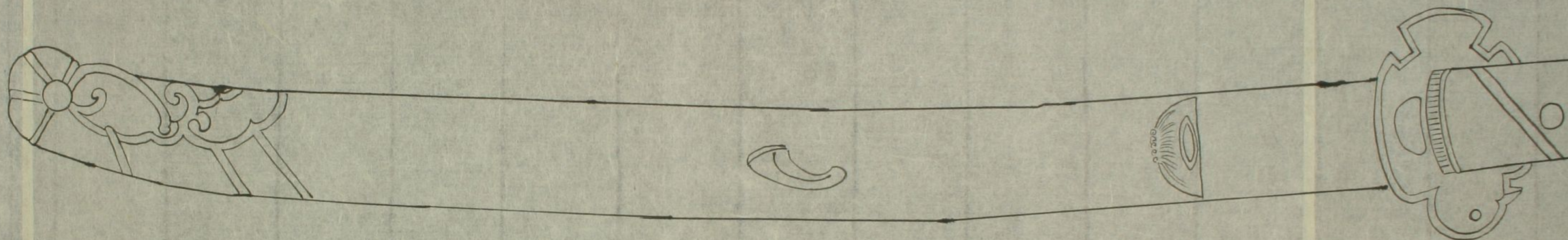




柄式八寸々キ

七十五歩釘

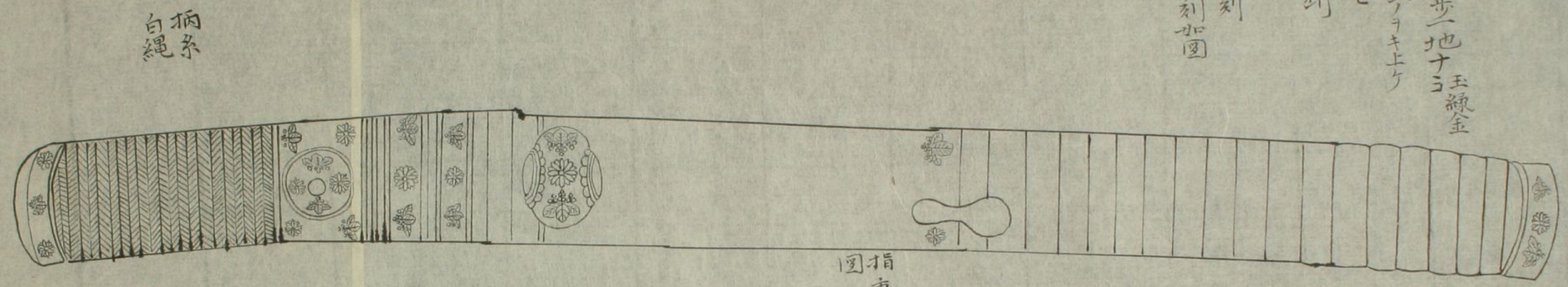
京都氏家所持之刀



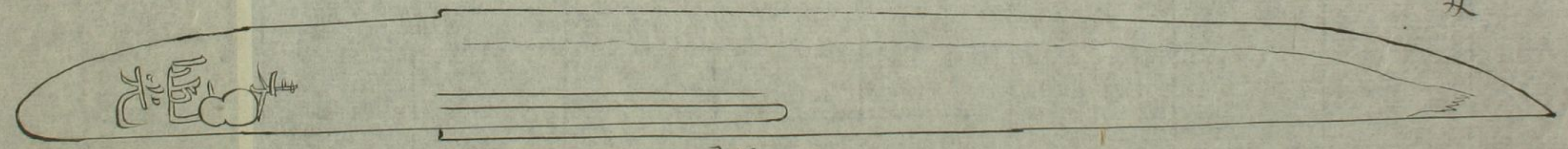
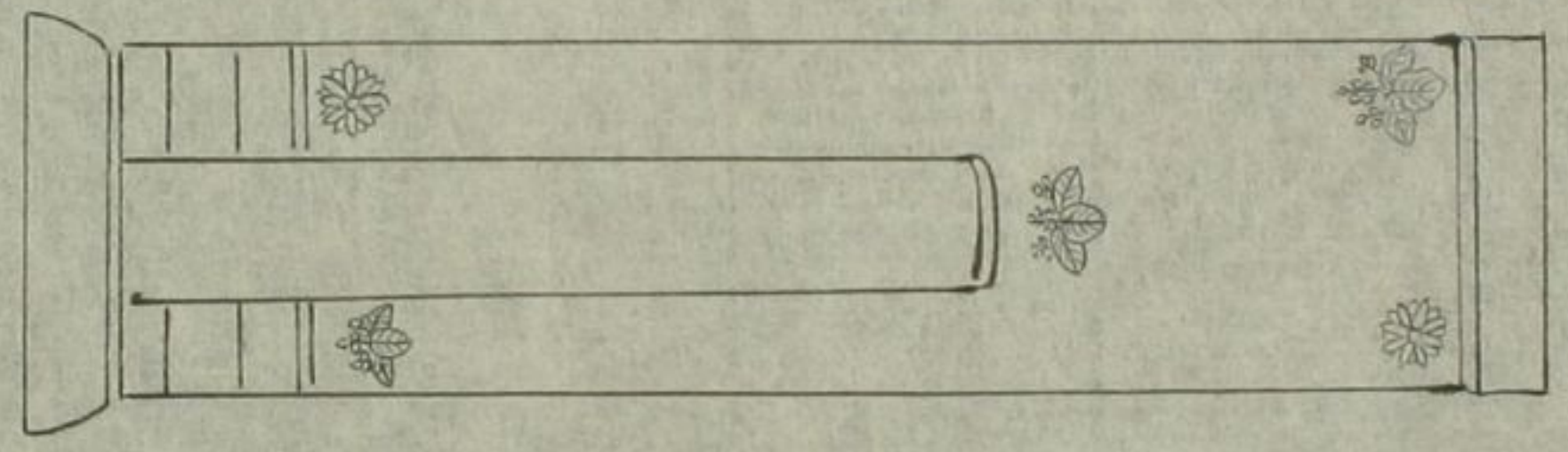
大廿四圖

京都氏家所持之刀

惣金物四歩一地十三
玉練金
紋高彫金ノキ上ケ
鍔金キセ
目貫同新
瑪目金
切羽同小刻
鞘黒漆刻如圖



大廿如圖



天明元辛丑七月十一日寫之

御劔

長大者以押形模之

目錄云御劔二口 可圖八一也



天明元辛丑七月十一日寫之

御劔

長大者以押形模之

目錄云御劔二口 可圓一也

金鳥頭鍔 金銀

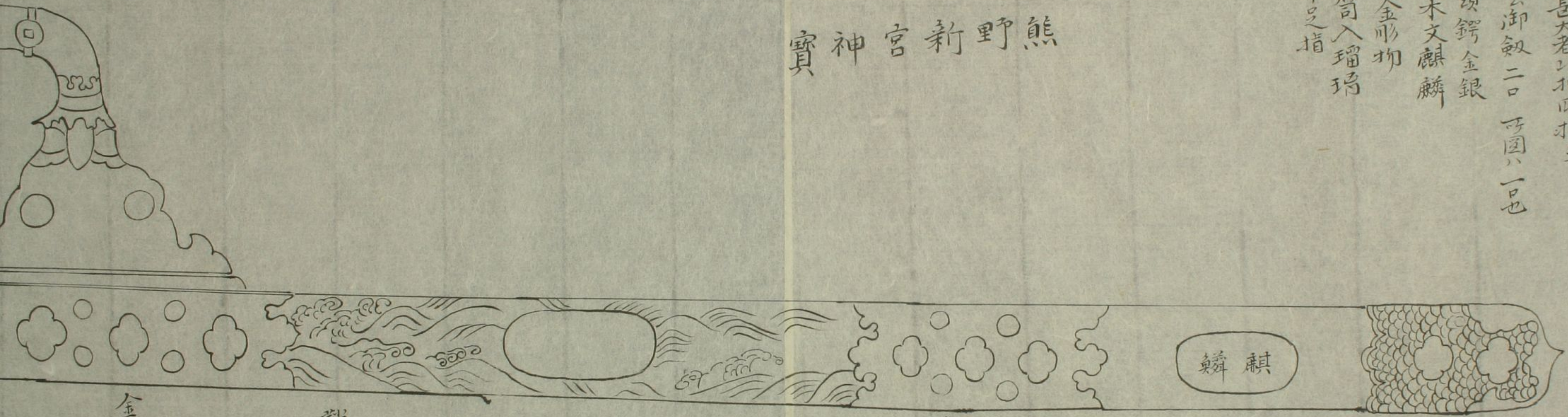
鉾銀木文麒麟

鳳凰金形物

銀玉筒入瑠璃

紫草足指

熊野新宮神寶



金水文同上

金泥文同上

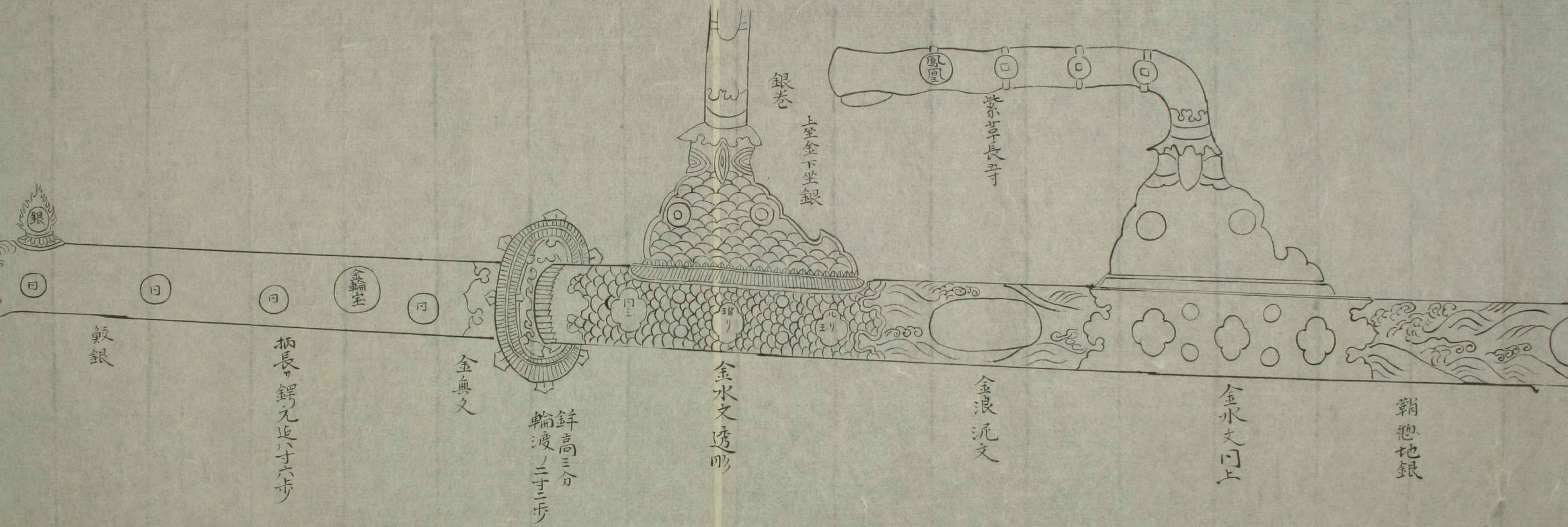
金水文同上

此乃平寸分五寸
角寸九步

金泥文同上

鞘惣地銀

金水文同上



銀卷

上坐金下坐銀

紫芥草長五寸

鳳凰

鞘惣地銀

金水文同上

金浪沉文

金水文透彫

鉞高三分
輪渡一吋二步

金真文

柄長一尺九寸六步

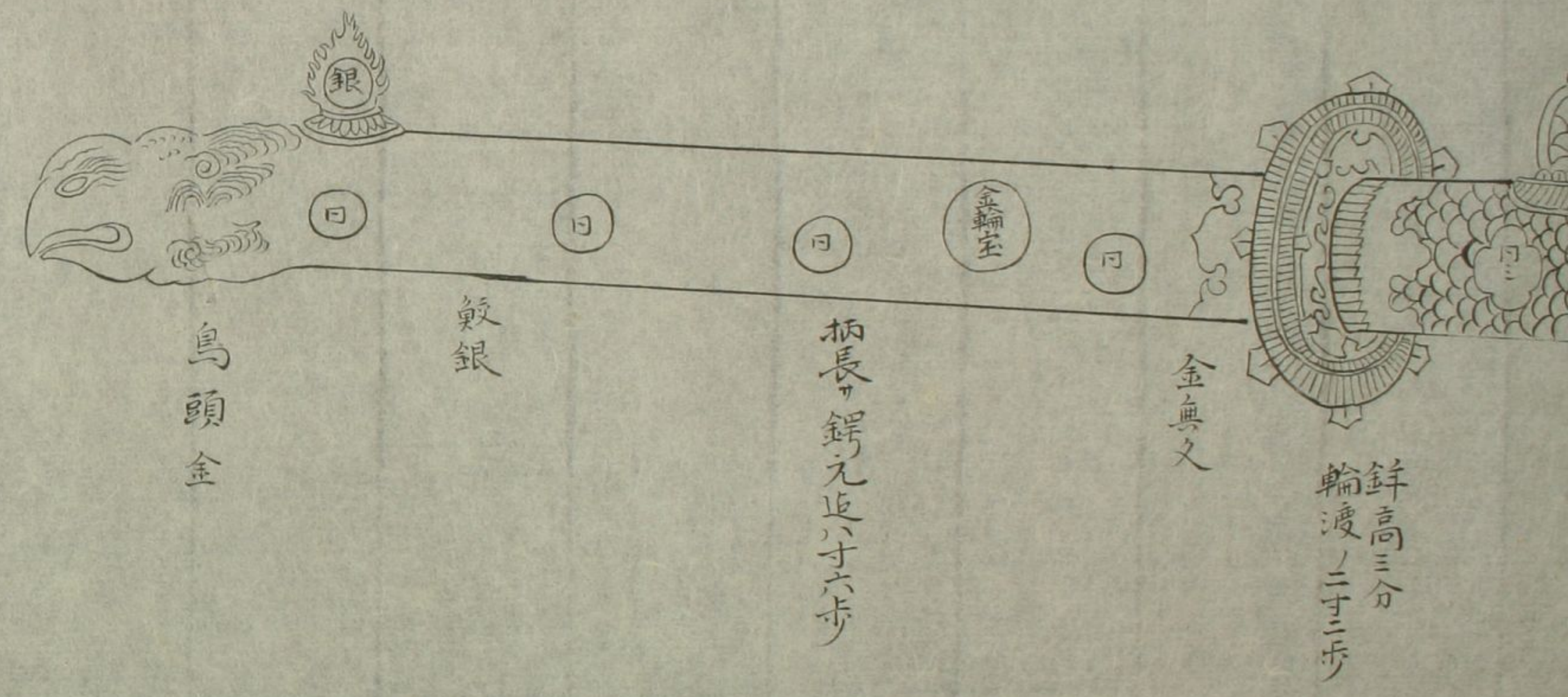
金輪室

銀

銀

河内國壺井八幡宮神宝源義家朝臣太刀正圖

宗近作之由宗之字斗見工



鳥頭金

銀

柄長 鍔元迄 寸六步

金無文

鉾高三分
輪渡 二寸三歩

鞘長 廿二尺九寸八歩
鯉口 迄惣 鮓皮 三寸
包手 色 及 宗 寸 合

小尻 及 宗
金物 上 三寸
寸 五 寸

惣長 五寸九歩

此長 廿六歩 少余

裏長 一丁 少余

河内國壹井八幡宮神室源義家朝臣太刀正圖

宗近作之由宗之字斗見工

鞘長廿二尺九寸八步
 輕口追惣鮓皮三寸
 色及宗テ合
 包子

小尻又宗
 金物上三寸
 寸五寸

惣長五寸九步

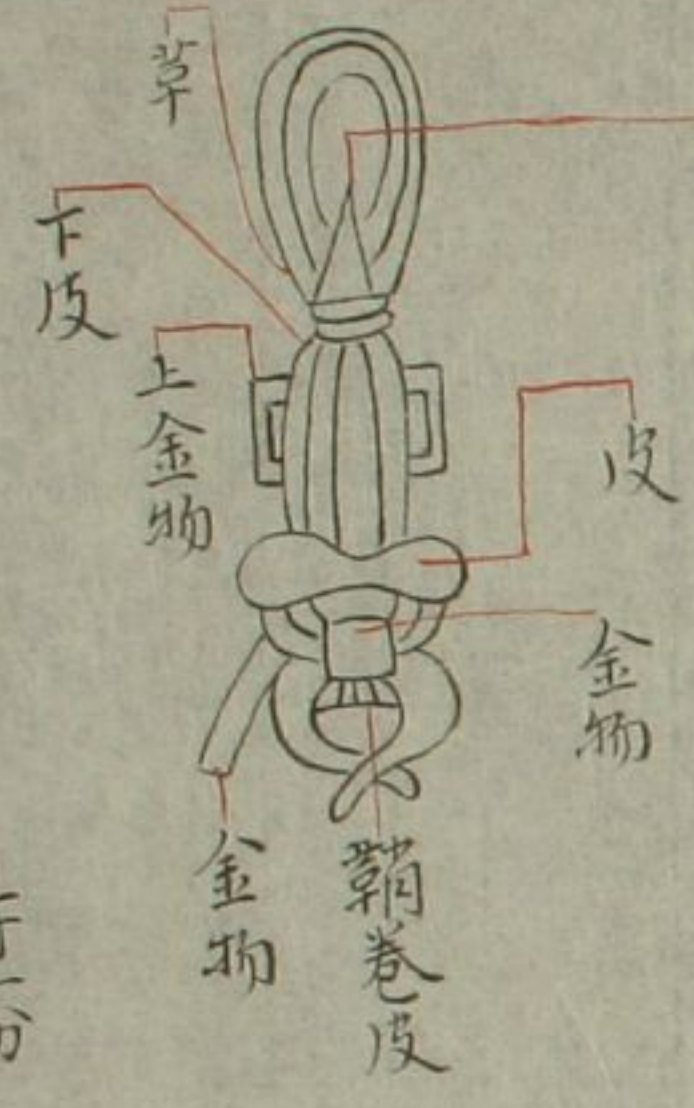
此長廿六步少余

裏表一寸少余



指裏之圖

此皮神也



皮
 金物

鞘卷皮
 金物

皮四寸
 寸少余

一寸一分

五分

鞘中マテ又宗一寸一步
 平五步

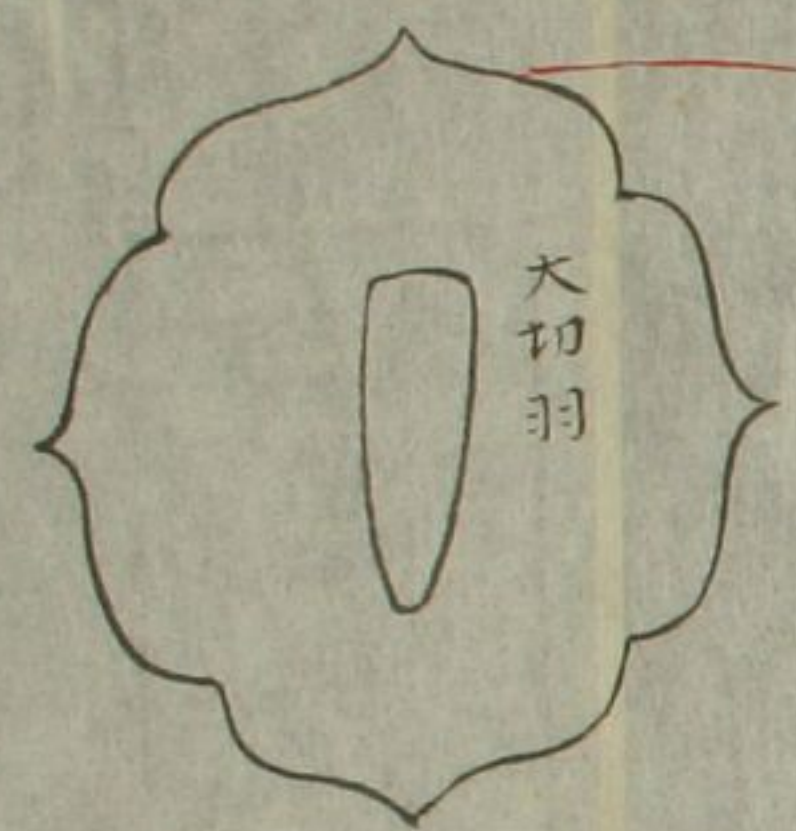
此間三寸二分

五分五寸

長一寸三分

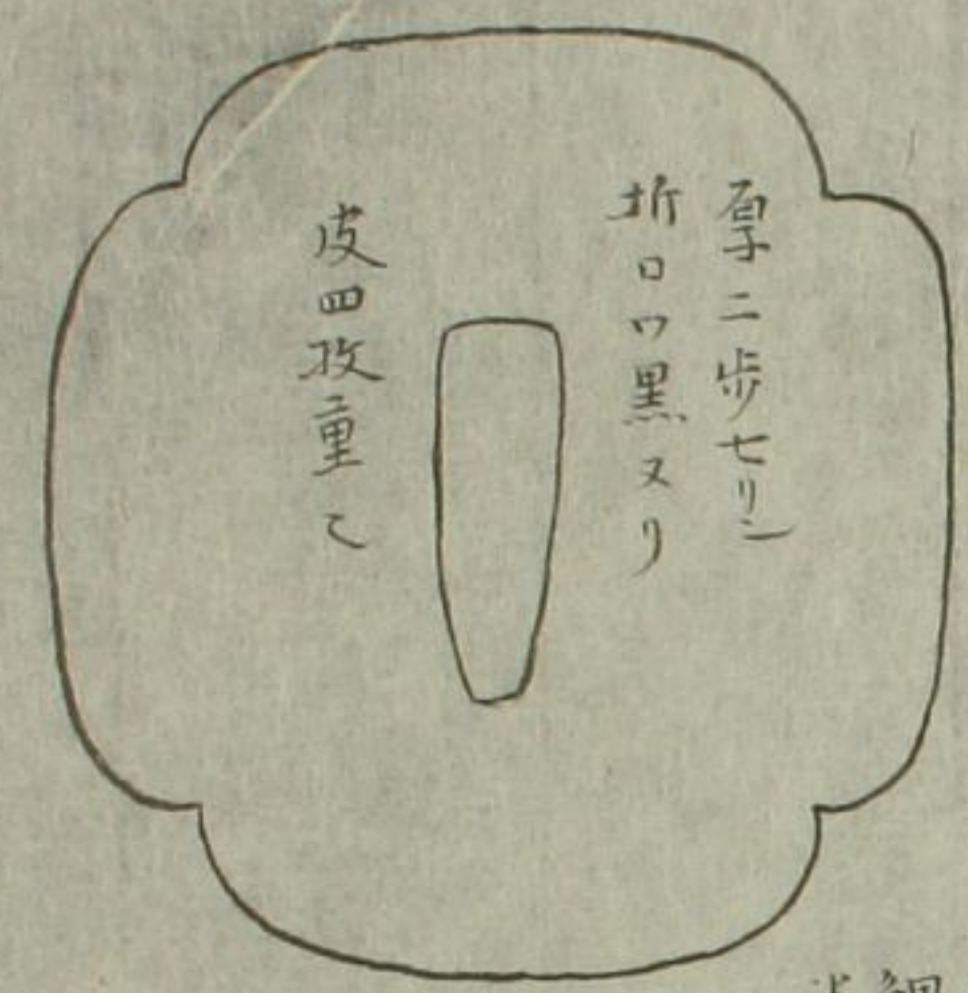
一寸五分

厚ハリニメッキ

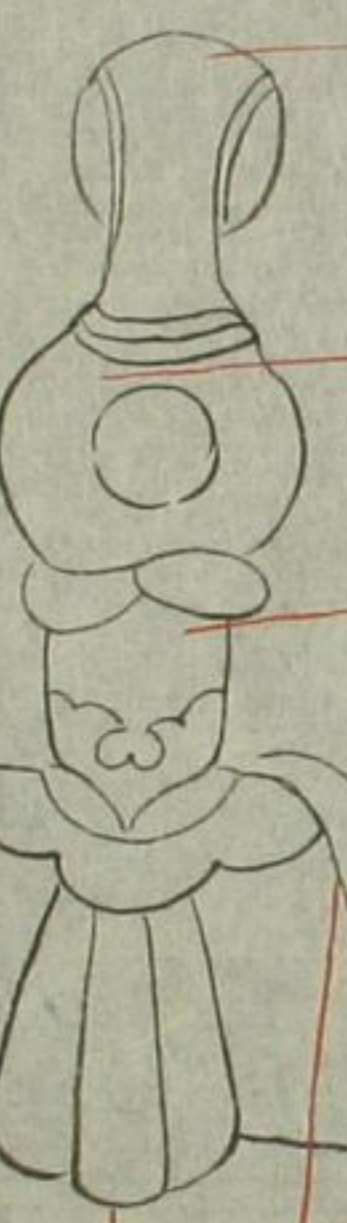


大切羽

此縁少シテ折返シテ百



厚ニ歩セリ
折ロウ黒ヌリ
皮四枚重シ

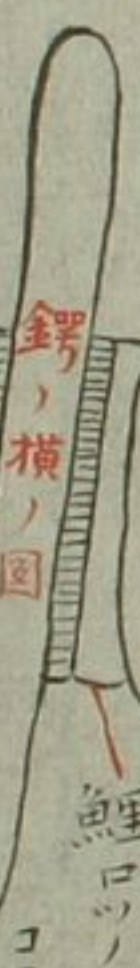
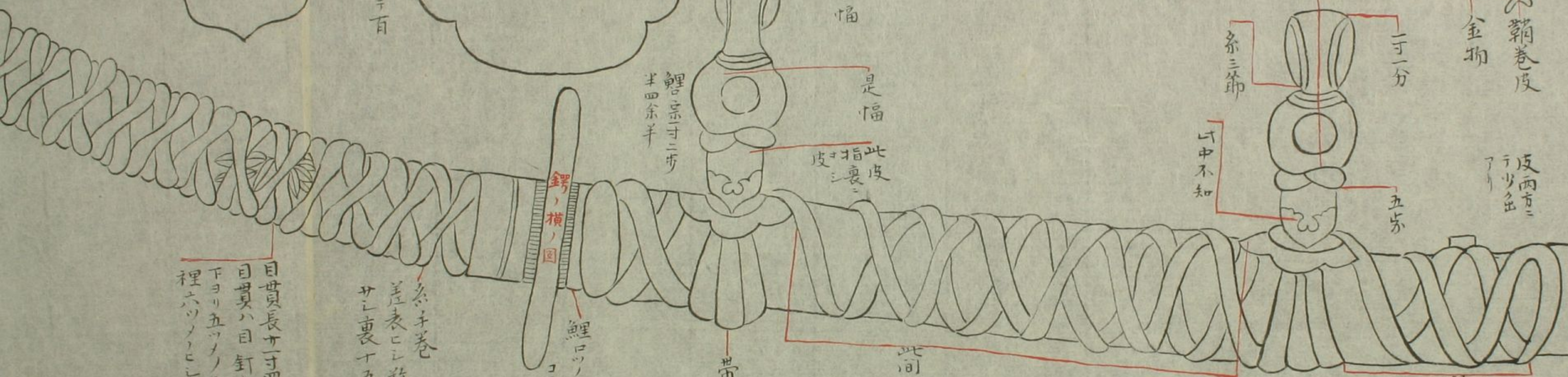


是幅

是幅

此皮指裏

鯉宗寸二歩
半四余半



鯉宗寸二歩
コヒリナノ前返皮也

帯取先ヨリ是迄二寸五歩半

此間五寸二分

長寸三歩

糸三節

山中不知

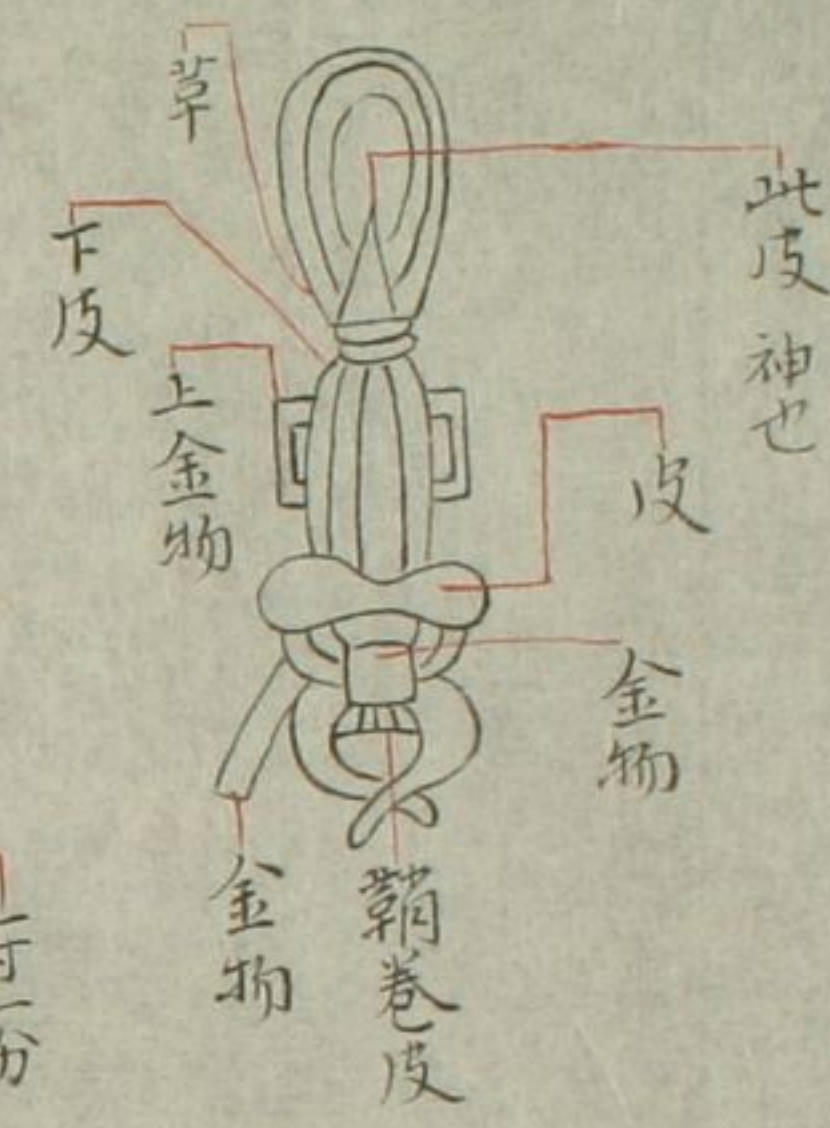
一寸二分

五分

五分五リ

此間三寸二分

鞘中マテ又宗一寸一歩
平五歩



此皮神也

皮金物

草

下皮

上金物

金物

鞘巻皮

皮四枚重シ
少シ



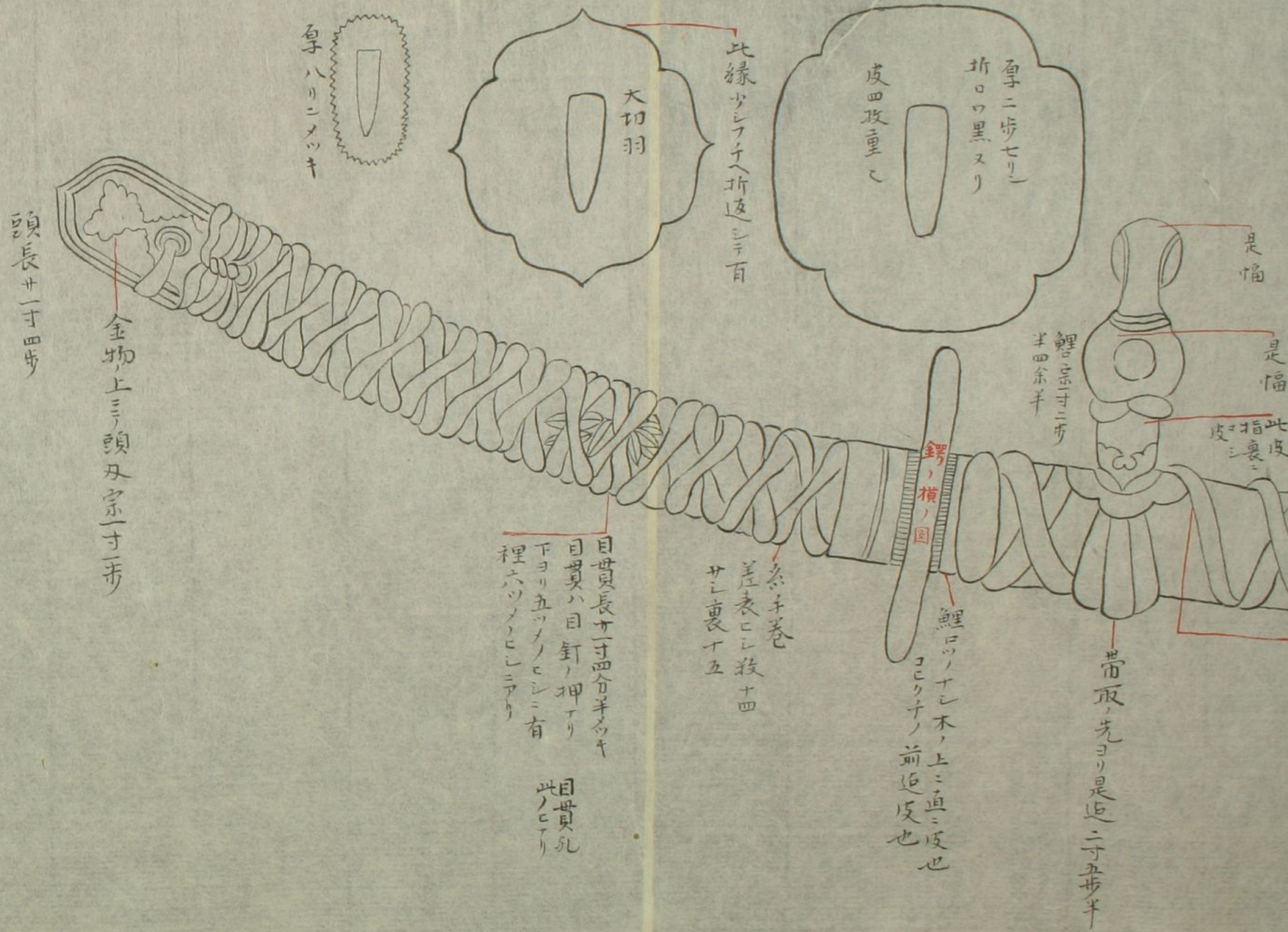
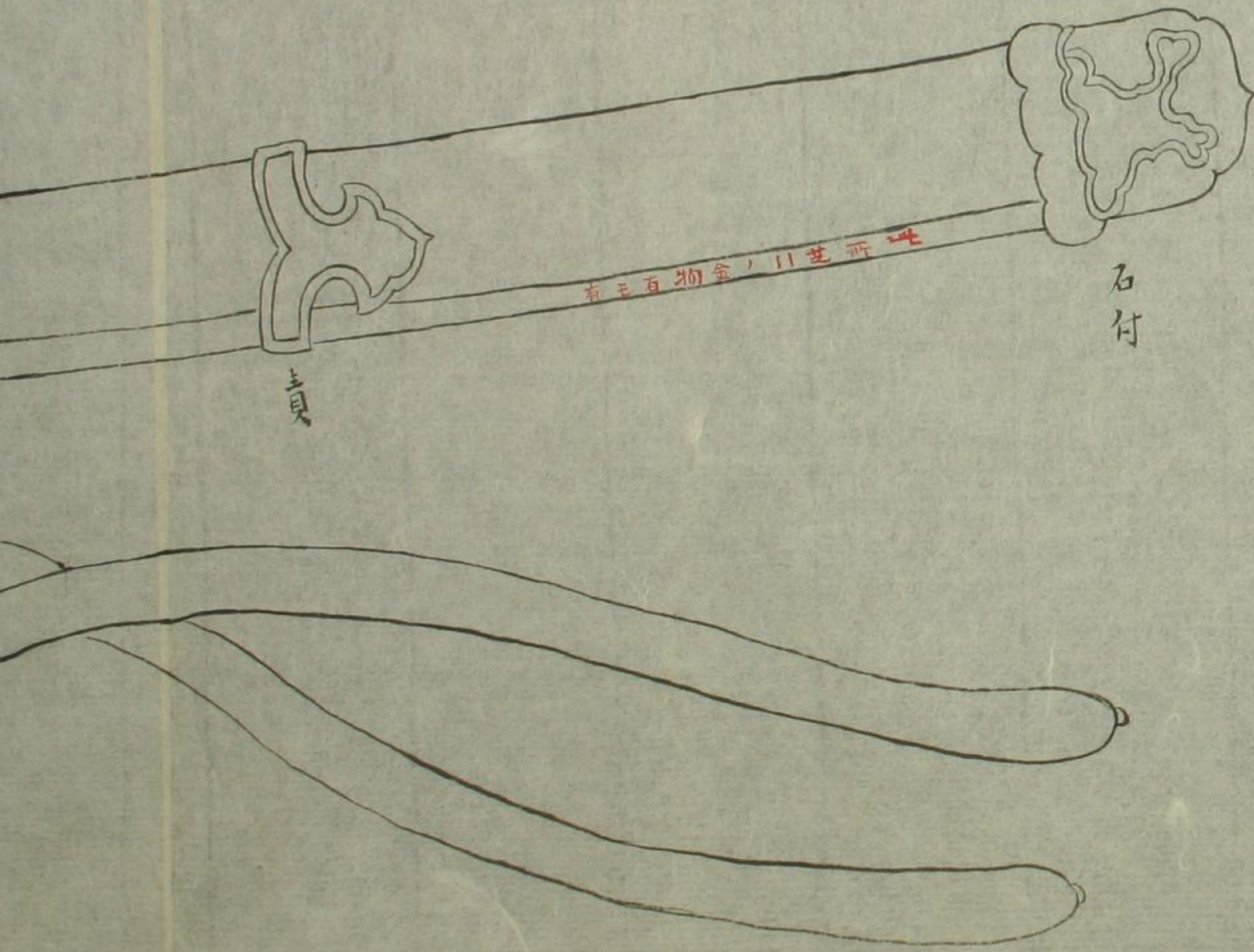
指裏之図

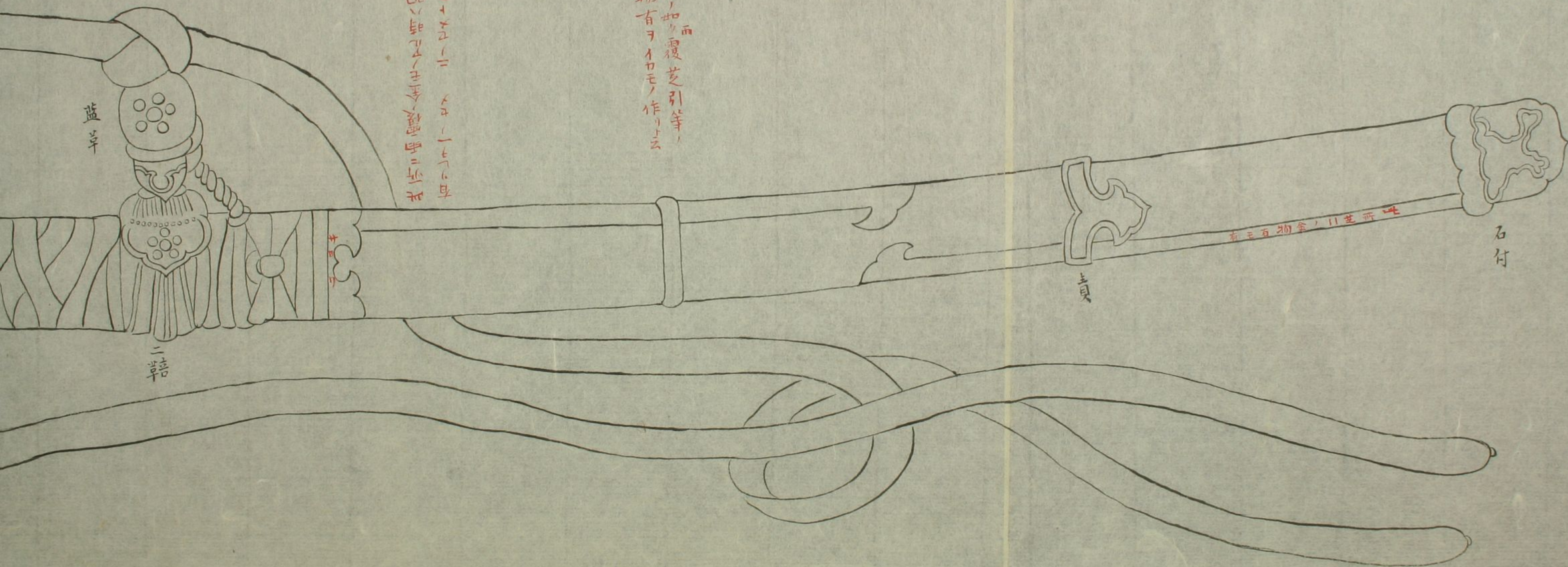
目貫長サ一寸四分半
目貫ハ目釘ノ押ナリ
下ヨリ五ツノヒシニ有
裡ハツノヒシニ有

糸巻
差表ニシテ十四
サニ重十五

目貫丸
此ノヒナリ

糸巻之太刀





藍草

二草

中

此刀は、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

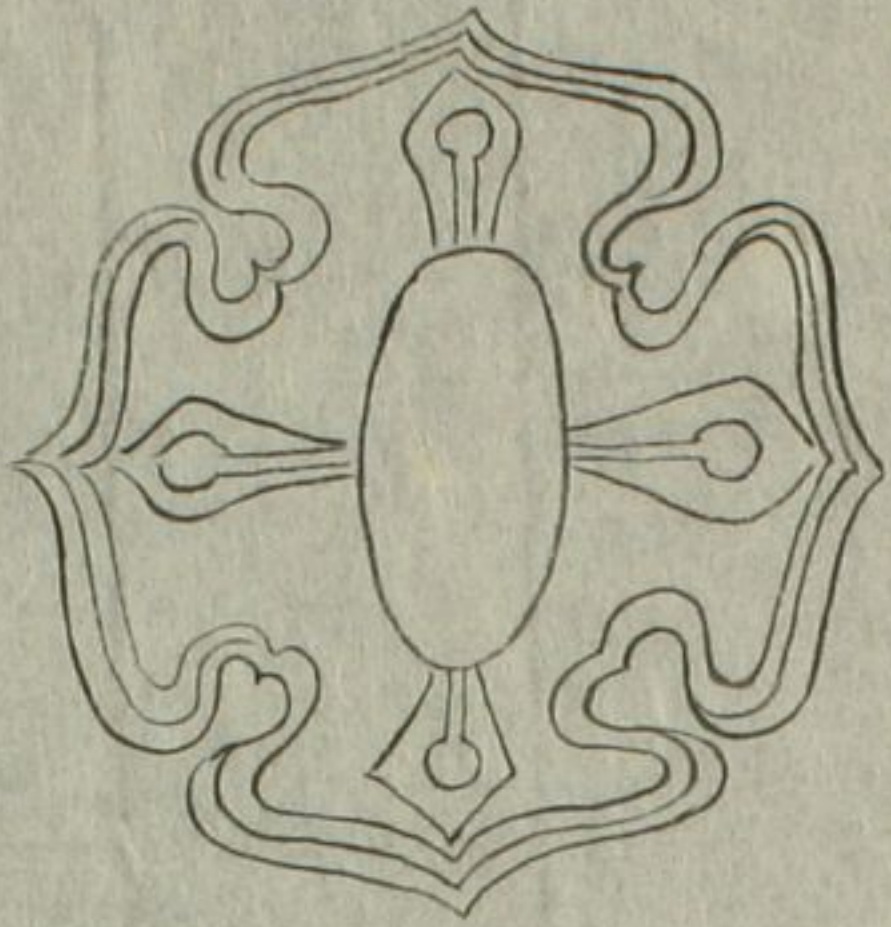
朱書ノ如ク覆芝引等ノ
金物有テイカモノ作リ云

右に五百物金ノ川並所

土貝

石付

葵鐔



柄糸萌黄

藍草

帯取

二階

鞆間

一階

大切羽

中切羽

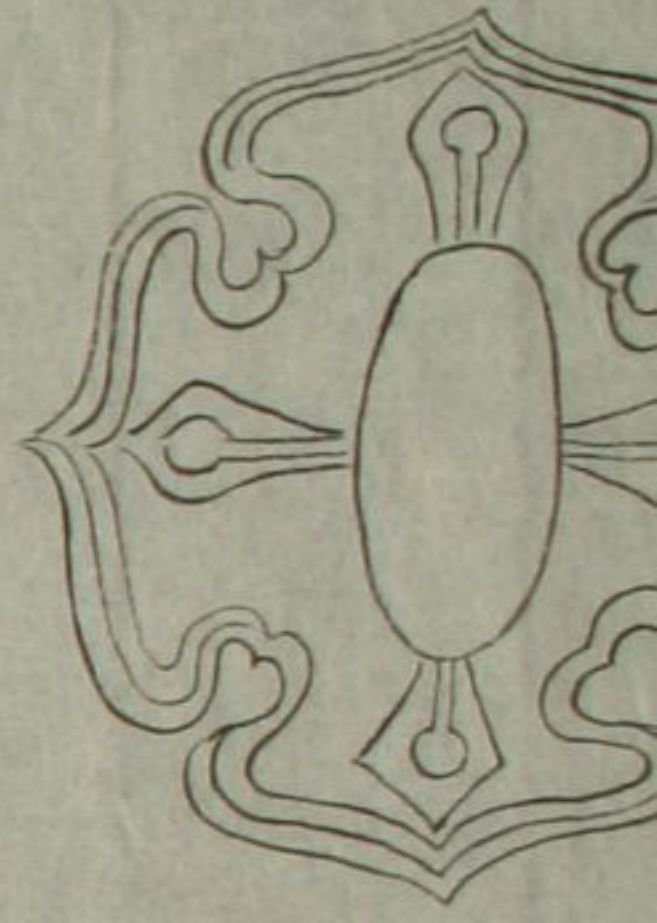
小切羽

是子三枚ソハト云

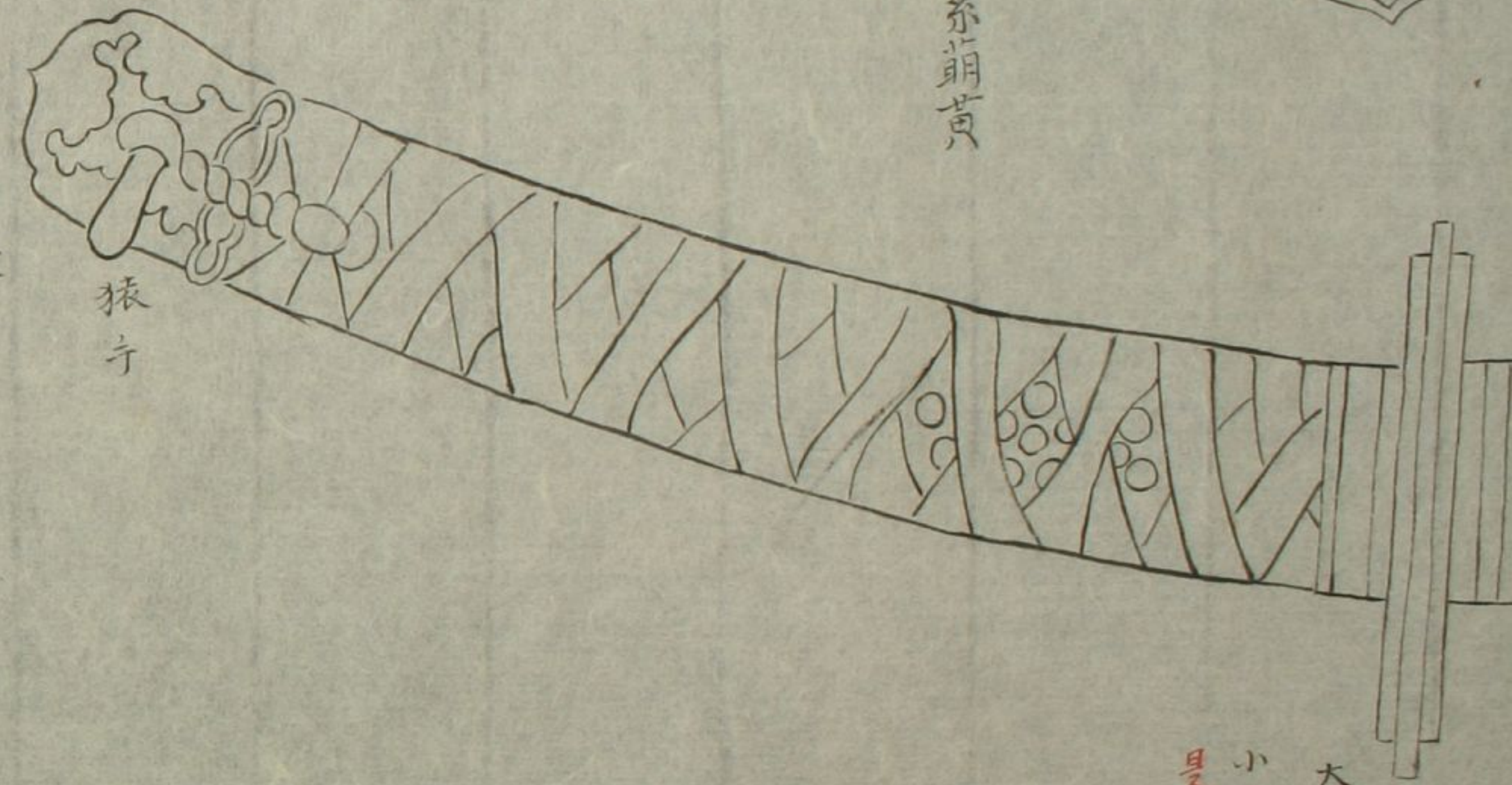
猿守

甲金

五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十



柄糸萌黄



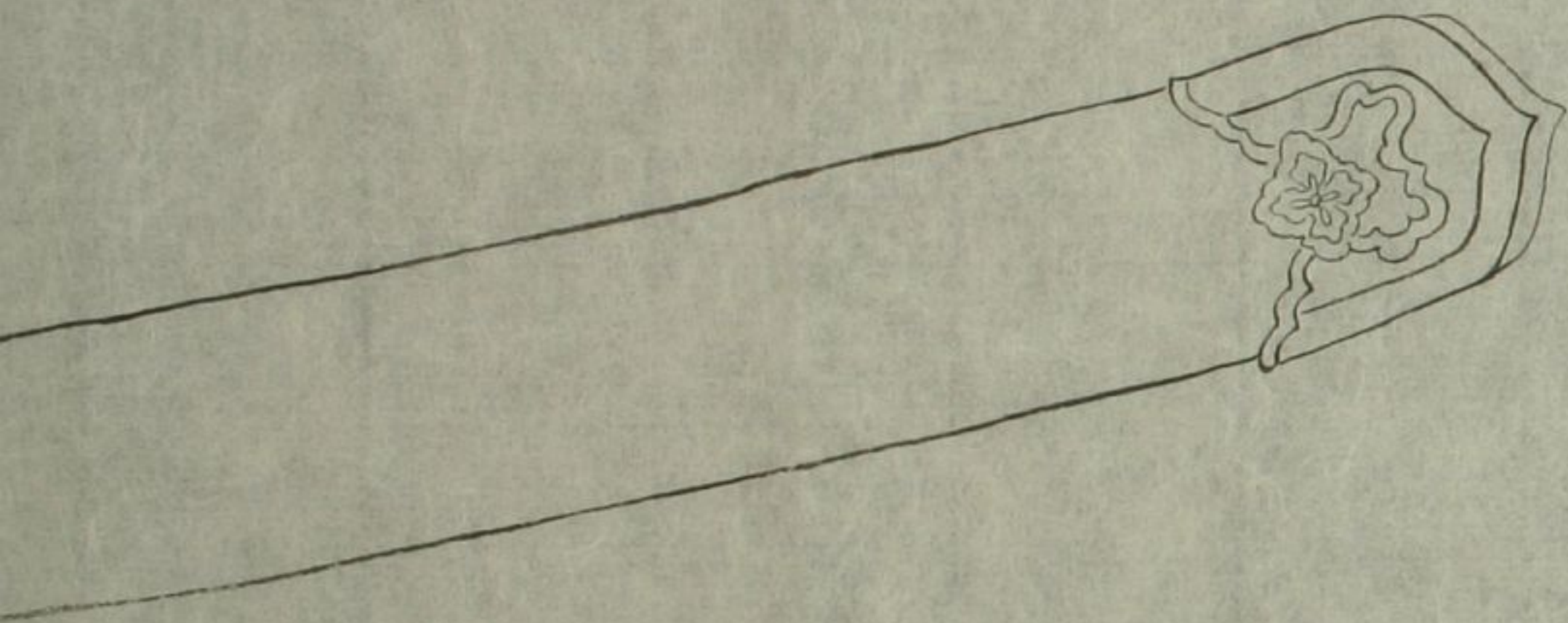
甲金

猿子

大切羽
中切羽
小切羽
是ヲ三枚ハト云

鳩作太刀

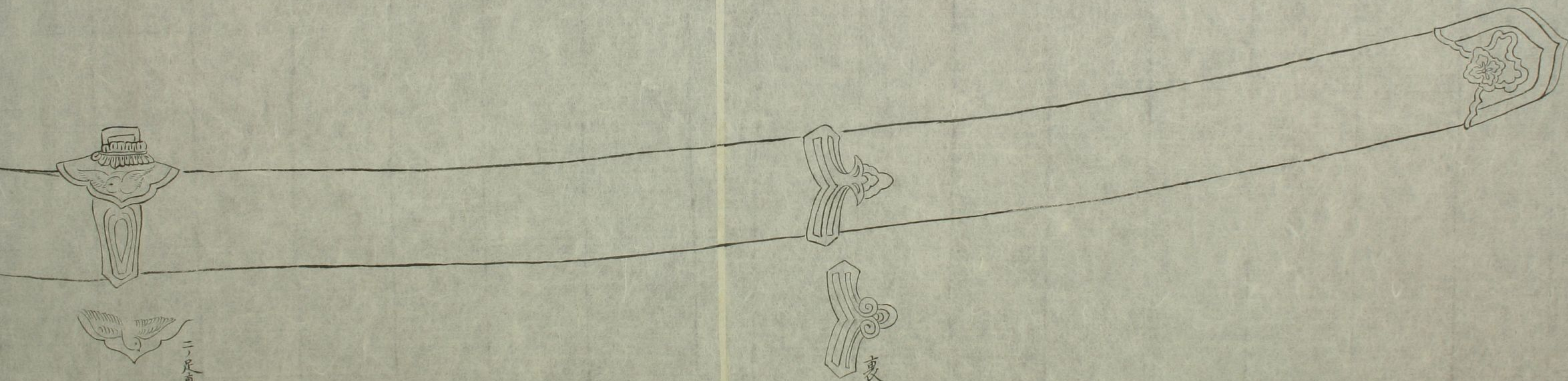
案此太刀与義朝鳩作太刀大同小異疑同圖之畧草者并且不知何藏也



鳩作太刀

案此太刀与義朝鳩作太刀大同小異疑同國之畧華者并且不知何藏也

惣金具鳩高助
肉置了惣玉銀



二足裏

裏

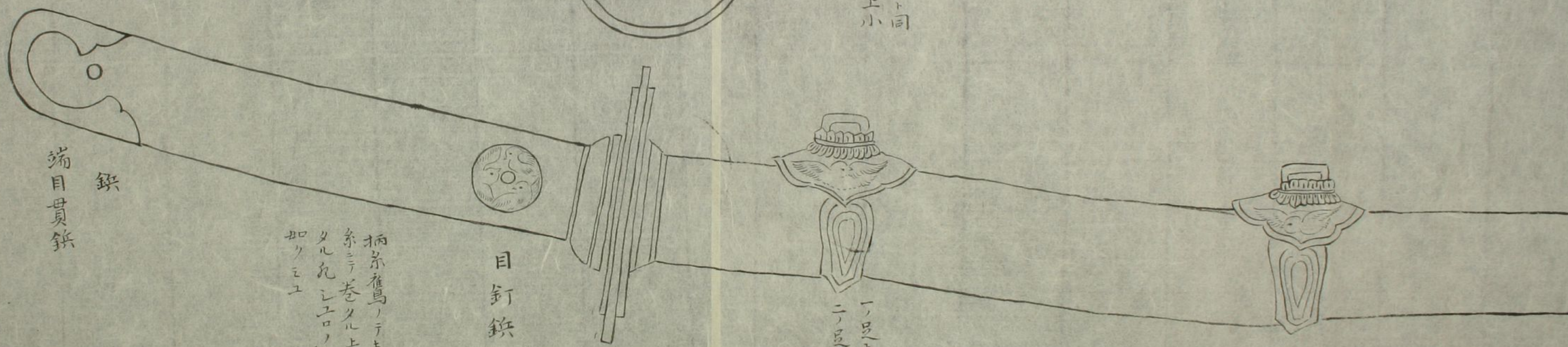
惣金具鳩高彫
肉置了り惣玉銀

鍔伏輪惣金具ト同
大切羽鳩六つ彫上小
切羽八見へ入



惣金具白銅ノ上ニ
金ヲ焼付テスリハカニ
タレナリ

頭玉縁ナシ



二足裏

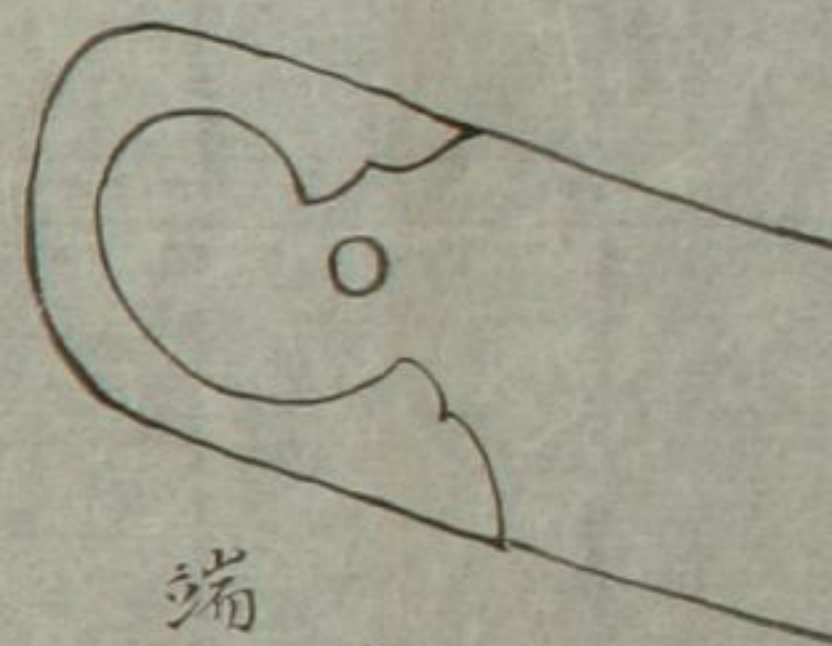
一、足裏ノ文
二、足裏ト同

目釘鉾

柄糸舊鳥ノテキ繩ノ様ナリ
糸ニテ巻タル上ニ漆ヲスリ
タル丸ニゴノ毛ヲヨリ丸
如クニユ

鉾
端目貫鉾

貞丈按東鑑卷五文治元年十月十九日記曰法皇御護劔
去年紛失去比江州判官公朝求得之献上之風聞之間
今日以御書被仰公朝云是以左典廐太刀所被奉



劍

端目貫劍

貞丈按東鑑卷五文治元年十月十九日記曰法皇御護劍
 去年紛失去比江州判官公朝求得之獻上之風聞之間
 今日以御書被仰公朝云是以左典廐太刀所被奉
 獻也伏丸持鳩云同廿日記曰於鎮西尋取仙同重
 室御劍鴉丸今度進上說是平氏黨類壽永二年城外
 之別清經朝臣自法住寺殿取御劍二鴉丸其隨一也
 云同卷十二建文三年二月四日記曰自法年窮冬之
 比太上法皇御不豫玉躰腫給云依比事也幕下
 頻御祈禱令渡則時廷尉被奉必藏御劍鳩作石字
 水宮

右鷲森安高以藏本摹寫早

安永七戌戌年七月廿八日 布引山人源高敬

鳩丸之太刀之圖安永九年庚子冬十月源高敬

藏